

秋 田 市
バリアフリーマスタープラン策定に係るアンケート調査
調査結果報告書

令和3年11月

秋田市

目次

	Page
1 調査の概要.....	1-1
2 調査結果の総括.....	2-1
3 調査結果.....	3-1
3-1 調査対象者の属性.....	3-1
3-2 外出する際の移動手段と利用施設について.....	3-5
3-3 日常的に利用する施設等について.....	3-29
3-4 バリアフリー等の理解度について.....	3-56
3-5 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について.....	3-58
3-6 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について.....	3-63
3-7 自由意見.....	3-64
4 バリアフリーに関する過年度調査との比較.....	4-1
4-1 バリアフリー等の理解度について.....	4-1
4-2 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について.....	4-3
5 関係資料.....	5-1

I 調査の概要

1 調査の概要

1-1. 調査の目的

秋田市バリアフリーマスタープランの策定にあたり、過去の調査結果との比較検証や、バリアフリーに対する市民意識の把握を目的に、アンケート調査を実施するものである。

1-2. 調査項目

(1) 調査対象者の基本的属性

- ア 性別
- イ 年齢
- ウ 居住地域
- エ 調査対象者の状態

(2) 外出する際の移動手段と利用施設について

- ア 移動手段の利用頻度
- イ 施設の利用頻度
- ウ 普段利用する鉄道駅

(3) 日常的に利用する施設等について

- ア 「鉄道駅」についての困りごと
- イ 「バス停留所およびバスターミナル」についての困りごと
- ウ 「道路」についての困りごと
- エ 「公園」についての困りごと
- オ 「商業施設や公共施設等」についての困りごと

(4) バリアフリー等の理解度について

- ア 「バリアフリー」の理解度
- イ 「ユニバーサルデザイン」の理解度
- ウ 「ノーマライゼーション」の理解度
- エ 「心のバリアフリー」の理解度

(5) 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について

- ア 障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇
- イ 手助けの有無
- ウ 具体的な手助けの内容
- エ 手助けをしなかった理由
- オ 「心のバリアフリー」を促進するために必要なこと
- カ 障害者等用駐車区画の利用状況について感じること
- キ バリアフリースイールの利用状況について感じること

(6) 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について

(7) 自由意見

1-3. 調査対象等

- (1) 無作為に抽出する15歳以上の市民(基準日:令和3年4月1日)1,000人
- (2) 市民100人会の会員103人(男性52人、女性51人)

1-4. 調査人数の配分方法と抽出方法

無作為に抽出する15歳以上の市民1,000人については、性別、居住地域、10歳階級の人口構成比を基本に、以下のとおり配分し、それぞれの配分数に応じて無作為抽出した。

区分	男性							女性							総数
	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	
15～19歳	5	6	3	4	6	1	2	5	5	3	5	5	1	3	54
20～29歳	9	12	5	6	10	2	4	10	11	6	8	9	2	5	99
30～39歳	13	12	8	10	13	3	3	14	12	8	10	14	3	3	126
40～49歳	17	13	10	12	15	4	3	17	14	10	13	16	4	3	151
50～59歳	15	12	9	12	15	5	5	16	13	10	13	17	5	4	151
60～69歳	16	15	11	13	20	7	7	17	17	11	15	22	7	6	184
70歳以上	16	16	12	13	20	8	7	26	25	18	18	32	13	11	235
計	91	86	58	70	99	30	31	105	97	66	82	115	35	35	1,000
	465							535							1,000

1-5. 調査期間

令和3年7月12日(月)から7月26日(月)まで

1-6. 調査方法

郵送による調査(送付および回収)

1-7. 有効回答者数

470人(回収率:42.6%)

1-8. 調査対象者に対する調査票

5-1ページ~5-10ページに示すとおり

1-9. 集計等

(1) 集計

- ・集計は、全体集計を基本とし、地域や年代によって結果への影響が想定される項目について、年代別・地域別のクロス集計を行う(年代別・地域別:問 5「移動手段の利用頻度」・問 6「施設の利用頻度」、年代別:問 20「バリアフリー等の理解度」)。
- ・過年度調査(「秋田市『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査」(平成 28 年 6 月実施)と同様の主旨の設問については、「4. バリアフリーに関する過年度調査との比較」で比較を行う。
- ・なお、過年度調査結果は「秋田市『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査 調査結果報告書」(平成 28 年 11 月)を参考とする。(問 13「バリアフリー等の理解度について」、問 14～問 20「障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について」)

(2) レポート

- ・レポートは設問ごとに作成することとし、掲載のグラフとともに、傾向分析の結果を記載する。
- ・傾向分析の記述については、紙面の構成上、制約があるため、語句を簡略化又は省略化して記載する場合がある。

(3) その他

- ・グラフには回答数(n)を表記し、複数回答の場合は回答者数(s)も合わせて表記する。
- ・選択肢にない番号の記載などの無効票については、「無回答」に含める。
- ・集計結果のパーセント値は、すべて小数第2位以下を四捨五入しているため、択一回答の構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答による設問の全体集計については、選択肢の回答数と回答者数の比率でグラフを作成する。クロス集計については、選択肢の回答数と回答総数の比でグラフを作成する。

2 調査結果の総括

2 調査結果の総括

2-1. 調査対象者の基本的属性について

- ・回答者の性別の割合は、「男性」が47.0%、「女性」が52.6%となっている。
- ・回答者の年齢構成は、60歳以上が約50%を占めている。
- ・7地域ごとの回収率はおおむね同率となっている。
- ・調査対象者の身体の状態で、最も割合が高いのは、健常者を示す「いずれにも当てはまらない(58.9%)」で、次いで「ケガ・病気などがある(22.3%)」となっている。

2-2. 外出する際の移動手段と利用施設について

- ・外出する際の移動手段で利用率が高いのは「自家用車・バイク」「徒歩」となっており、月1,2回以上利用する人の割合は5割を超えている。一方、利用率が低い移動手段は「タクシー」「鉄道」となっており、月1,2回以上利用する人の割合は1割未満となっている。
- ・普段利用する施設で、利用率が高いのは「スーパーマーケット・大型商業施設」「コンビニエンスストア」「銀行・郵便局」「病院・診療所」となっており、月1,2回以上利用する人は、それぞれ5割を超えている。
- ・一方で特に利用率が低い施設は「老人・障がい者福祉施設」「ホール等(文化会館等)」「屋内運動施設(体育館等)」で、月1,2回以上利用する人は1割に満たない。
- ・鉄道駅の中で、最も利用割合が高いのは「秋田駅(37.4%)」で、次いで「土崎駅(6.0%)」「新屋駅(3.6%)」の順になっている。

2-3. 日常的に利用する施設等について

- ・「鉄道駅」に係る困りごととして、最も割合が高いのは、「利用しないため分からない(41.7%)」と「特にない(20.4%)」を除き、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(15.3%)」、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(15.3%)」となっている。
- ・「バス停留所およびバスターミナル」に係る困りごととして、「利用しないため分からない(41.3%)」を除き、最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(28.3%)」で、次いで「停留所にベンチ等がない・少ない(25.7%)」となっている。
- ・「道路」に係る困りごととして、最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(35.5%)」で、次いで「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(29.4%)」となっている。
- ・「公園」に係る困りごととして、最も割合が高いのは、「利用しないため分からない(40.9%)」を除き、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(18.9%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(17.7%)」となっている。
- ・「商業施設や公共施設等」に係る困りごととして、「特にない(42.6%)」と「利用しないため分からない(14.5%)」を除き、最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(17.0%)」で、次いで「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(10.2%)」となっている。

2-4. バリアフリー等の理解度について

- ・「バリアフリー」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は全体の92.8%であり、過年度調査と比較すると18.5%増加していた。
- ・「ユニバーサルデザイン」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は全体の41.9%であり、過年度調査と比較すると20.7%増加していた。
- ・「ノーマライゼーション」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は全体の21.3%にとどまっているが、過年度調査と比較すると7.5%増加している。
- ・「心のバリアフリー」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は全体の41.9%であった。過年度調査では、調査項目になかったため、比較はなし。

2-5. 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について

- ・障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇について、「ある」が24.9%、「ない」が73.4%となっている。(過年度比較:「ある」が14.8%減少、「ない」が13.1%増加)
- ・障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇したことがあると回答した人のうち、「手助けした(相手から求められて手助けした場合を含む)」と回答した人の割合は82.9%となっており、過年度調査と比較すると7.1%増加している。
- ・手助けした人のうち、その理由で最も割合が高いのは「扉を開けたり閉めたりした(54.6%)」で、次いで「道や場所を教えた(51.5%)」「乗り物で席を譲った(30.9%)」の順になっている。
- ・手助けしなかった人のうち、その理由で最も割合が高いのは「手助けしていいものなのか分からなかった(55.6%)」で、次いで「どのように手助けしたらいいか分からなかった(44.4%)」「自分ひとりではできないと思った(33.3%)」の順になっている。
- ・「心のバリアフリー」を促進するために必要なことについて、最も割合が高かったのは、「学校教育での指導(41.5%)」で、次いで「児童、生徒と高齢者や障がい者等との交流(38.1%)」「疑似体験等、企業内研修の実施(29.4%)」の順となっている。
- ・障害者等用駐車区画の利用状況について、一般車の利用が見受けられるとする「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している」、「歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している」が合計で53.2%となっており、過年度調査と比較すると4.4%減少している。
- ・バリアフリースイールの利用状況について、最も割合が高いのは「分からない(50.4%)」で、「通常のトイレを利用できる人の使用により、バリアフリースイールを必要としている人の利用の妨げになっている」を選択した人の割合は、8.7%で過年度調査と比較すると4.5%増加している。

2-6. 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について

- ・全項目とも「普通」が約半数を占めている。
- ・「満足」「やや満足」の割合が最も高いのは、「商業施設、公共施設等(21.1%)」で、次いで「鉄道関係(11.7%)」「公園(7.9%)」の順になっている。
- ・「不満」「やや不満」の割合が最も高いのは、「道路(41.3%)」で、次いで「心のバリアフリーの普及(35.5%)」「バス関係(33.2%)」の順になっている。

2-7. 自由意見

- ・自由意見は、116人から348件の意見が寄せられた。
- ・その中で最も意見が多かったのは、「高齢者、障がい者に配慮したまちづくりに関すること(44件)」で、次いで「道路整備に関すること(42件)」となっている。

3 調査結果

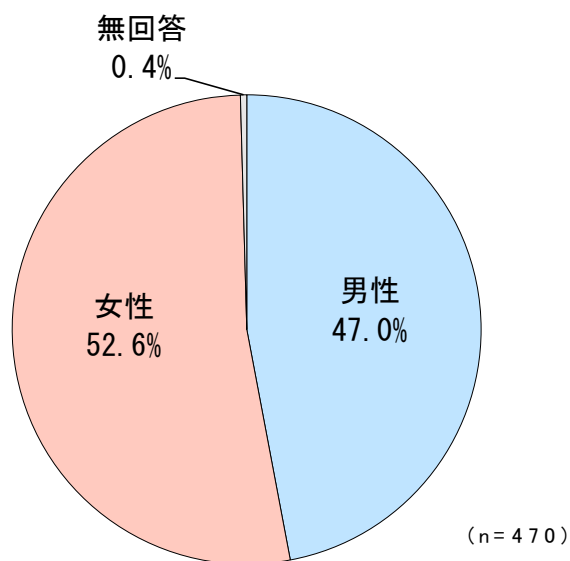
3 調査結果

3-1 調査対象者の属性

(1) 性別

- 性別ごとの回答者の割合は、「男性」が47.0%、「女性」が52.6%であった。
- 回収率は「男性」の方が0.5ポイント高かった。

問1:あなたの「性別」をお答えください(1つだけ選択)

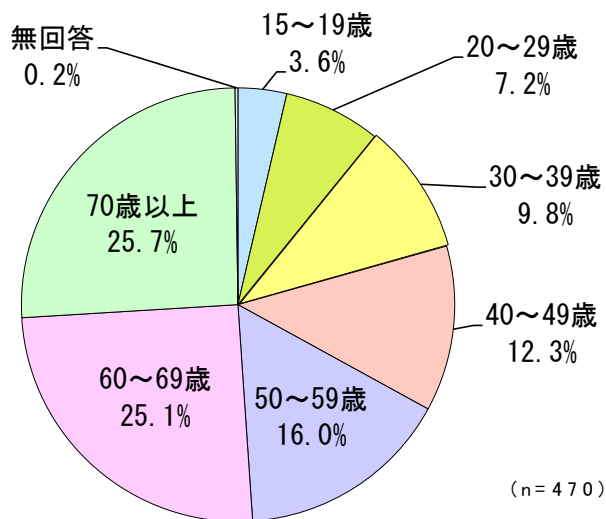


	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数 (A)	割合	実数 (B)	割合	
男性	517	46.9%	221	47.0%	42.7%
女性	586	53.1%	247	52.6%	42.2%
無回答	0	0.0%	2	0.4%	-
合計	1,103	100.0%	470	100.0%	42.6%

(2) 年齢

- 年齢別の回答者の割合は、「70歳以上」が25.7%と最も高く、次いで「60～69歳（25.1%）」「50～59歳（16.0%）」の順になっている。
- 50歳以上の年代の回収率が高く、40%を超えている。

問2:あなたの「年齢区分」をお答えください(1つだけ選択)

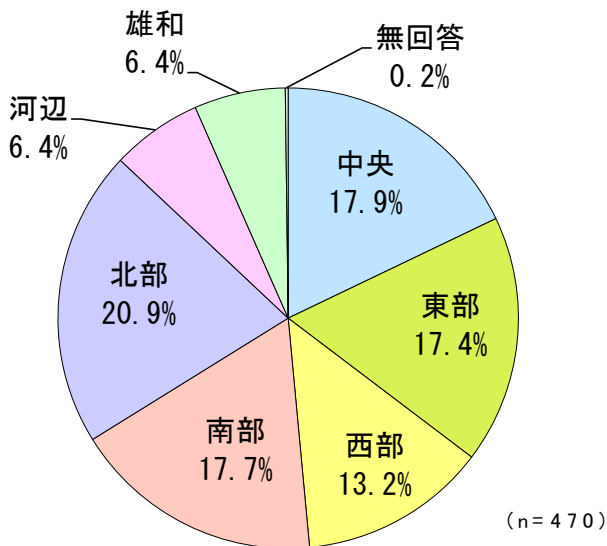


	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数 (A)	割合	実数 (B)	割合	
15～19歳	58	5.3%	17	3.6%	29.3%
20～29歳	104	9.4%	34	7.2%	32.7%
30～39歳	140	12.7%	46	9.8%	32.9%
40～49歳	177	16.0%	58	12.3%	32.8%
50～59歳	174	15.8%	75	16.0%	43.1%
60～69歳	204	18.5%	118	25.1%	57.8%
70歳以上	246	22.3%	121	25.7%	49.2%
無回答	0	0.0%	1	0.2%	-
合計	1,103	100.0%	470	100.0%	42.6%

(3) 居住地域

- 回答者の居住地域で最も割合が高いのは「北部地域(20.9%)」で、次いで「中央地域(17.9%)」、「南部地域(17.7%)」となっている。
- 7地域ごとの回収率はほぼ同率となっている。

問3:あなたの「お住まいの地域」をお答えください(1つだけ選択)



中央	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉 JR 線西側)、千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋
東部	東通、手形、手形山、泉 JR 線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、太平台、下北手、太平
西部	新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜、向浜
南部	牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、大住南、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台
北部	南ヶ丘、寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、上記以外の土崎港、将軍野東、将軍野南、上記以外の将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城
河辺	河辺
雄和	雄和

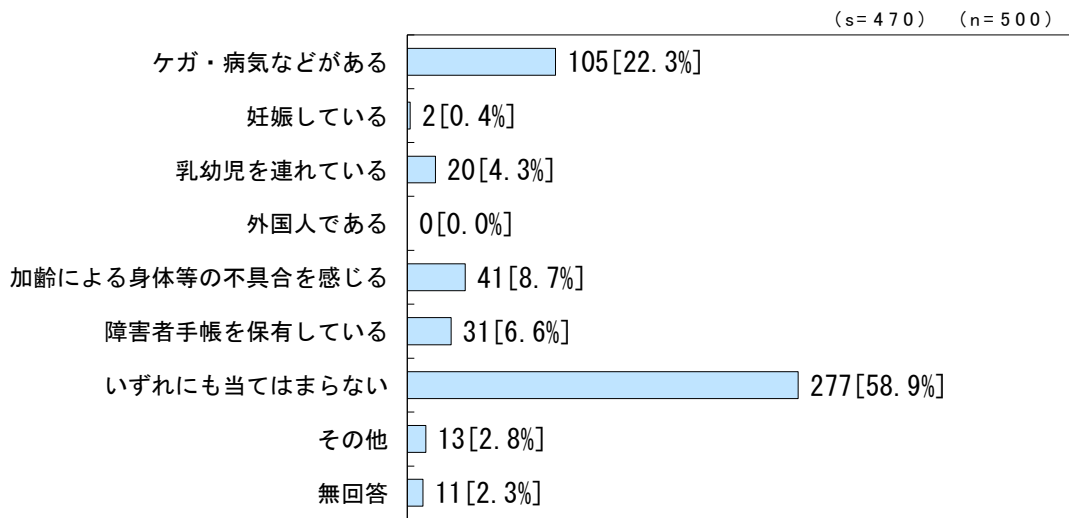
	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
中央	225	20.4%	84	17.9%	37.3%
東部	205	18.6%	82	17.4%	40.0%
西部	134	12.1%	62	13.2%	46.3%
南部	165	15.0%	83	17.7%	50.3%
北部	240	21.8%	98	20.9%	40.8%
河辺	67	6.1%	30	6.4%	44.8%
雄和	67	6.1%	30	6.4%	44.8%
無回答	0	0.0%	1	0.2%	-
合計	1,103	100.0%	470	100.0%	42.6%

(4) 調査対象者の状態

- 調査対象者の身体の状態、最も割合が高いのは健常者を示す「いずれにも当てはまらない(58.9%)」で、次いで「ケガ・病気などがある(22.3%)」となっている。
- 「障害者手帳を保有している」を選択した人(31名:6.6%)のうち、障がいの種類で、最も割合が高いのは「肢体不自由(48.4%)」で、次いで「内部障がい(12.9%)」の順になっている。

問4:あなたについて、あてはまるものをお答えください(すべて選択)

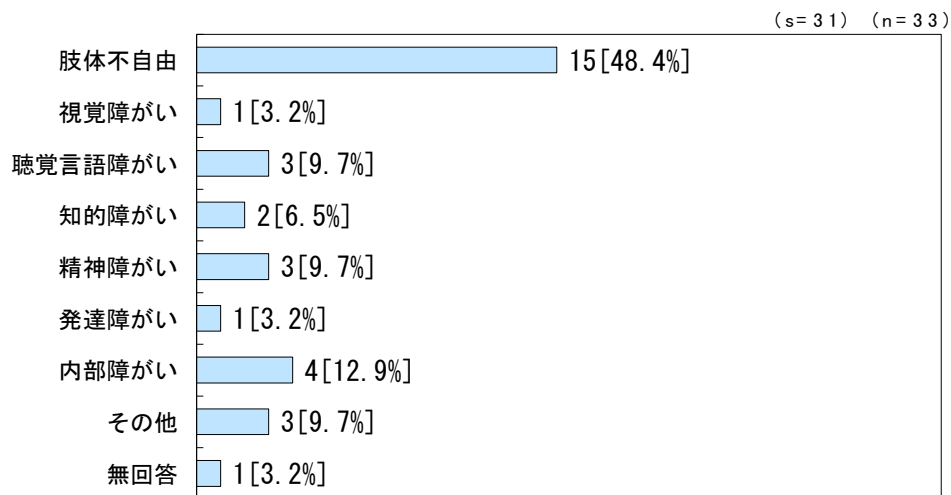
【身体の状態】



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

※「その他」については、具体的内容の記載はみられなかった。

【障がいの種類】



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

※「その他」については、「言語障がい」などが挙げられている。

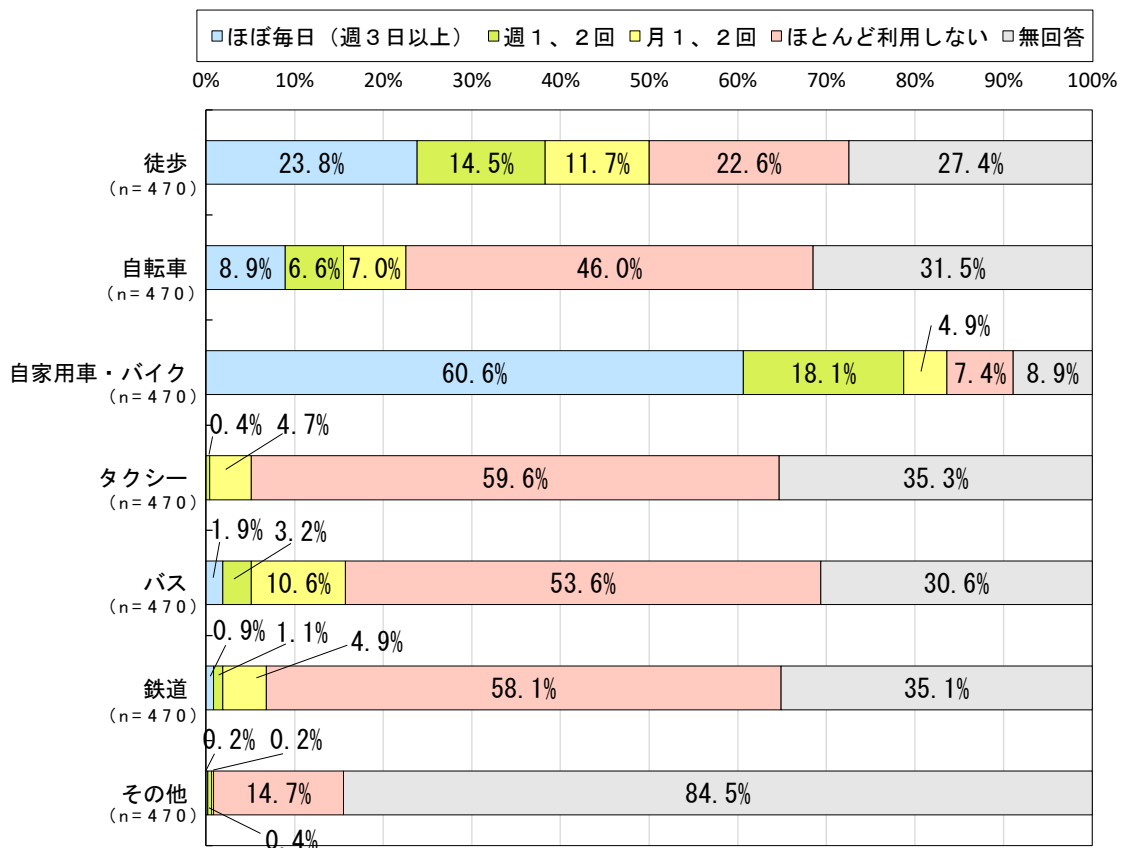
3-2 外出する際の移動手段と利用施設について

(1) 移動手段の利用頻度

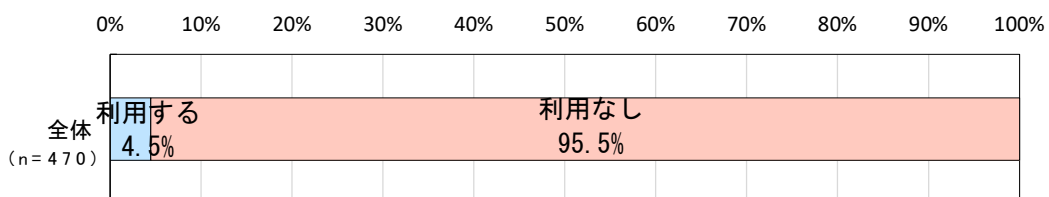
- 利用率が高い移動手段は「自家用車・バイク」「徒歩」となっており、月1,2回以上利用する人の割合は、それぞれ5割を超えている。
- 利用率が低い移動手段は「タクシー」「鉄道」となっており、月1,2回以上利用する人の割合は、それぞれ1割未満となっている。
- 公共交通の「バス」「鉄道」について、月1,2回以上利用する人の割合は、それぞれ15.7%、6.8%となっている。
- 外出する際の移動で、歩行補助用具等を利用する人の割合は、4.5%となっている。

問5:外出する際の目的地までの移動手段について、それぞれどの程度利用しますか(1つだけ選択)

【各移動手段の利用頻度】



【歩行補助用具等の利用】

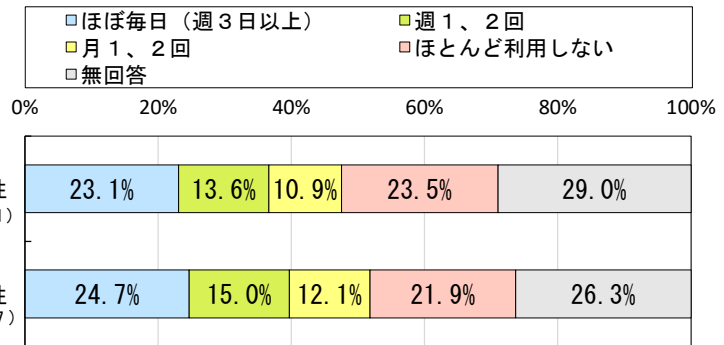
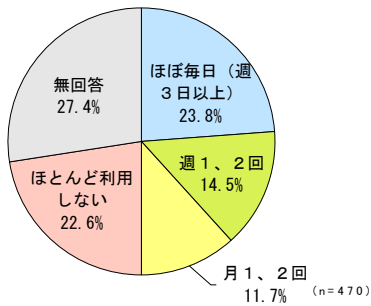


① 徒歩の利用頻度

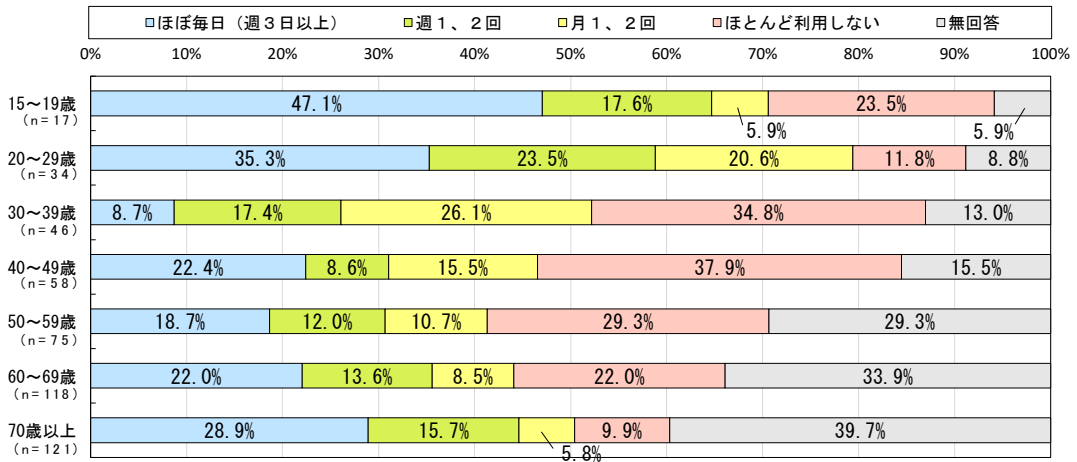
- 全体では、無回答を除き、「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が23.8%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、ほとんどの世代において「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が2割を超えている一方、30～39歳において「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合は8.7%と低くなっている。
- 地域別では、中央地域および東部地域で「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が高く、それぞれ38.1%、31.7%となっている。

【全体集計 n=470】

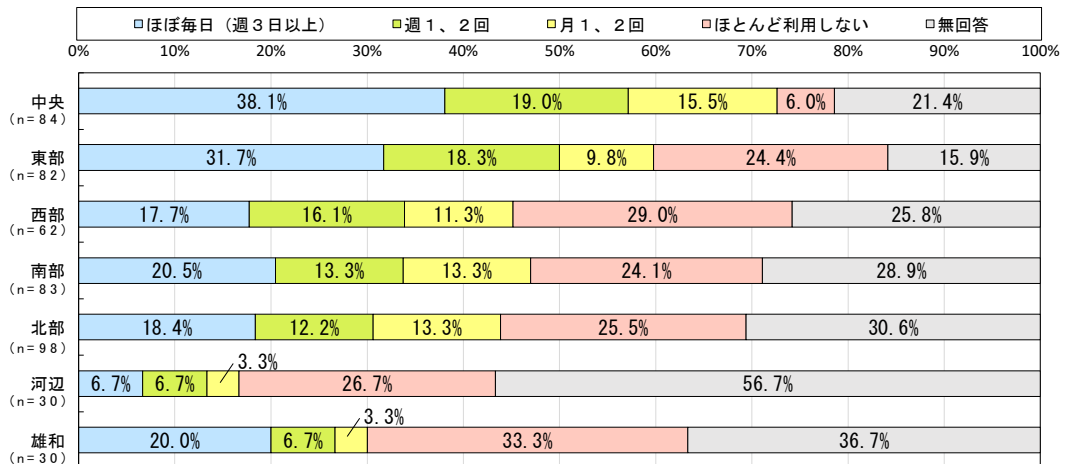
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



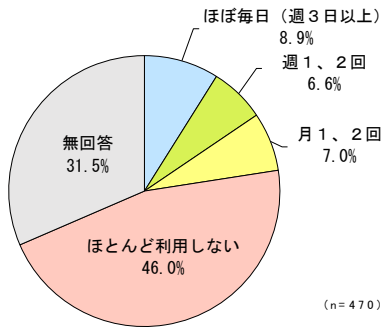
【地域別（7地域）集計 n=469】



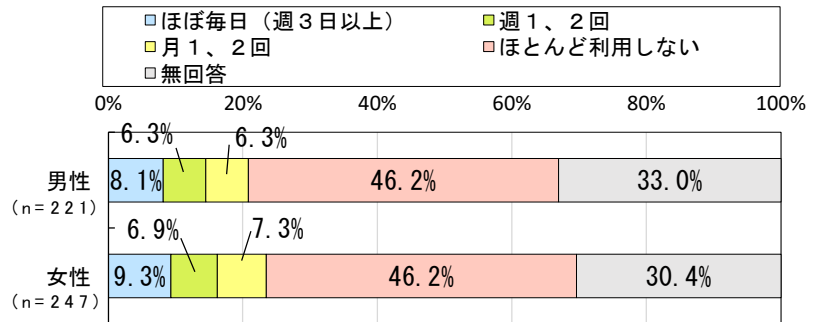
② 自転車の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が46.0%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、ほとんどの世代において「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合は、1割以下となっている一方、15~19歳においては「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が約半数を占めている。
- 地域別では、中央地域で月1,2回以上利用する人の割合が高くなっている。

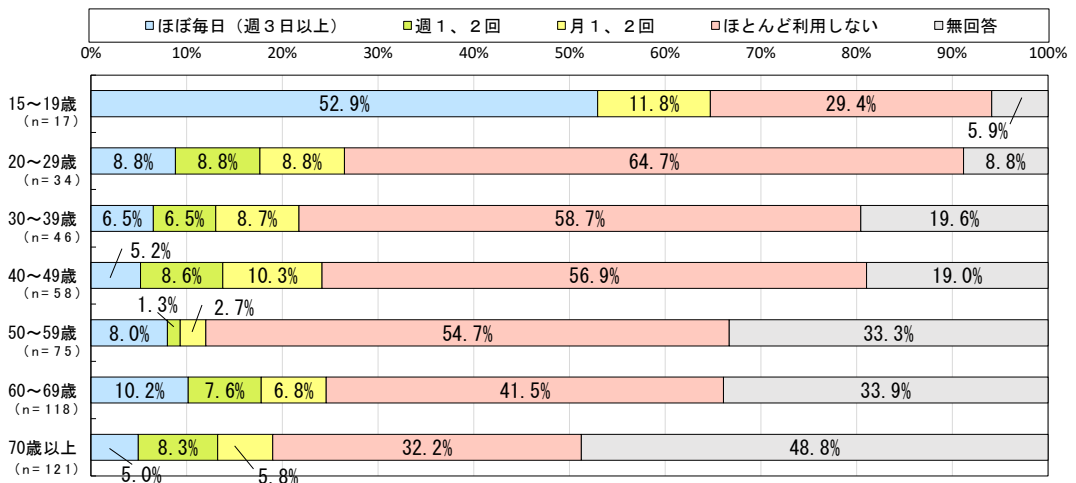
【全体集計 n=470】



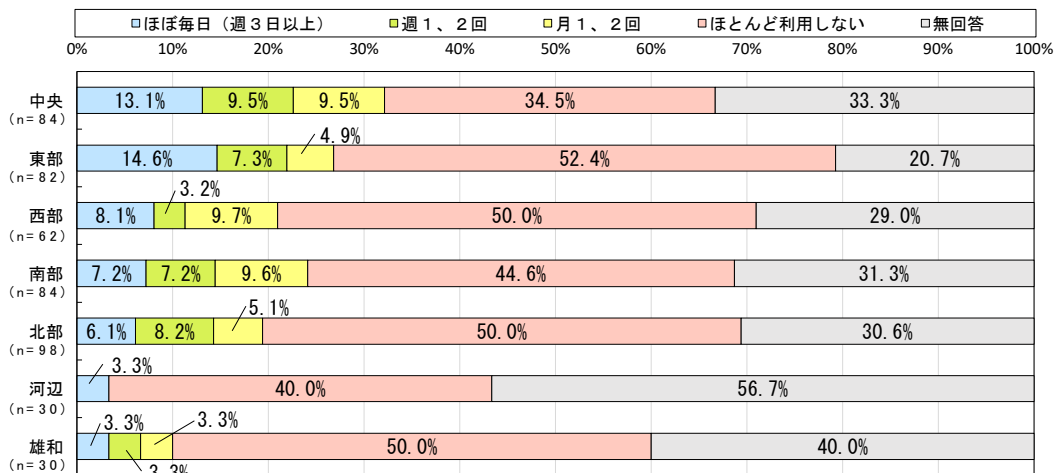
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



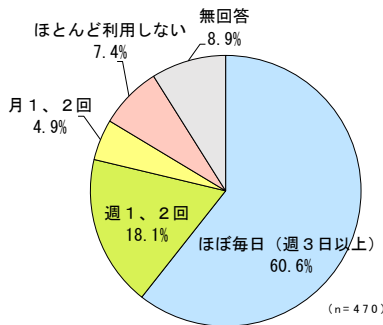
【地域別(7地域)集計 n=469】



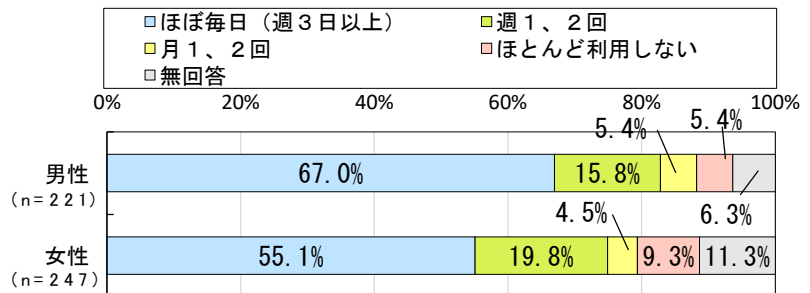
③ 自家用車・バイクの利用頻度

- 全体では「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が 60.6%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、全世代とも「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が高くなっているが、70歳以上は、他の年代と比べてその割合が低くなっている。
- 地域別では、全地域とも「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が高くなっているが、中央地域は比較的その割合が低くなっている。

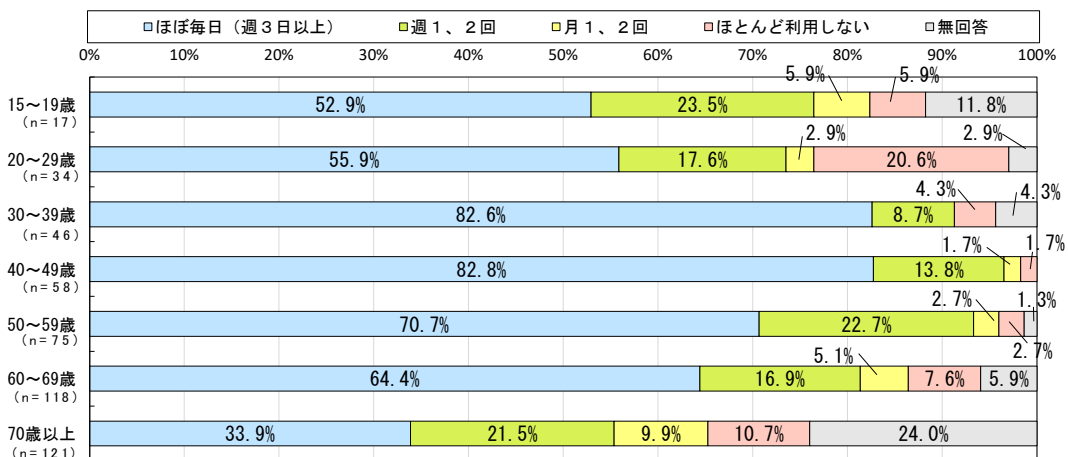
【全体集計 n=470】



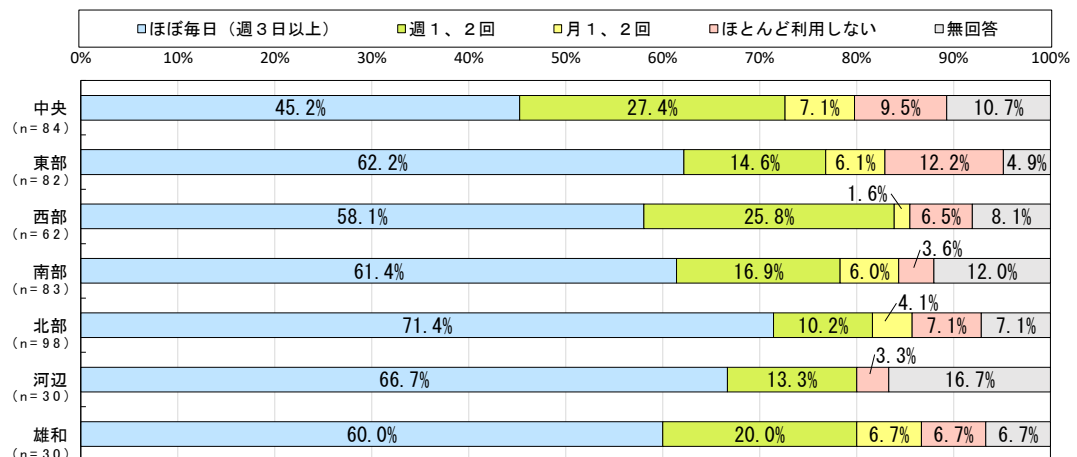
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



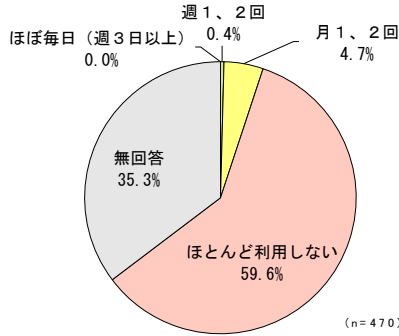
【地域別（7地域）集計 n=469】



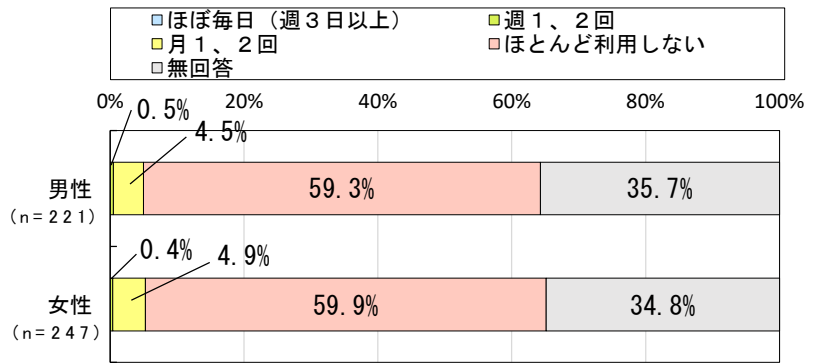
④ タクシーの利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が59.6%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、全世代とも「ほとんど利用しない」人の割合が高く、15～19歳を除き、年代が下がるにつれてその割合が高くなっている。
- 地域別では、中央地域での利用率が最も高く、「月1,2回」利用する人の割合が9.5%となっている。

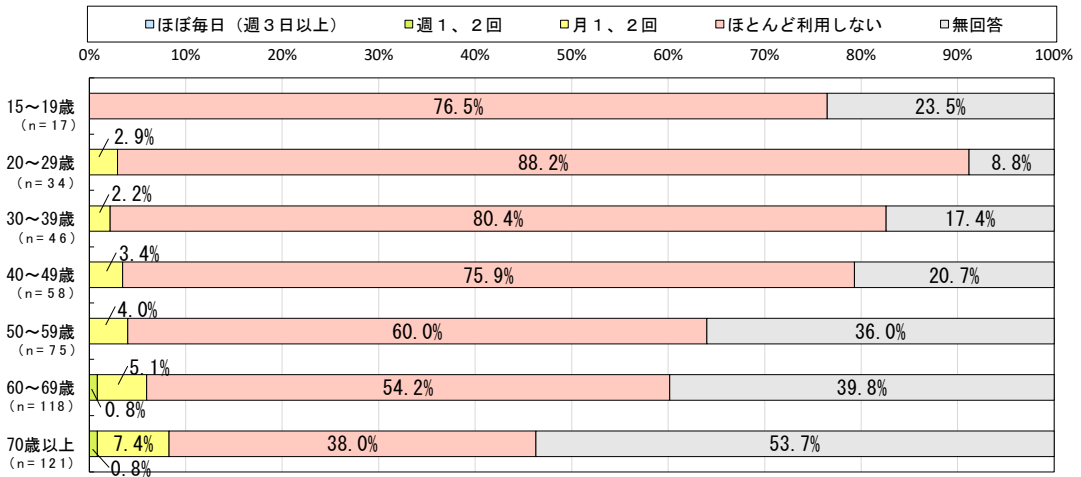
【全体集計 n=470】



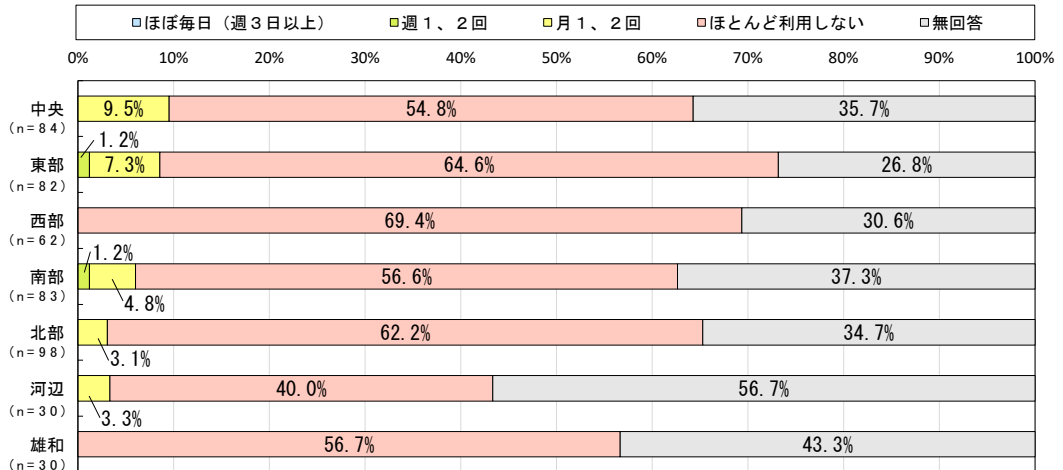
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



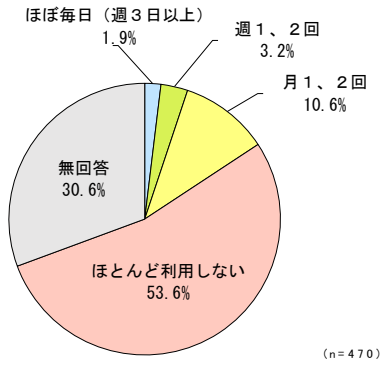
【地域別 (7地域) 集計 n=469】



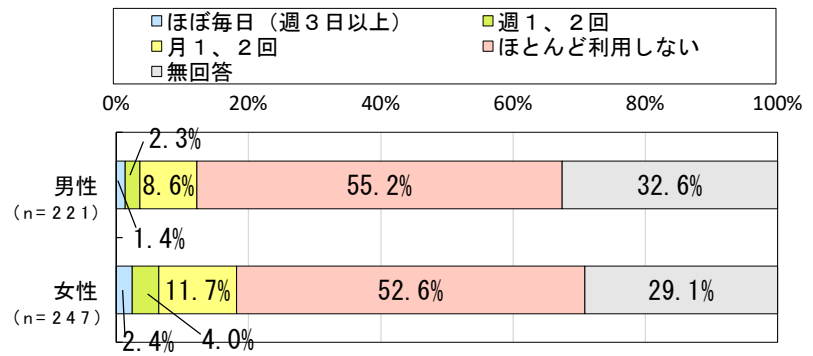
⑤ バスの利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が53.6%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、月1,2回以上利用する人の割合は、15~19歳が最も高い。
- 地域別では、西部地域において「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が4.8%となっており、他地域と比較して高くなっている。また、河辺地域や雄和地域では、他地域と比較して利用率が低くなっている。

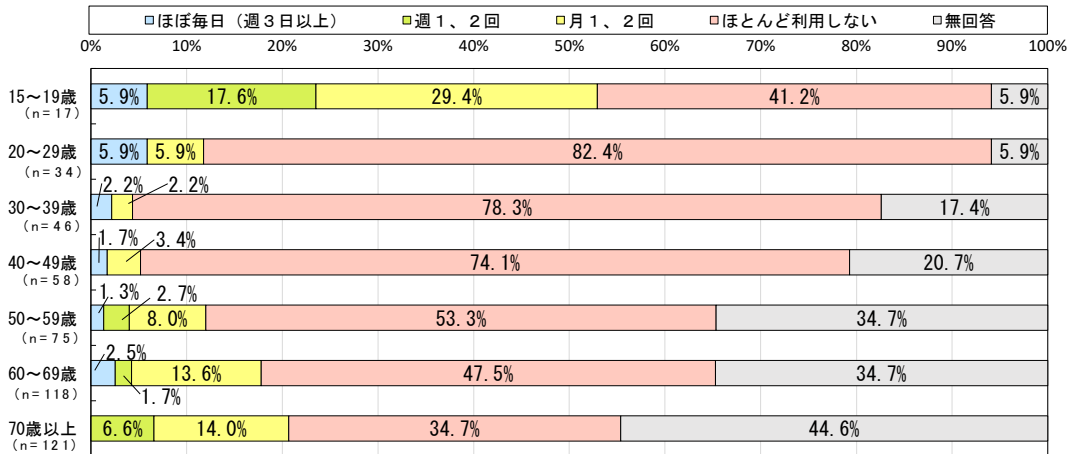
【全体集計 n=470】



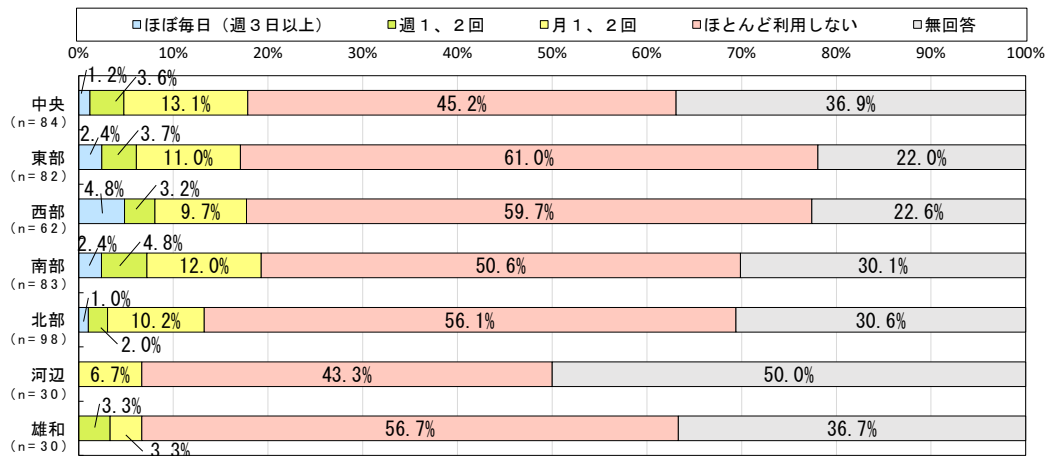
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



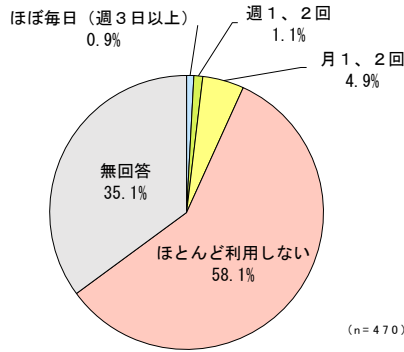
【地域別(7地域)集計 n=469】



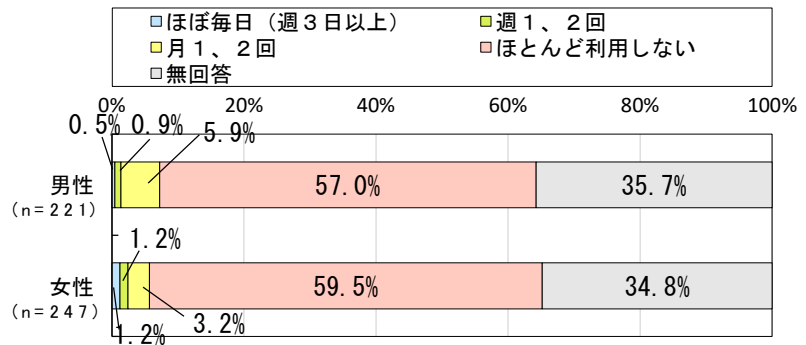
⑥ 鉄道の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が58.1%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、15～19歳、20～29歳において、月1,2回以上利用する人の割合が2割を超えている。
- 地域別では、河辺地域において「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が10.0%と、他の地域と比較して高くなっている。

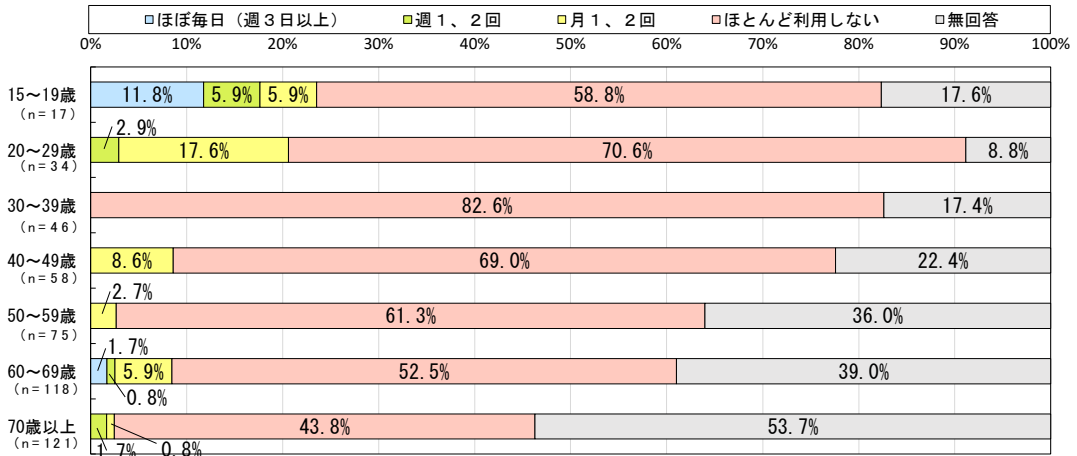
【全体集計 n=470】



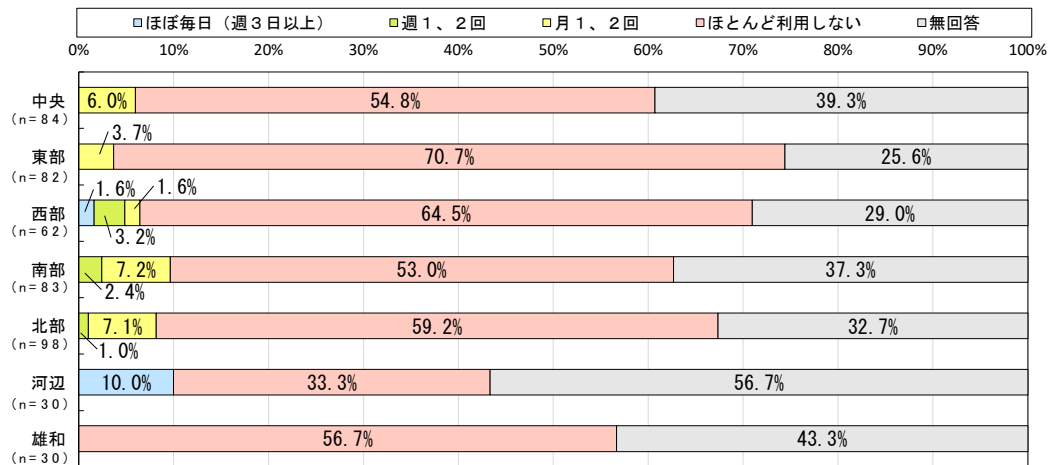
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



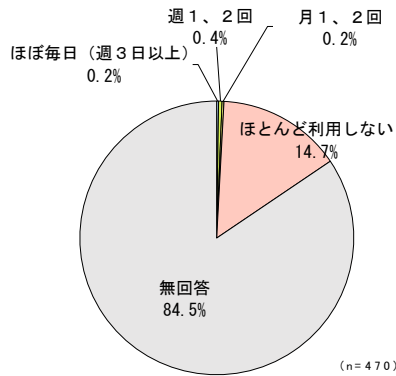
【地域別(7地域)集計 n=469】



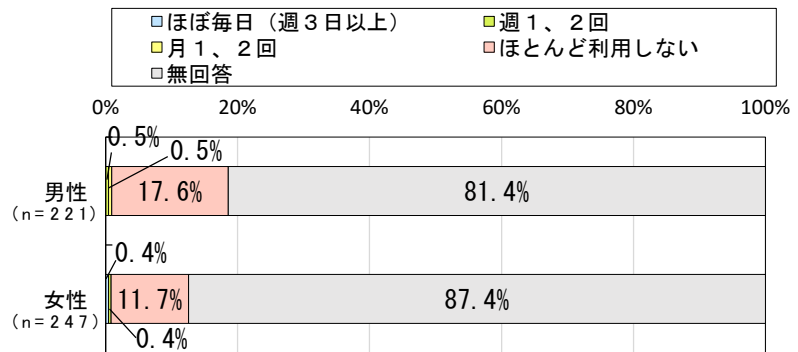
⑦ その他の利用頻度

- 「その他」の移動手段で、具体的手段の内容の記載はみられなかった。
- 全体では、無回答を除き「ほとんど利用しない」人の割合が14.7%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差はない。
- 年齢別では、全世代とも「ほとんど利用しない」人の割合が高くなっているが、60歳以上は、他の年代と比べてその割合が低くなっている。
- 地域別では、河辺地域において「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が3.3%、雄和地域においては「月1,2回」利用する人の割合が3.3%となっている。

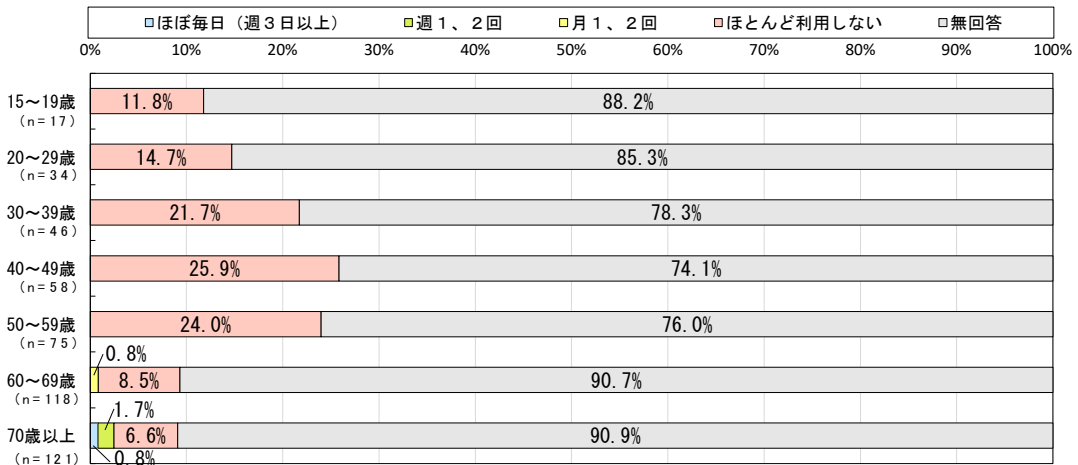
【全体集計 n=470】



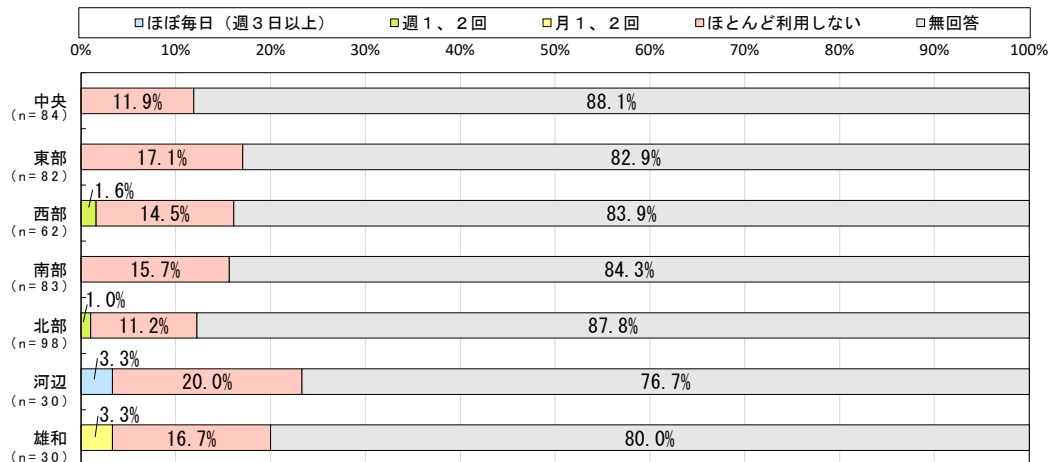
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



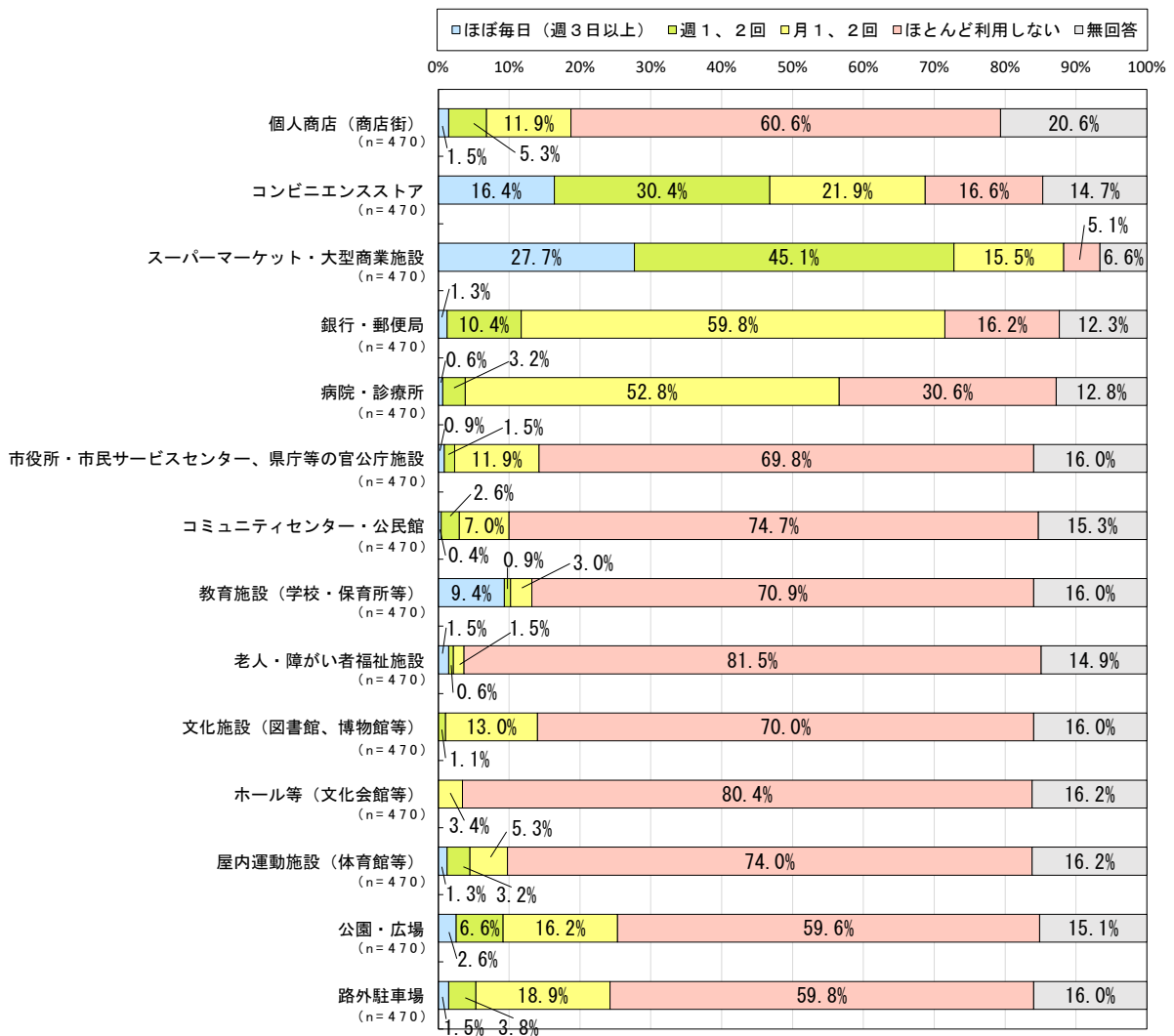
【地域別 (7地域) 集計 n=469】



(2) 施設の利用頻度

- 利用率が高いのは「スーパーマーケット・大型商業施設」「コンビニエンスストア」「銀行・郵便局」「病院・診療所」となっており、月1,2回以上利用する人の割合は、5割を超えている。
- 特に、「スーパーマーケット・大型商業施設」や「コンビニエンスストア」については利用頻度が高く、「ほぼ(毎日)(週3日以上)」利用する人の割合がそれぞれ27.7%、16.4%、「週1,2回」がそれぞれ45.1%、30.4%となっている。
- 一方で、特に利用率が低い施設は「老人・障がい者福祉施設」「ホール等(文化会館等)」「屋内運動施設(体育館等)」で、月1,2回以上利用する人は1割に満たない。

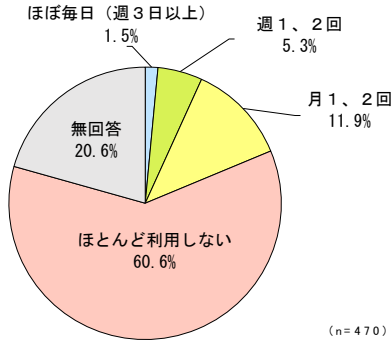
問6: 次の施設の利用頻度についてお答えください(1つだけ選択)



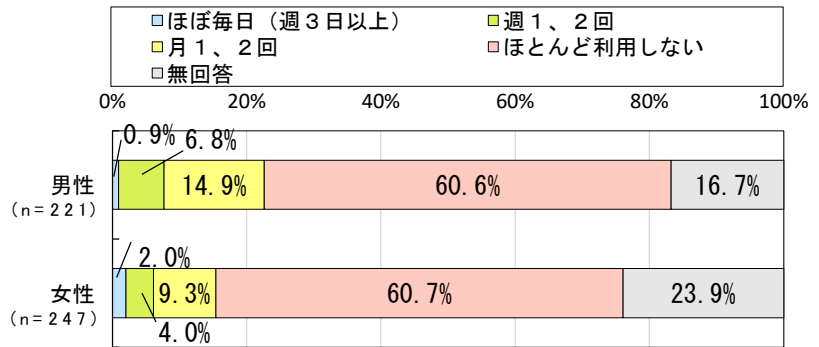
① 個人商店（商店街）の利用頻度

- 全体では無回答を除き、「ほとんど利用しない」人の割合が60.6%で最も高い。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、全世代とも「ほとんど利用しない」人の割合が高く、15～19歳を除き、年代が下がるにつれてその割合が高くなっている。
- 地域別では、雄和地域において「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が6.7%と、他の地域に比べ高くなっている。

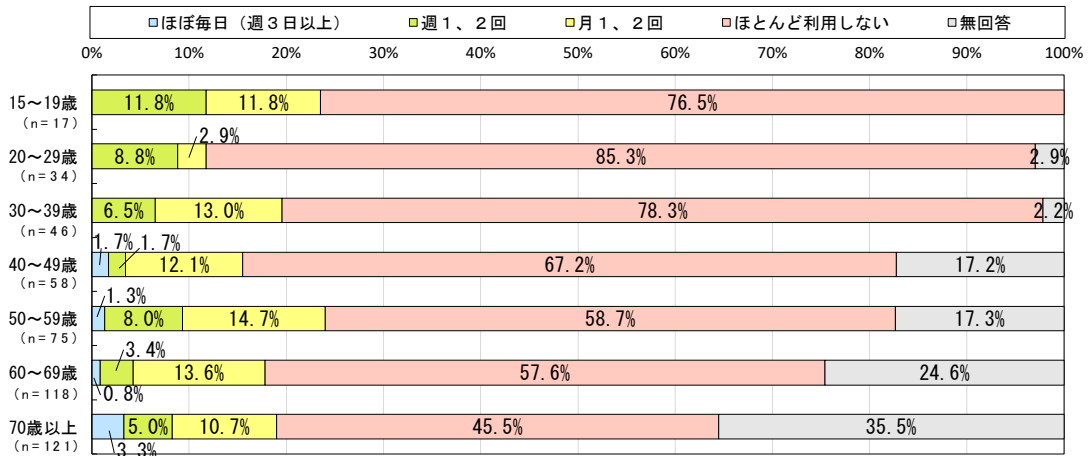
【全体集計 n=470】



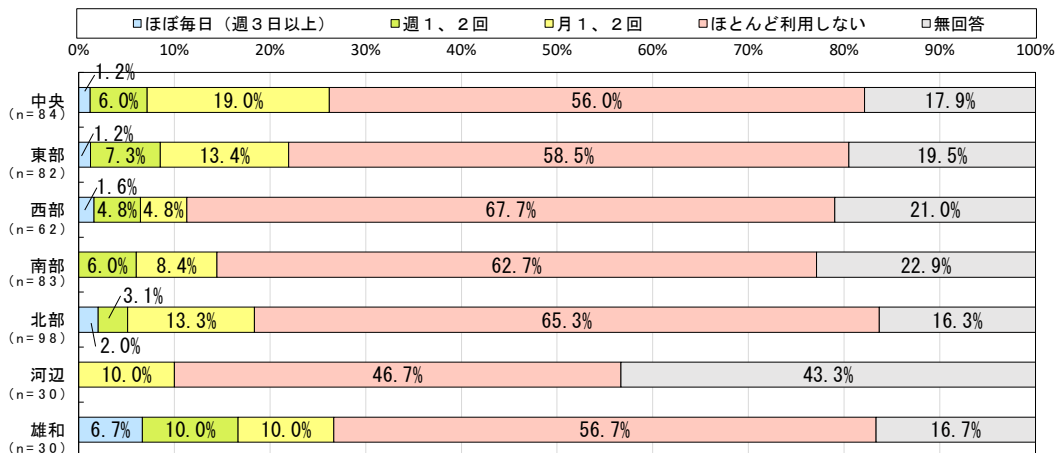
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



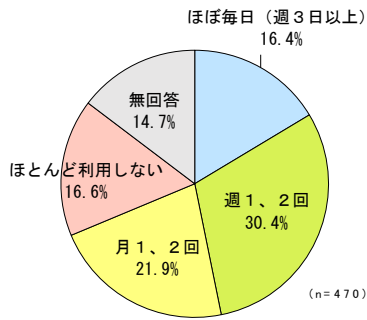
【地域別（7地域）集計 n=469】



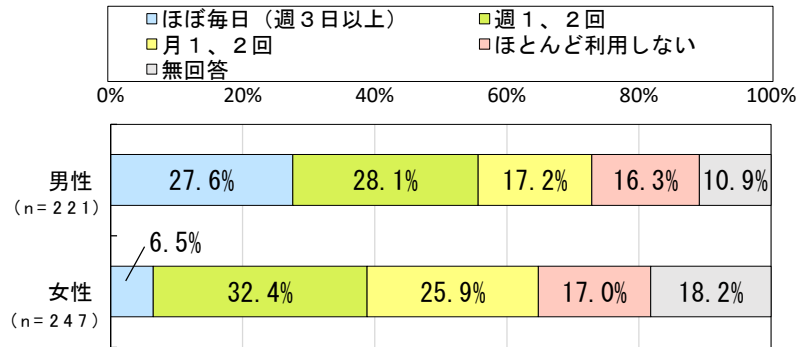
② コンビニエンスストアの利用頻度

- 全体では「週1,2回」利用する人の割合が30.4%で最も高くなっている。
- 男女別では、女性より男性の利用割合が高くなっている。
- 年齢別では、「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が、40代までは年齢が高くなるにつれて増加し、50代以上になると減少する傾向がみられる。
- 地域別では、河辺、雄和地域において、「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が他の地域と比べ低くなっている。

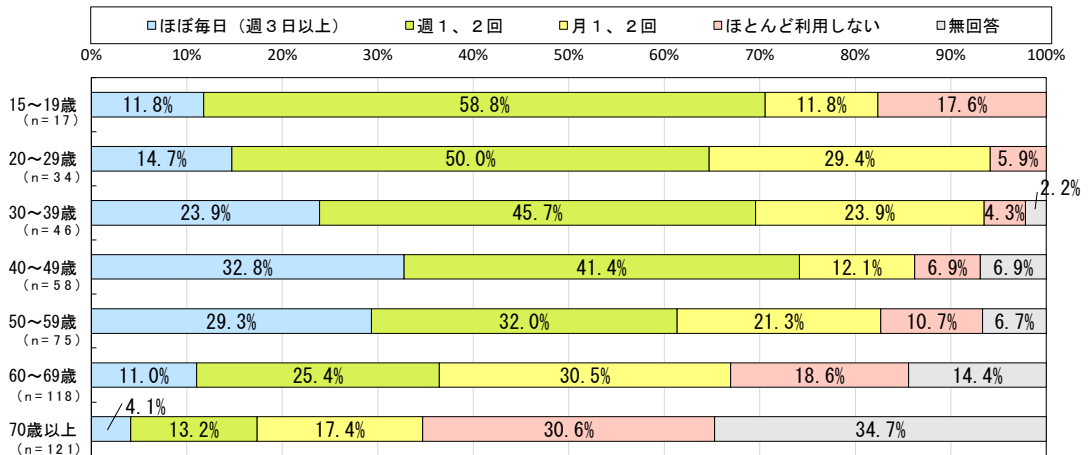
【全体集計 n=470】



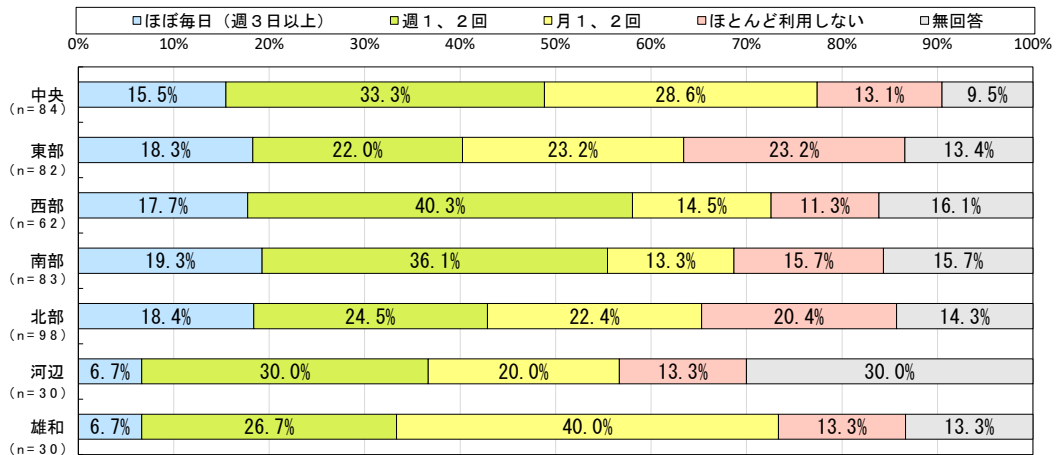
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



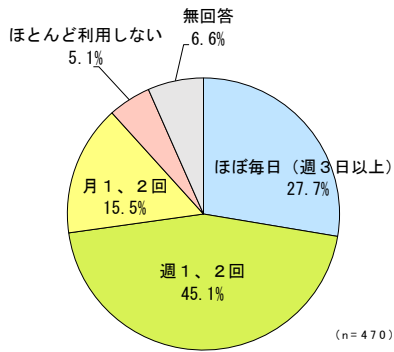
【地域別(7地域)集計 n=469】



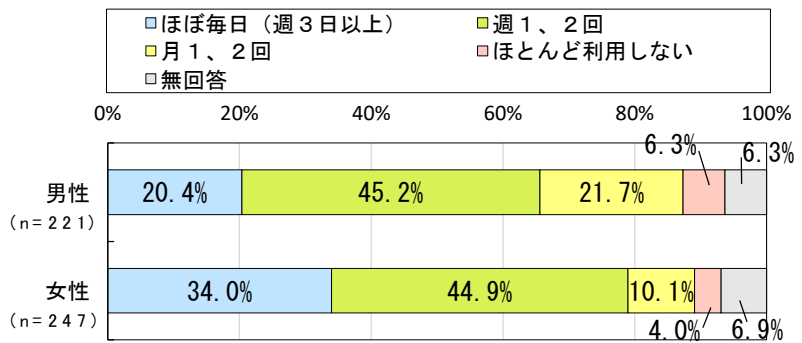
③ スーパーマーケット・大型商業施設の利用頻度

- 全体では「週1,2回」利用する人の割合が45.1%で最も高くなっている。
- 男女別では、男性より女性の利用割合が高くなっている。
- 年齢別では、70歳以上が他の年代より利用頻度が低くなっている。
- 地域別では、河辺、雄和地域において、「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人や「週1,2回」利用する人の割合が他の地域と比べ低くなっている。

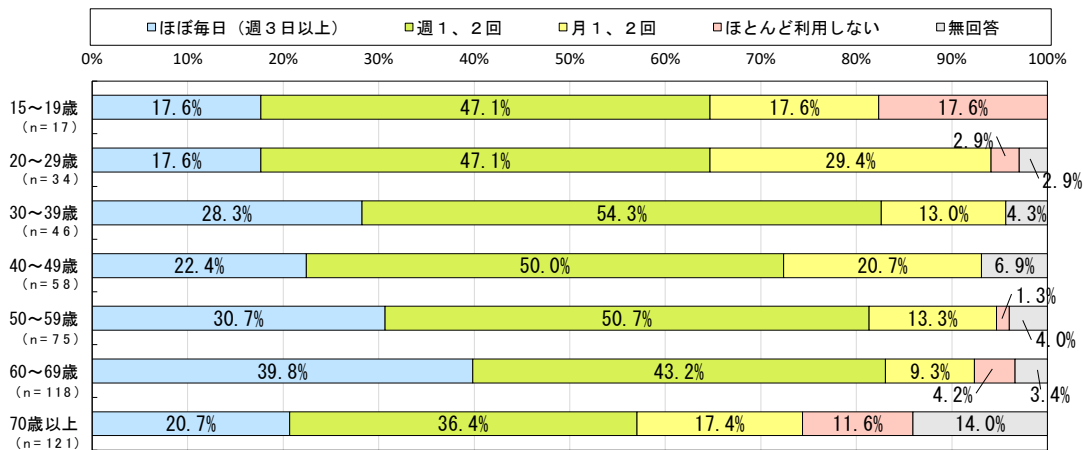
【全体集計 n=470】



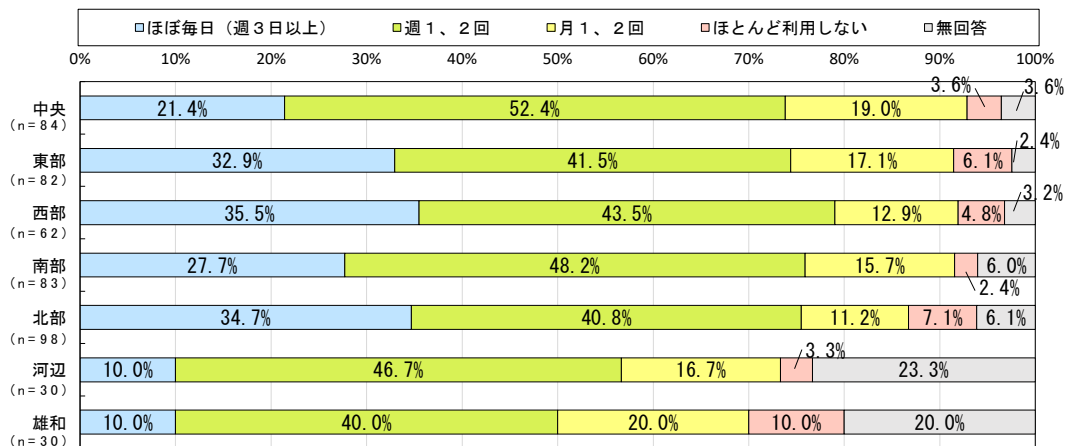
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



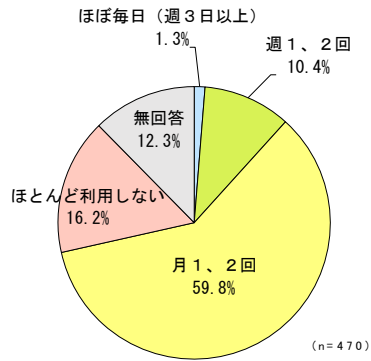
【地域別(7地域)集計 n=469】



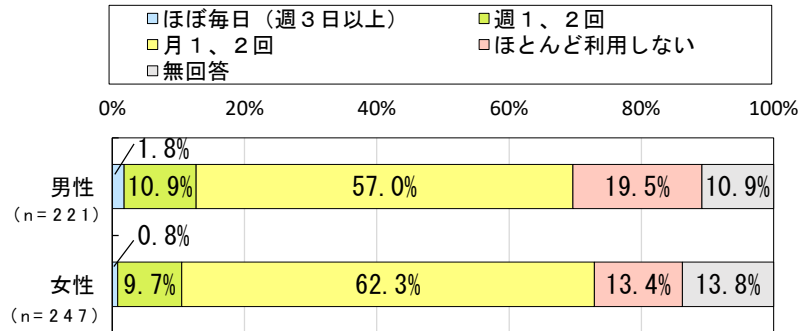
④ 銀行・郵便局の利用頻度

- 全体では「月 1,2 回」利用する人の割合が 59.8%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、15～19 歳において、他の年代より利用頻度が低くなっている。
- 地域別では、西部地域において「ほぼ毎日（週3日以上）」利用する人の割合が 4.8%となっており、他の地域と比べ高くなっている。

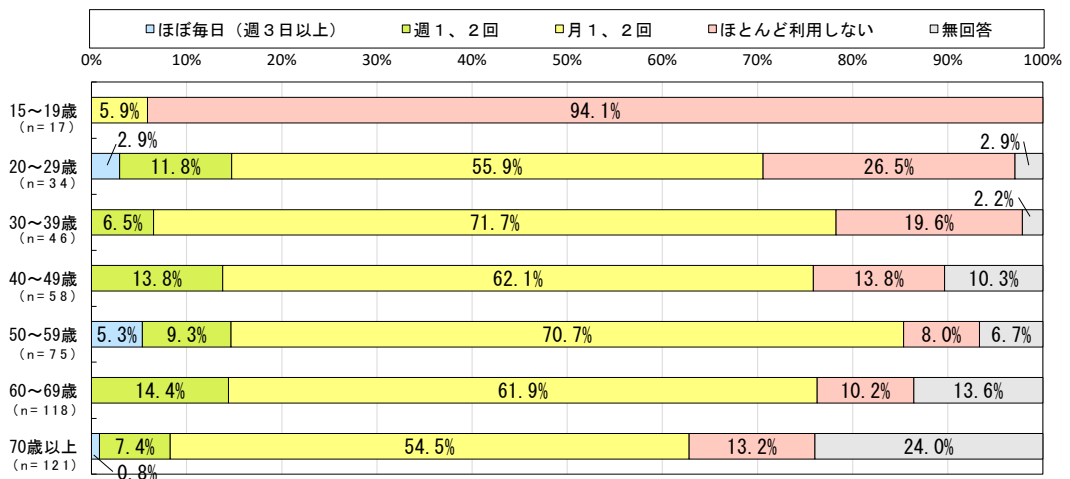
【全体集計 n=470】



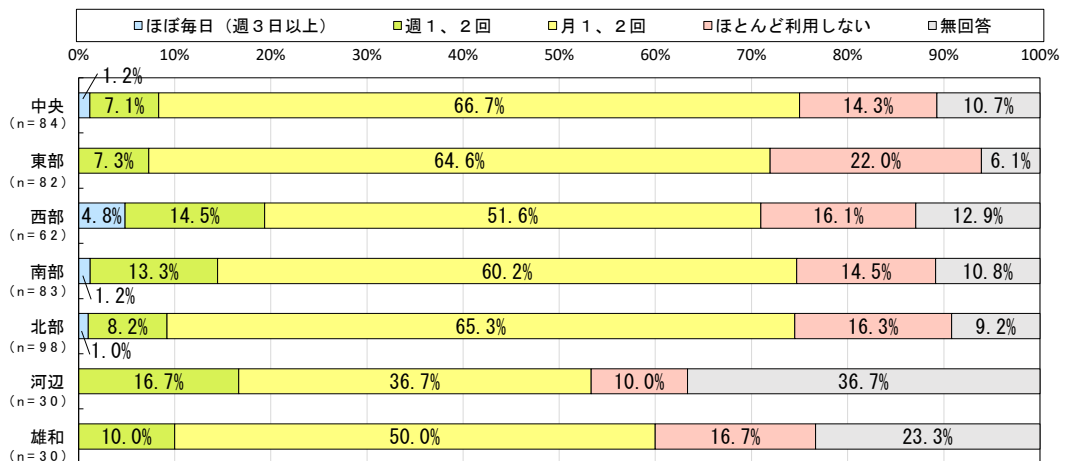
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



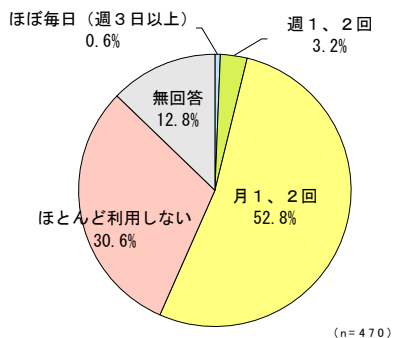
【地域別（7地域）集計 n=469】



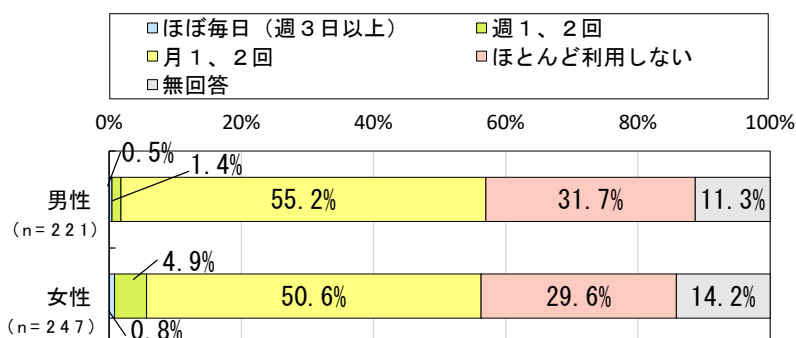
⑤ 病院・診療所の利用頻度

- 全体では「月 1,2 回」利用する人の割合が 52.8%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年代別では、どの年代も「月 1,2 回」利用する人の割合が最も高くなっている。
- 60 代以上の年代においては月 1,2 回以上利用する人の割合が5割を超えており、他の年代と比較して高くなっている。
- 地域別では、どの地域も「月 1,2 回」利用する人の割合が最も高くなっている。

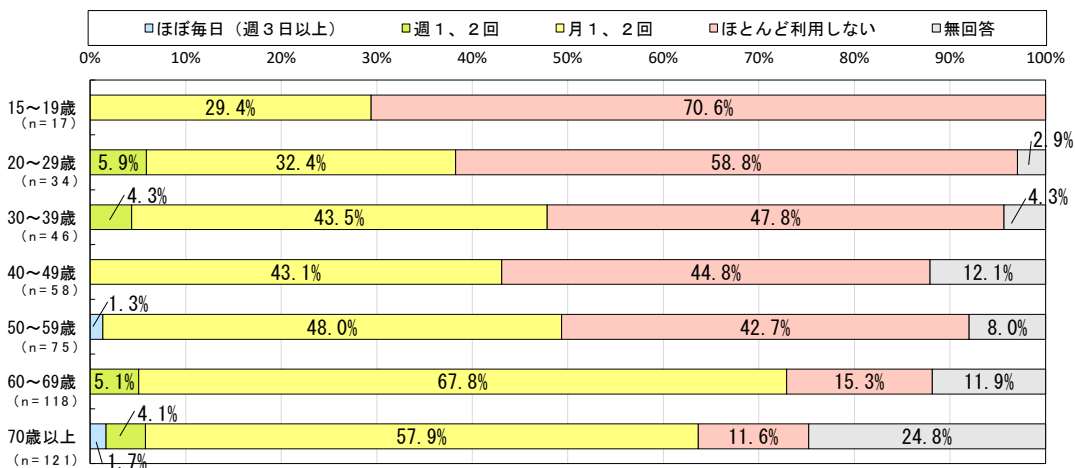
【全体集計 n=470】



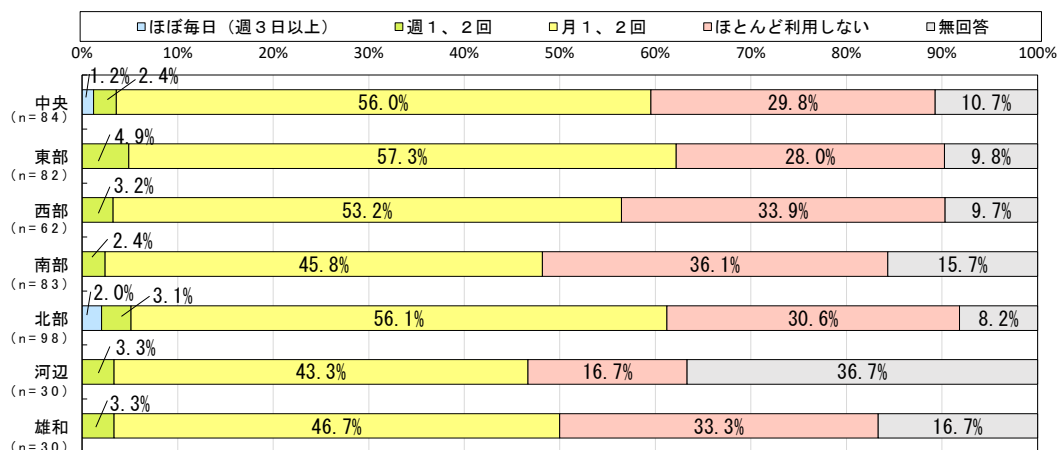
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



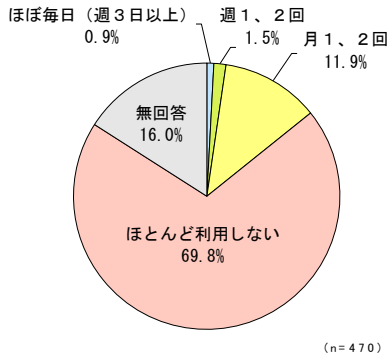
【地域別 (7地域) 集計 n=469】



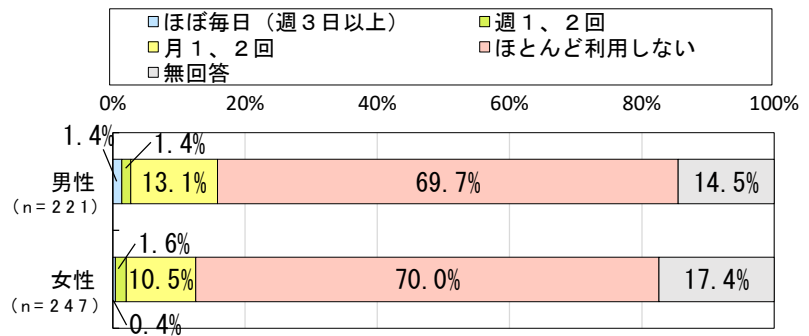
⑥ 市役所・市民サービスセンター、県庁等の官公庁施設の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が69.8%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、ほとんどの年代で月1,2回以上利用する人の割合は2割未満となっているが、15~19歳においては「ほとんど利用しない」人の割合が100.0%となっている。
- 地域別では、どの地域も月1,2回以上利用する人の割合が2割未満となっている。

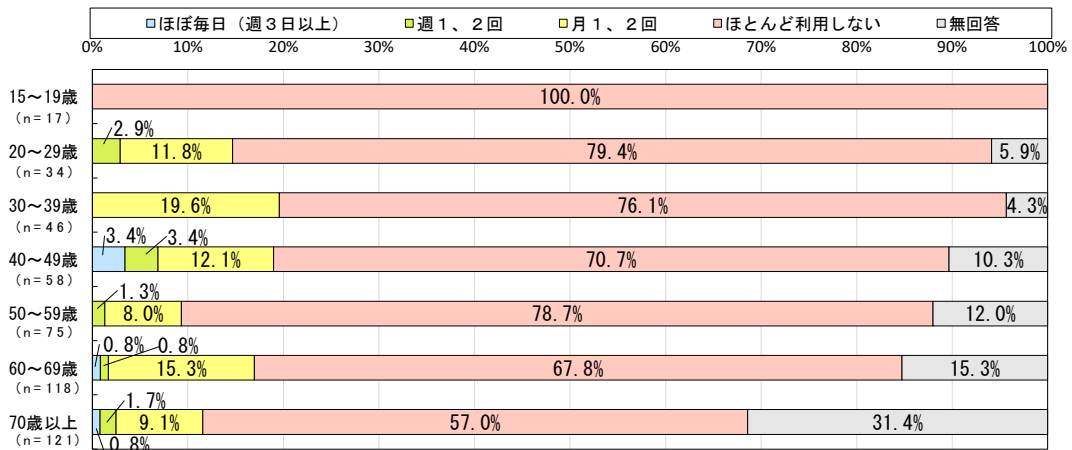
【全体集計 n=470】



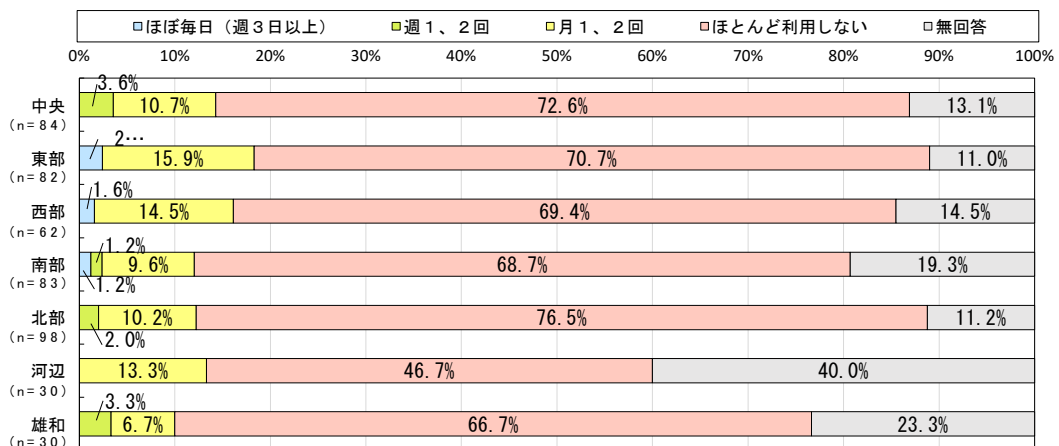
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



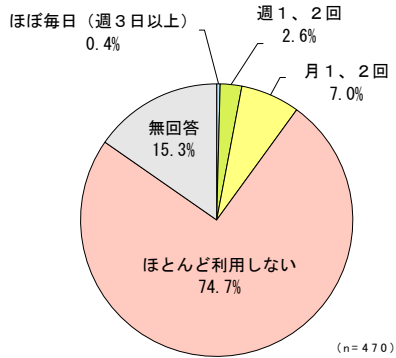
【地域別 (7地域) 集計 n=469】



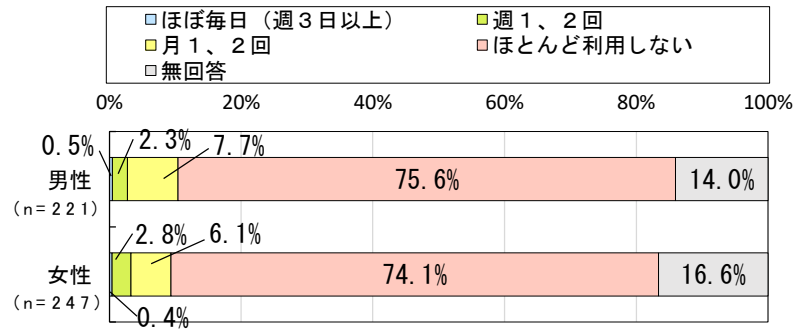
⑦ コミュニティセンター・公民館の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が74.7%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、年齢が高くなるにつれて月1,2回以上利用する人の割合が高くなる傾向にあるが、15～19歳においては、「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が5.9%となっており、他の年代と比べて高くなっている。
- 地域別では、河辺、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

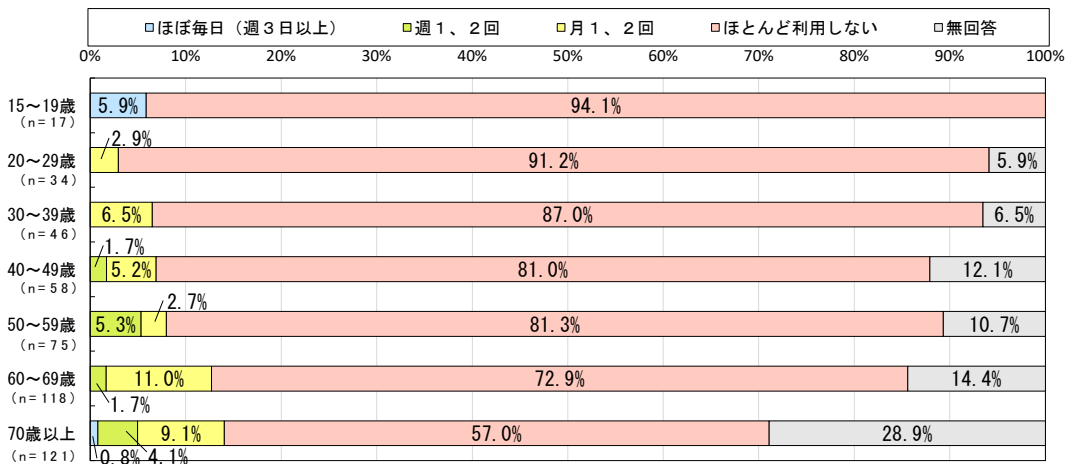
【全体集計 n=470】



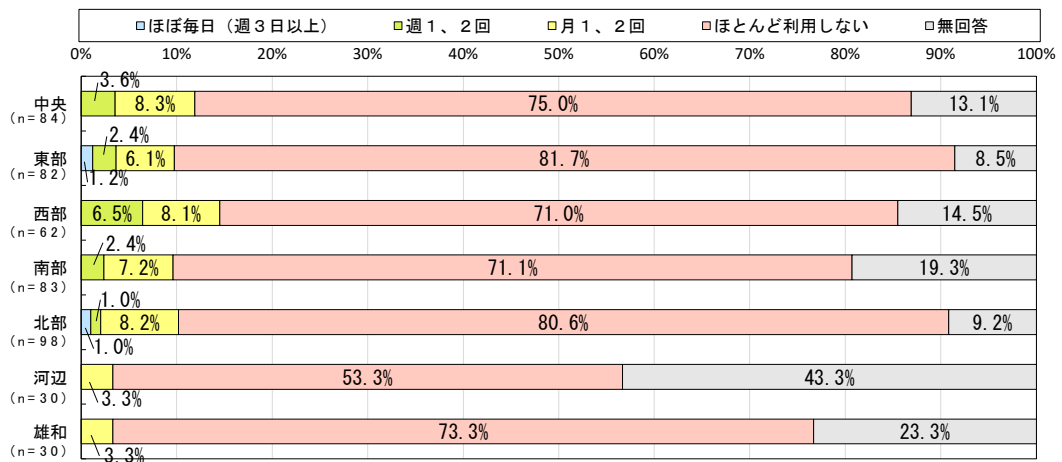
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



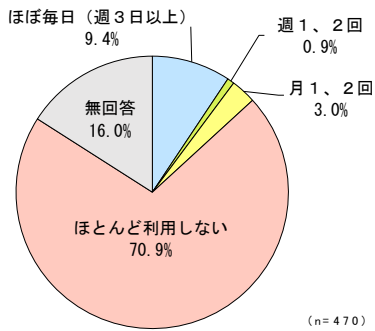
【地域別(7地域)集計 n=469】



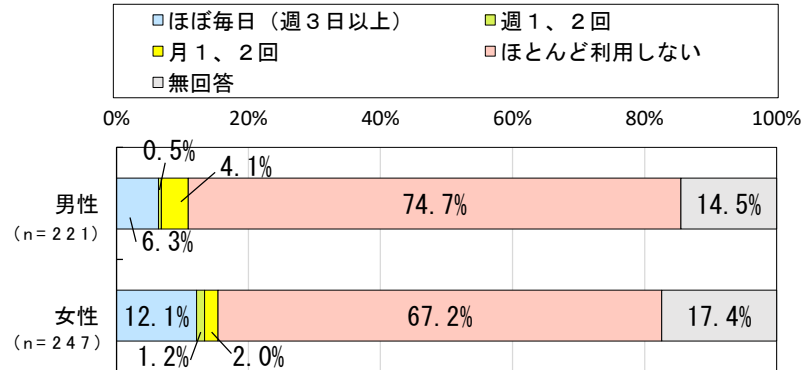
⑧ 教育施設(学校・保育所等)の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が70.9%で最も高くなっている。
- 男女別では、男性より女性の利用割合が高くなっている。
- 年齢別では、15～19歳において「ほぼ毎日(週3日以上)」利用する人の割合が82.4%と他の年代より高くなっている。
- 地域別では、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

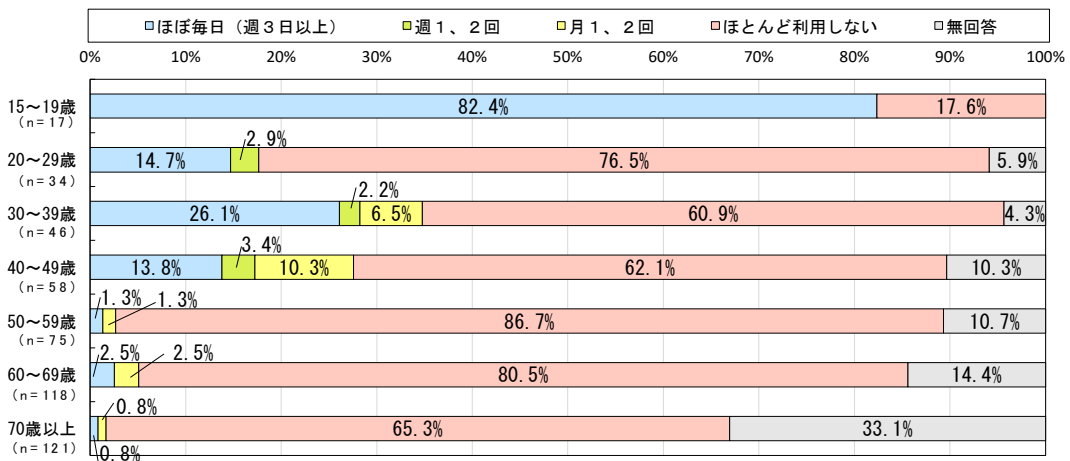
【全体集計 n=470】



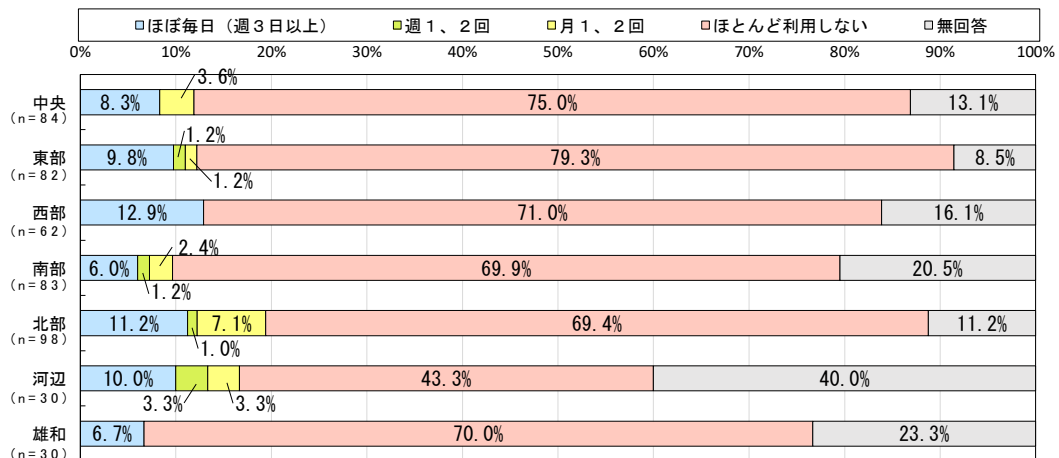
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



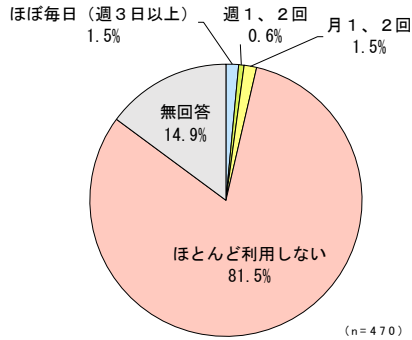
【地域別(7地域)集計 n=469】



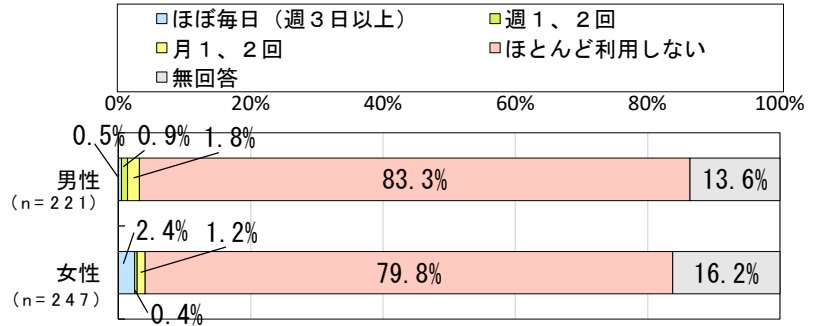
⑨ 老人・障がい者福祉施設の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が81.5%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、15～19歳において「ほとんど利用しない」人の割合が100.0%となっている。一方、70歳以上において、他の年代より利用割合が高くなっている。
- 地域別では、河辺地域において、他の地域より利用割合が高くなっている。

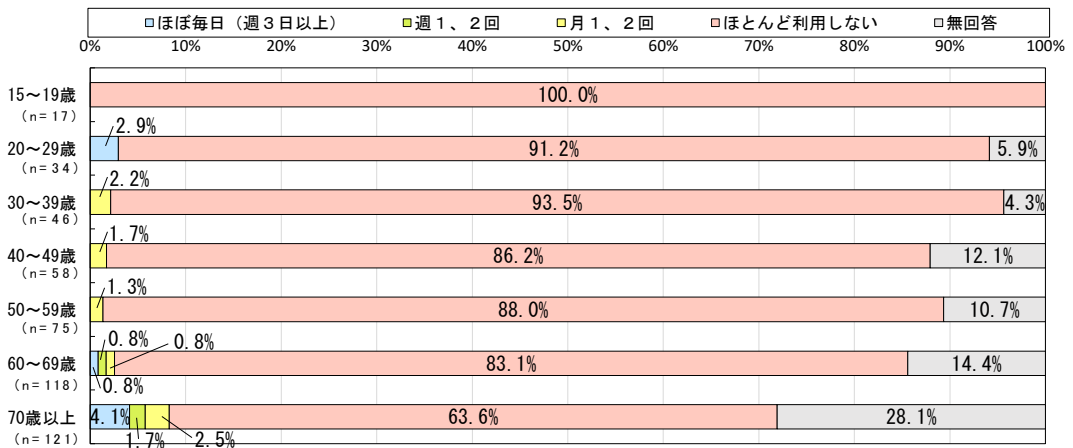
【全体集計 n=470】



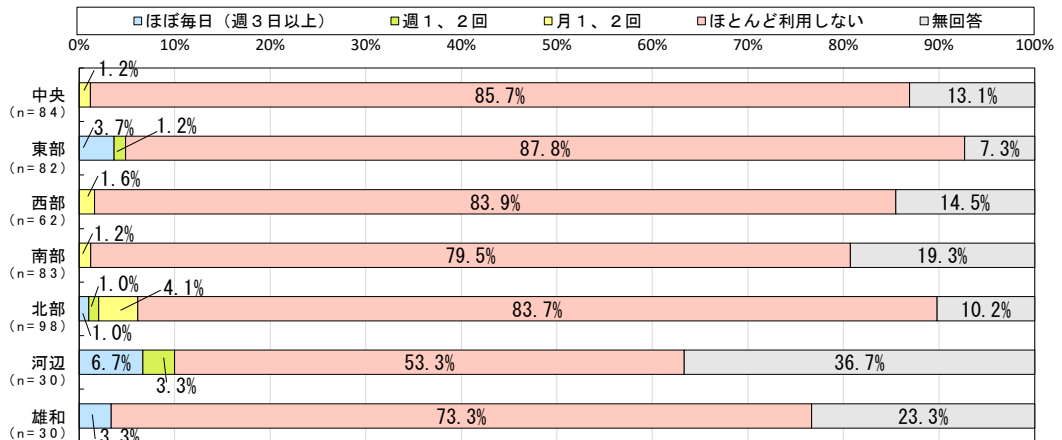
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



【地域別（7地域）集計 n=469】

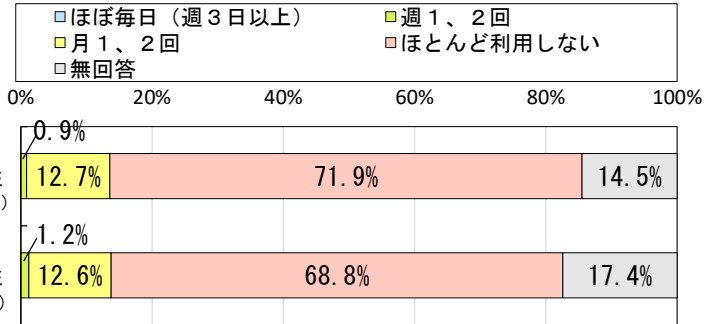
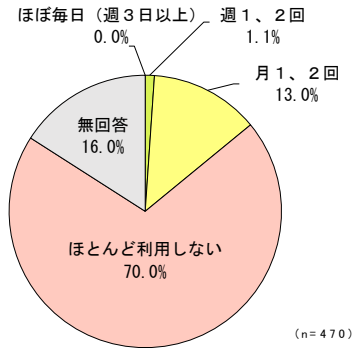


⑩ 文化施設(図書館、博物館等)の利用頻度

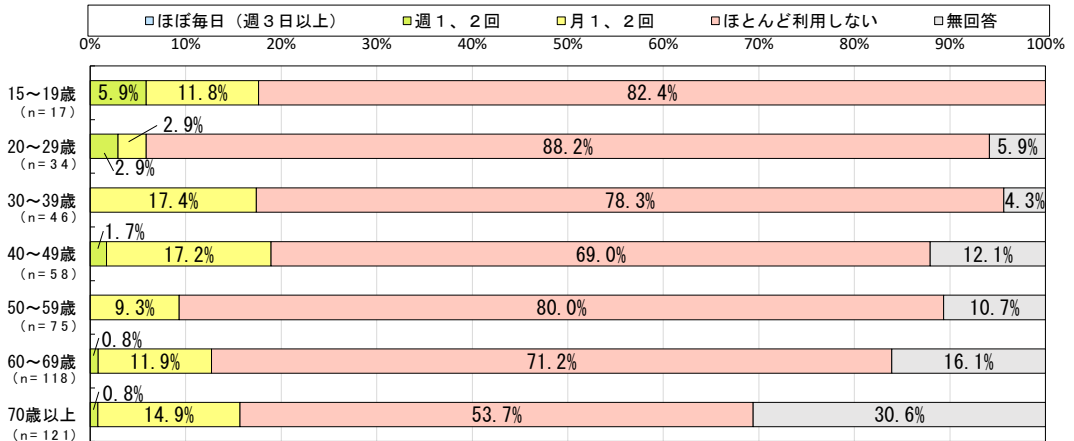
- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が70.0%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、20～29歳において、他の年代より利用割合が低くなっている。
- 地域別では、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

【全体集計 n=470】

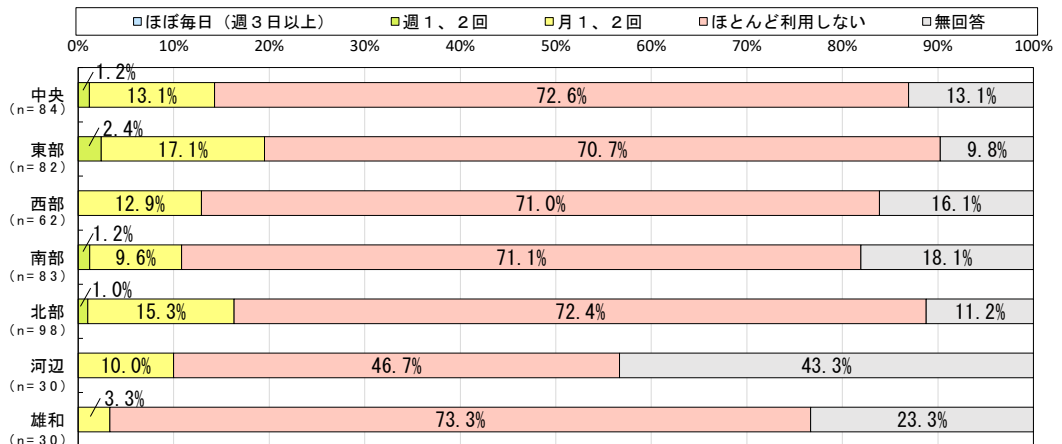
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



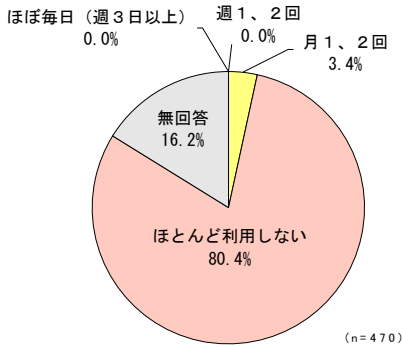
【地域別(7地域)集計 n=469】



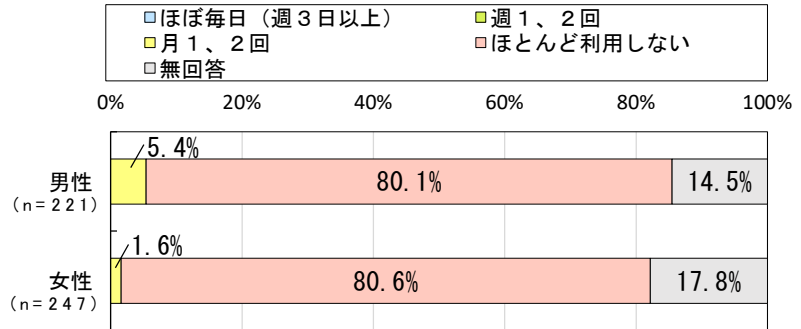
① ホール等（文化会館等）の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が80.4%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、全世代とも「ほとんど利用しない」人の割合が最も高くなっている。その中では、40～49歳において、利用割合が比較的高くなっている。
- 地域別では、河辺、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

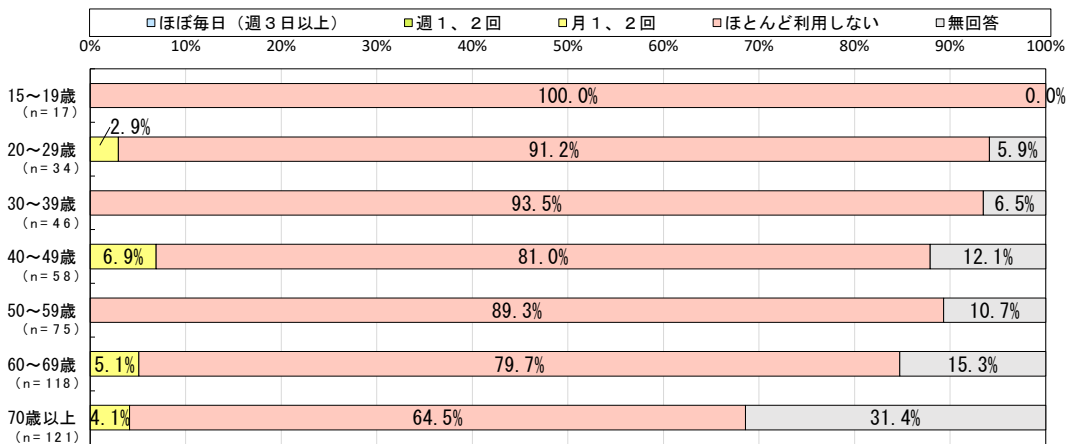
【全体集計 n=470】



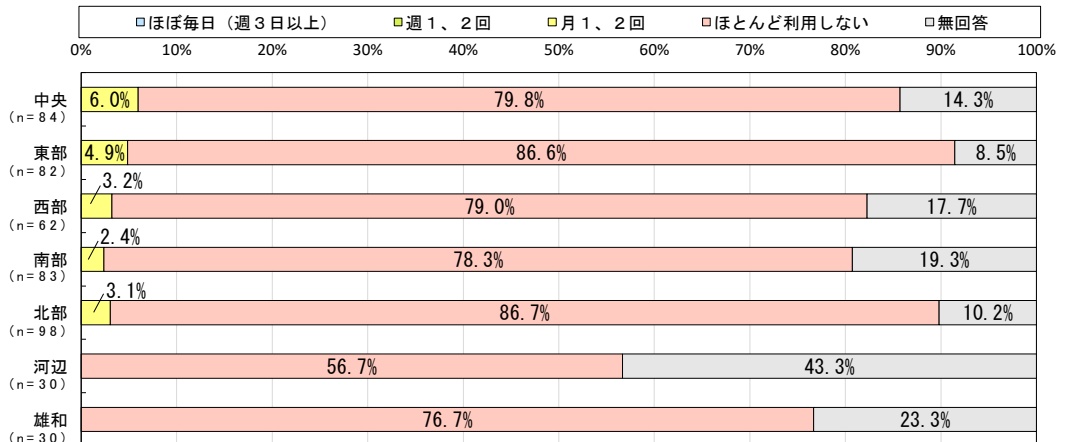
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



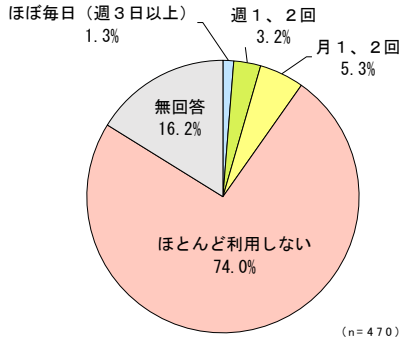
【地域別（7地域）集計 n=469】



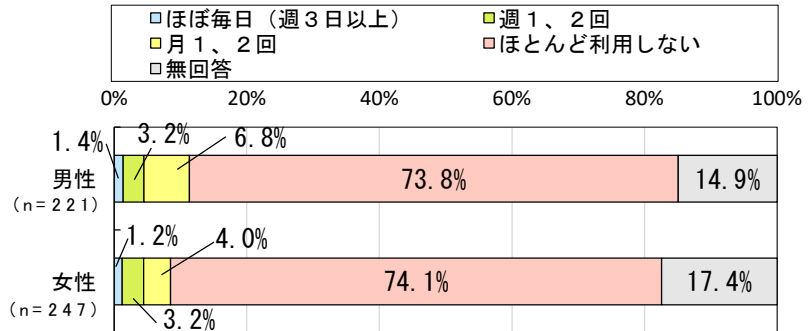
⑫ 屋内運動施設(体育館等)の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が74.0%で最も高くなっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、15～19歳において、他の年代より利用割合が高くなっている。
- 地域別では、河辺地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

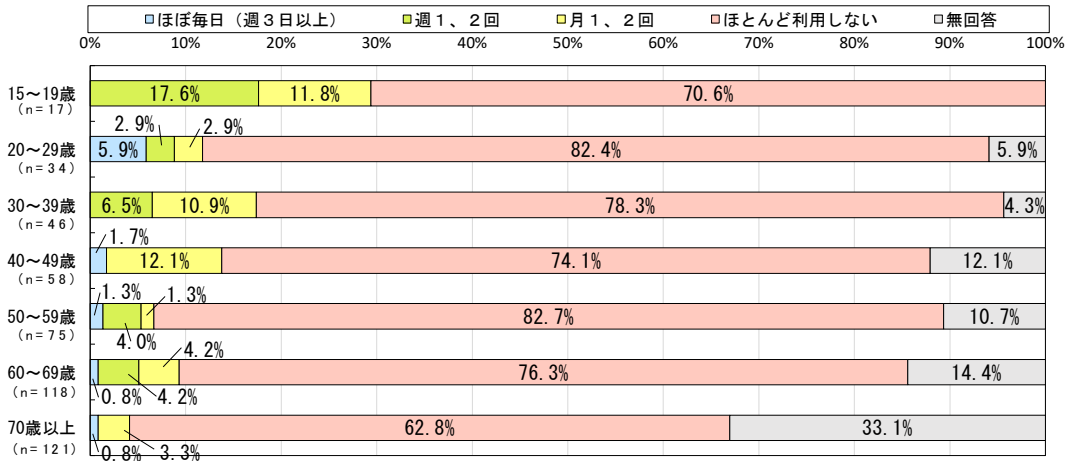
【全体集計 n=470】



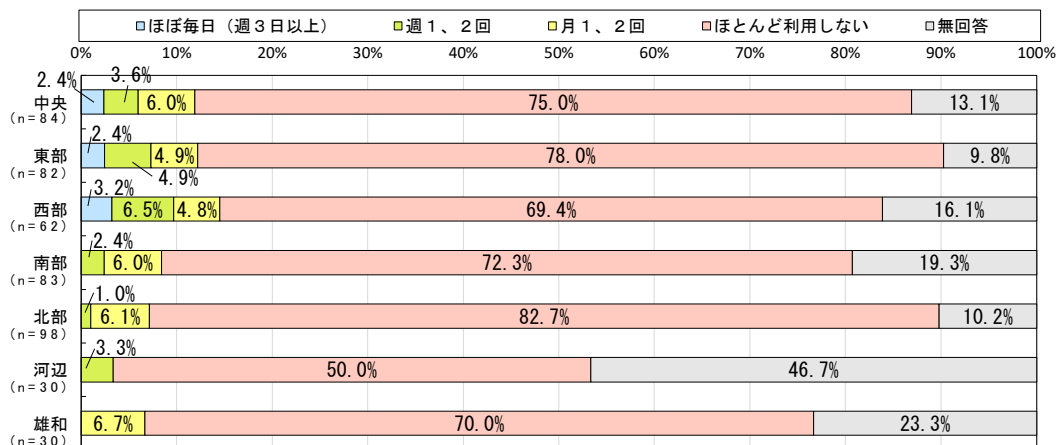
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



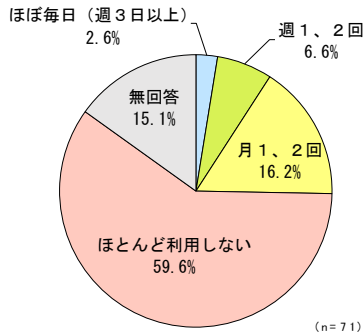
【地域別(7地域)集計 n=469】



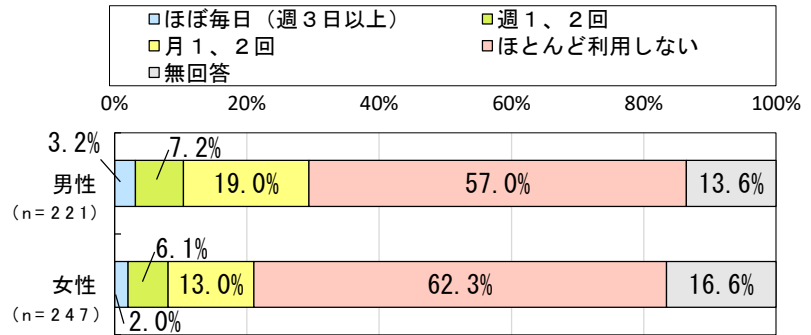
⑬ 公園・広場の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が59.6%で最も高く、次いで「月1,2回」が16.2%となっている。
- 男女別では、大きな差は見られない。
- 年齢別では、30~39歳において、他の年代より利用割合が高くなっている。
- 地域別では、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

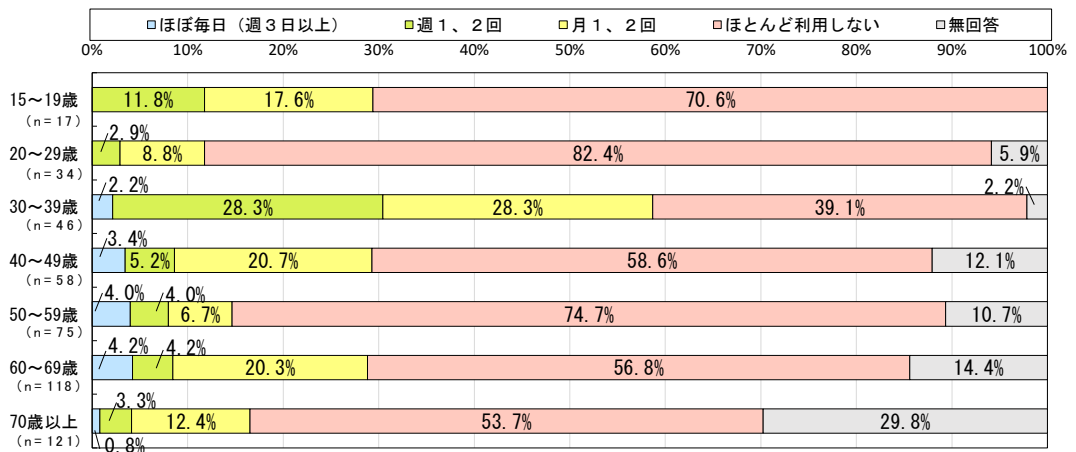
【全体集計 n=470】



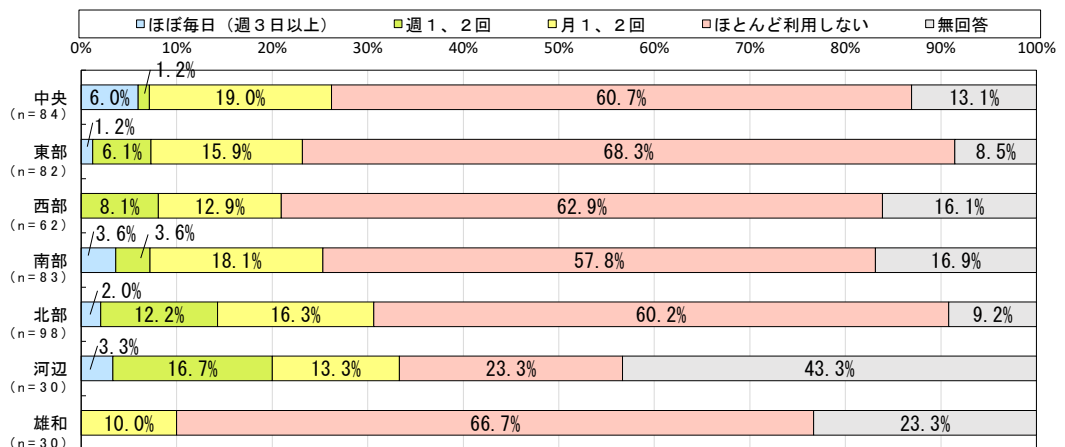
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



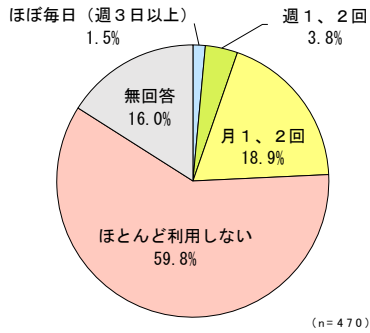
【地域別 (7地域) 集計 n=469】



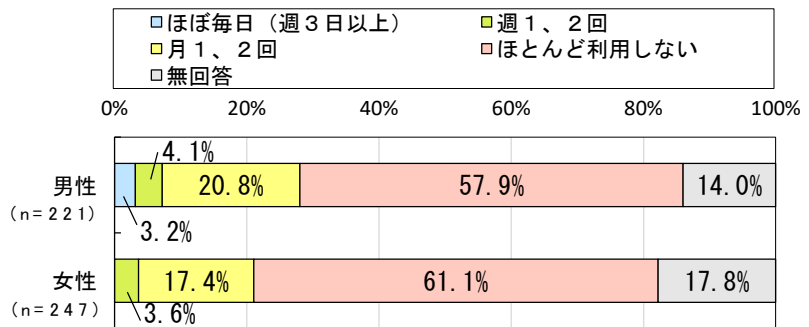
⑭ 路外駐車場の利用頻度

- 全体では「ほとんど利用しない」人の割合が59.8%で最も高く、次いで「月1,2回」が18.9%となっている。
- 男女別では、女性より男性の利用割合が高くなっている。
- 年齢別では、50代までは、年齢が高くなるにつれて利用割合が増加し、60代以上になると減少する傾向が見られる。
- 地域別では、河辺、雄和地域において、他の地域より利用割合が低くなっている。

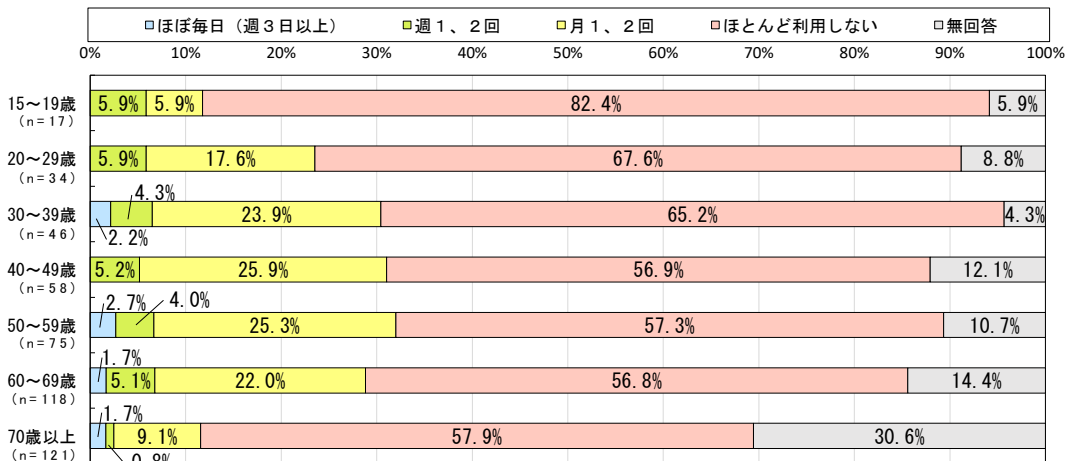
【全体集計 n=470】



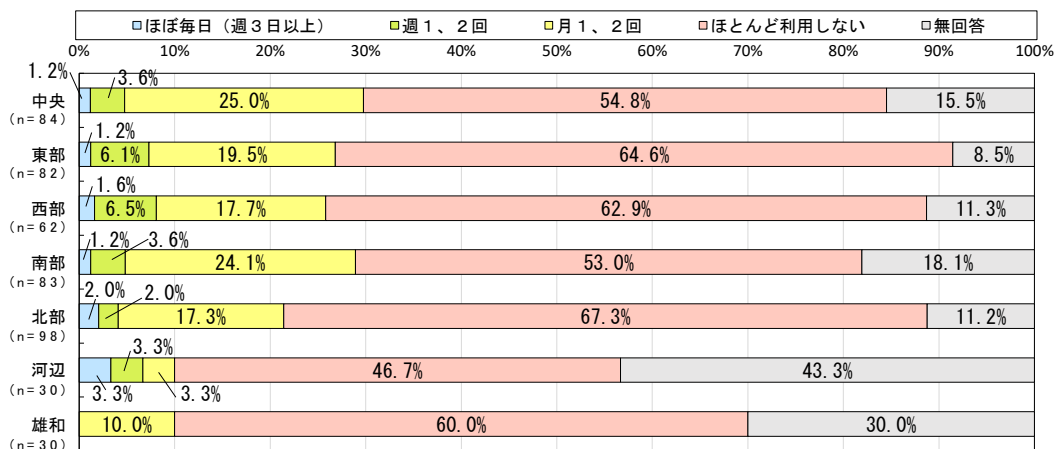
【男女別集計 n=468】



【年齢別集計 n=469】



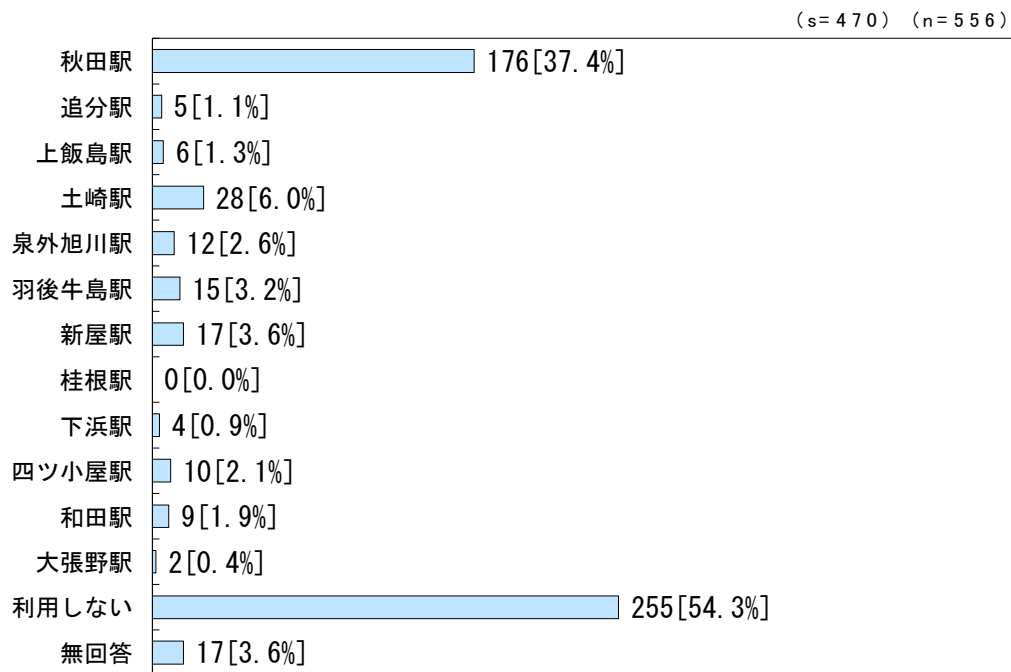
【地域別（7地域）集計 n=469】



(3) 普段利用する鉄道駅

➤ 鉄道駅の中で、最も利用割合が高いのは「秋田駅(37.4%)」で、次いで「土崎駅(6.0%)」「新屋駅(3.6%)」の順になっている。「利用しない(54.3%)」を除く)

問7:あなたが普段よく利用する鉄道駅をお答えください(すべて選択)



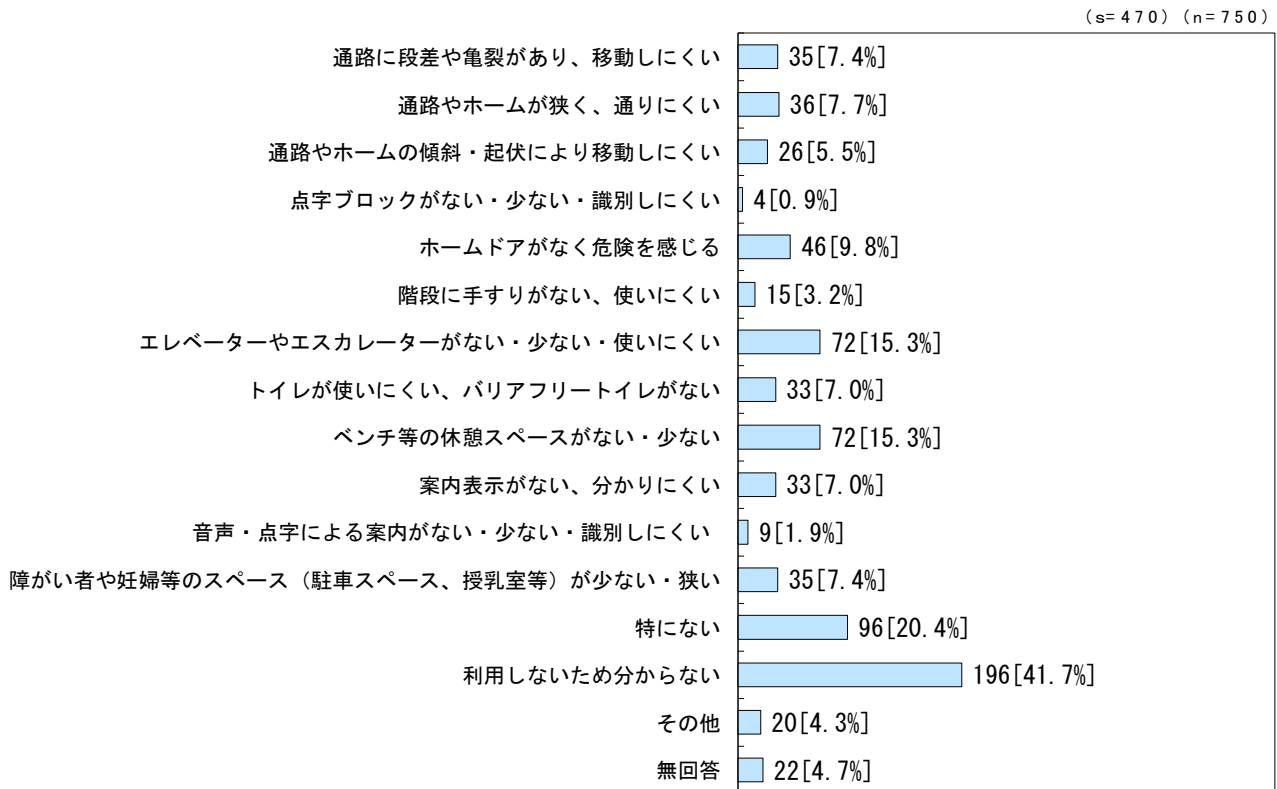
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

3-3 日常的に利用する施設等について

(1) 「鉄道駅」についての困りごと

➤ 鉄道駅についての困りごとで、最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(15.3%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(15.3%)」で、次いで「ホームドアがなく危険を感じる(9.8%)」の順になっている。「利用しないため分からない(41.7%)」と「特にない(20.4%)」を除く

問8:あなたが鉄道駅について、困ること、気づくことはありますか(3つまで選択)



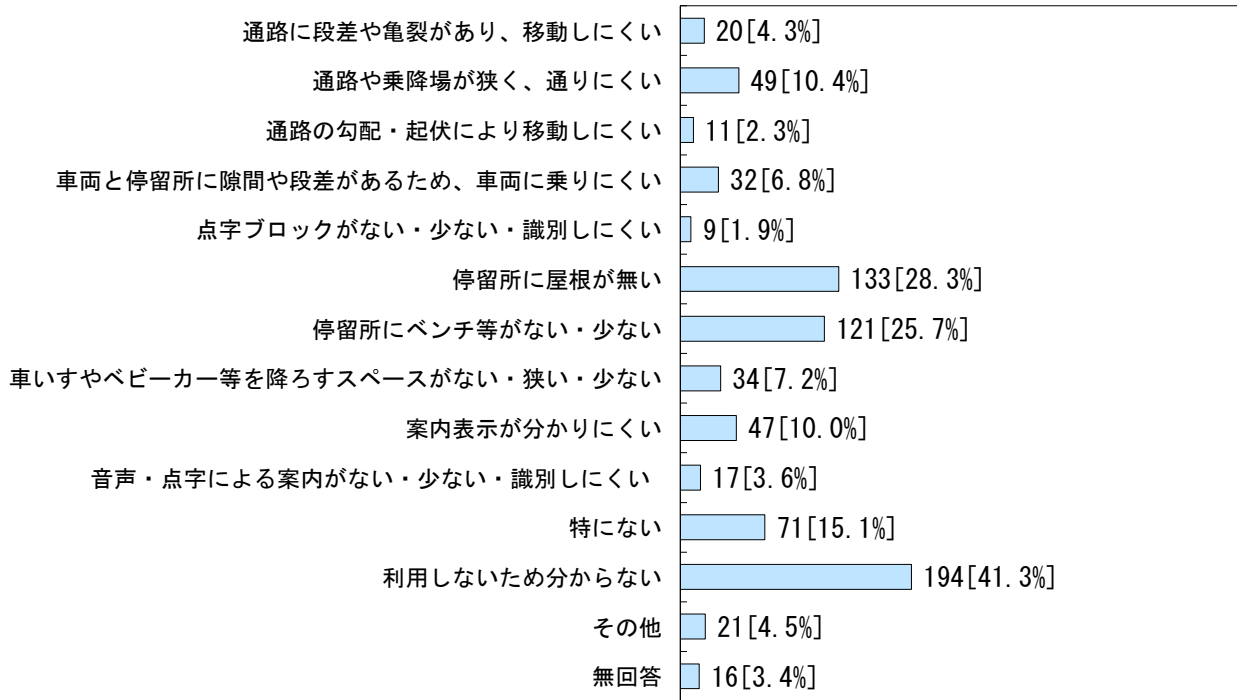
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「無人駅となる時間があり、障がい者等の目線になっていないのではと感じる」などが挙げられている。

(2) 「バス停留所およびバスターミナル」についての困りごと

➤ バス停留所およびバスターミナルについての困りごとで、最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(28.3%)」で、次いで「停留所にベンチ等がない・少ない(25.7%)」「通路や乗降場が狭く、通りにくい(10.4%)」の順になっている。「利用しないため分からない(41.3%)」と「特にない(15.1%)」を除く)

問9:あなたがバス停留所、バスターミナルについて、困ること、気づくことはありますか(3つまで選択)

(s=470) (n=775)

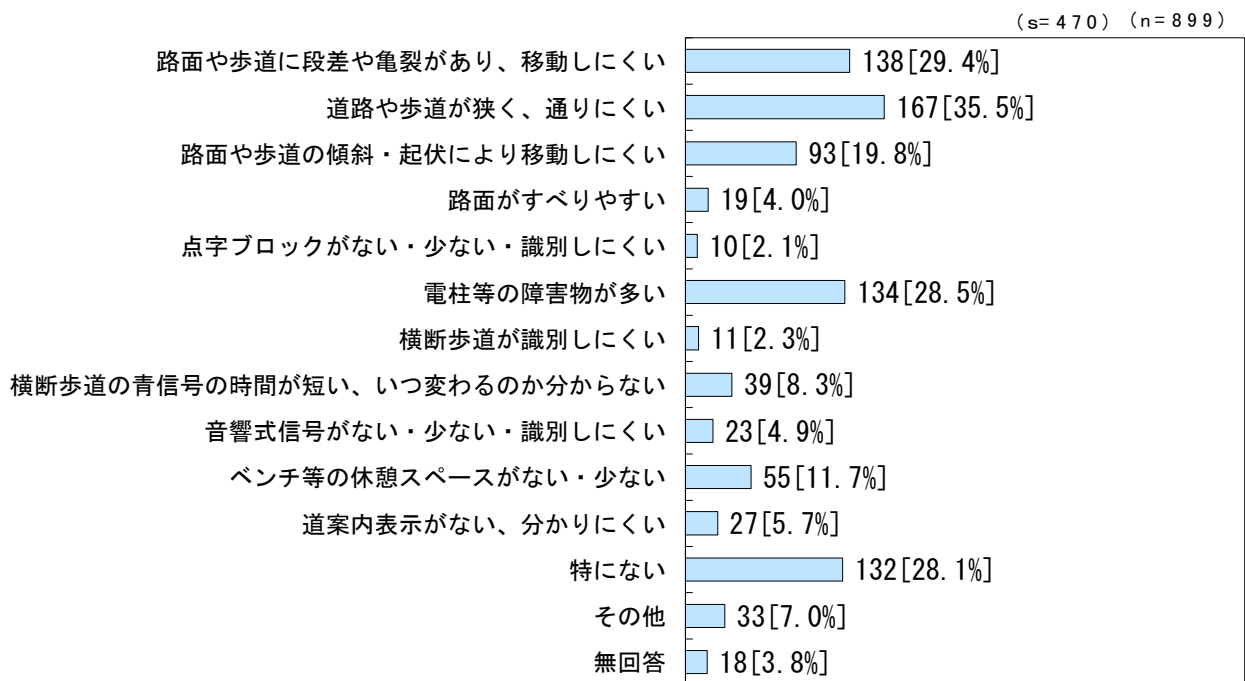


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「雨水がたまる」や「雪が積もると滑る」などが挙げられている。

(3) 「道路」についての困りごと

➤ 道路についての困りごとで、最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(35.5%)」で、次いで「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(29.4%)」「電柱等の障害物が多い(28.5%)」の順になっている。

問 10:あなたが道路について、徒歩や自転車、車いす等で移動する際に、困ること、気づくことはありますか(3つまで選択)

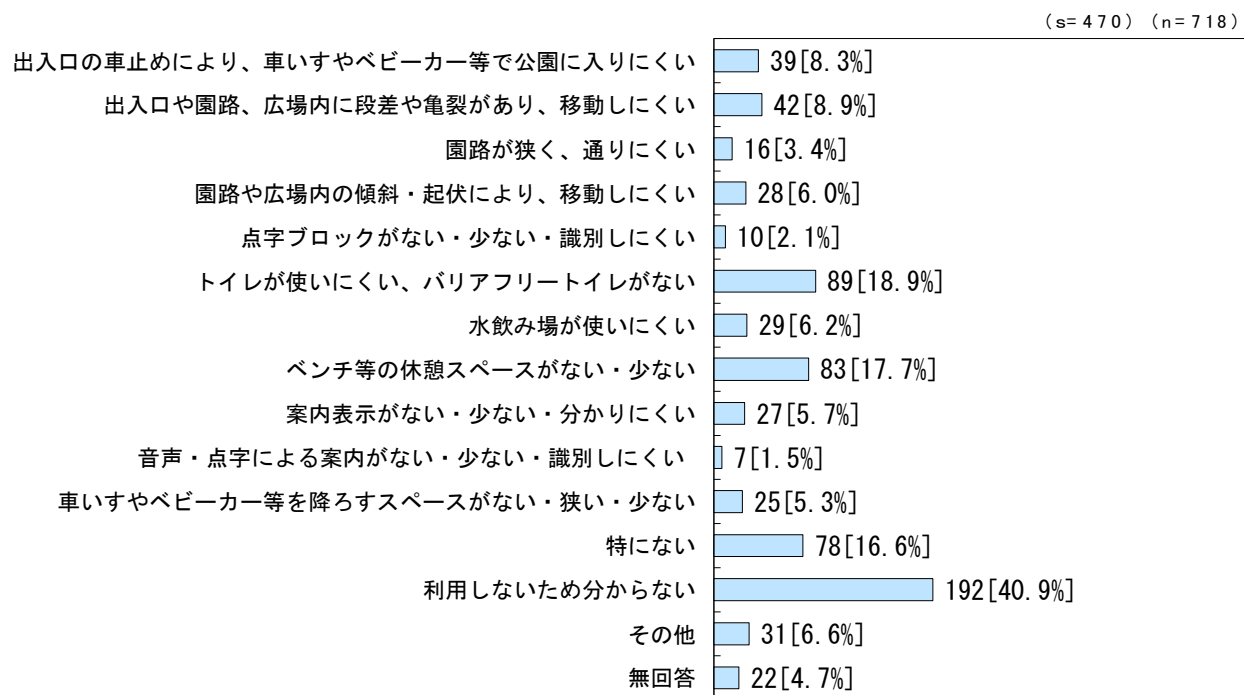


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「雨や雪により滑る」「道路穴がある」、「ゴミや小石が多い」などが挙げられている。

(4) 「公園」についての困りごと

➤ 公園についての困りごとで、最も割合が高いのは、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(18.9%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(17.7%)」「出入口や園路、広場内に段差や亀裂があり、移動しにくい(8.9%)」の順になっている。「利用しないため分からない(40.9%)」「特にない(16.6%)」を除く)

問 11:あなたが公園について、困ること、気づくことはありますか(3つまで選択)



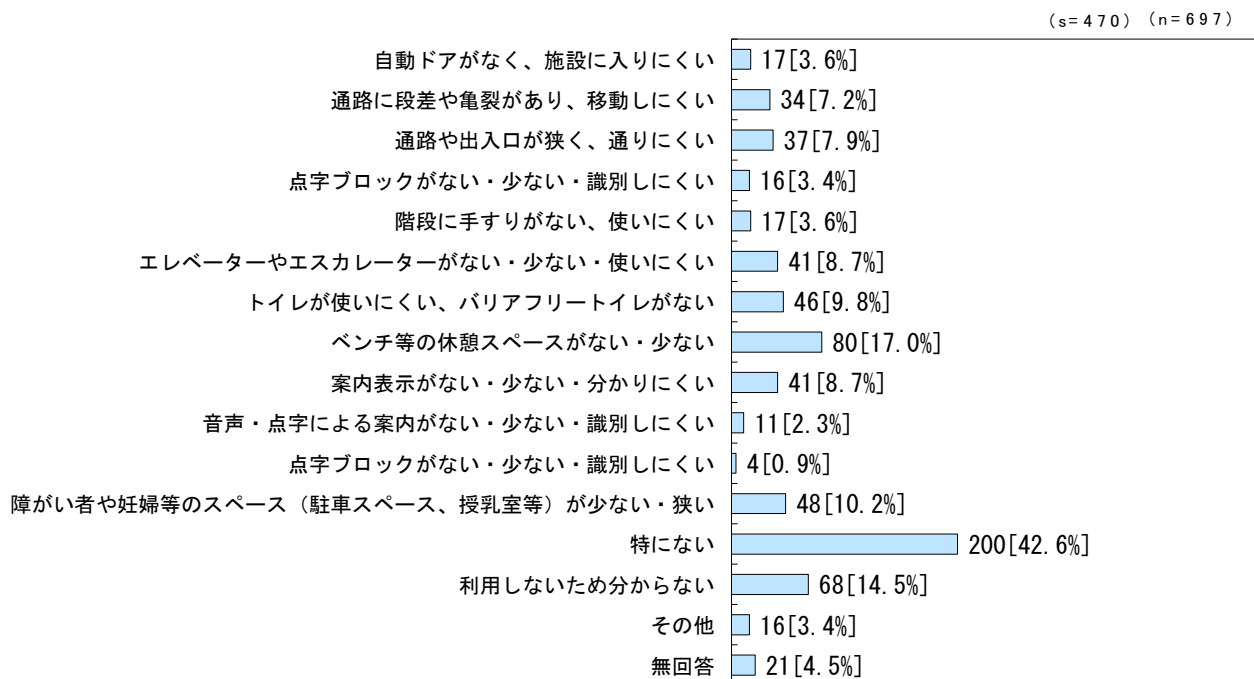
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

※「その他」については、具体的内容の記載はみられなかった。

(5) 「商業施設や公共施設等」についての困りごと

➤ 商業施設や公共施設等についての困りごとで、最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(17.0%)」で、次いで「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(10.2%)」「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(9.8%)」の順になっている。「特にない(42.6%)」と「利用しないため分からない(14.5%)」を除く)

問 12:あなたが商業施設や公共施設等について、困ること、気づくことはありますか(3つまで選択)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「駐車場の出入口が危険、床面が滑りやすい」などが挙げられている。

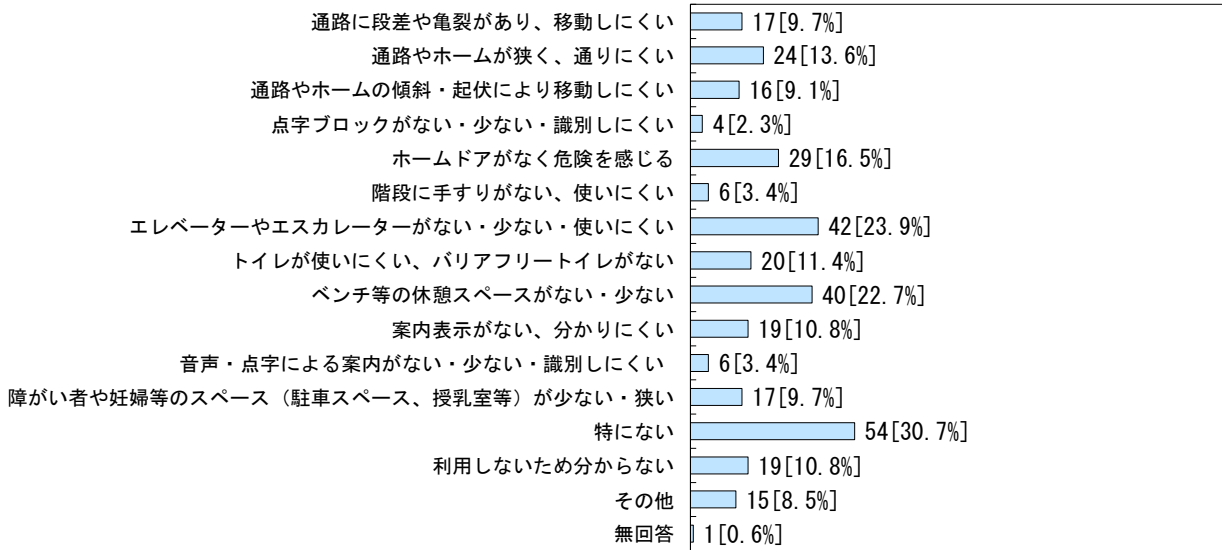
(6) 利用駅別の「鉄道駅」についての困りごと

利用駅別の「鉄道駅」についての困りごとを確認するため、問7（普段利用する鉄道駅）と問8（「鉄道駅」についての困りごと）についてクロス集計を行った。

① 秋田駅

➤ 秋田駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(23.9%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(22.7%)」の順になっている。
 (「特にない(30.7%)」を除く)

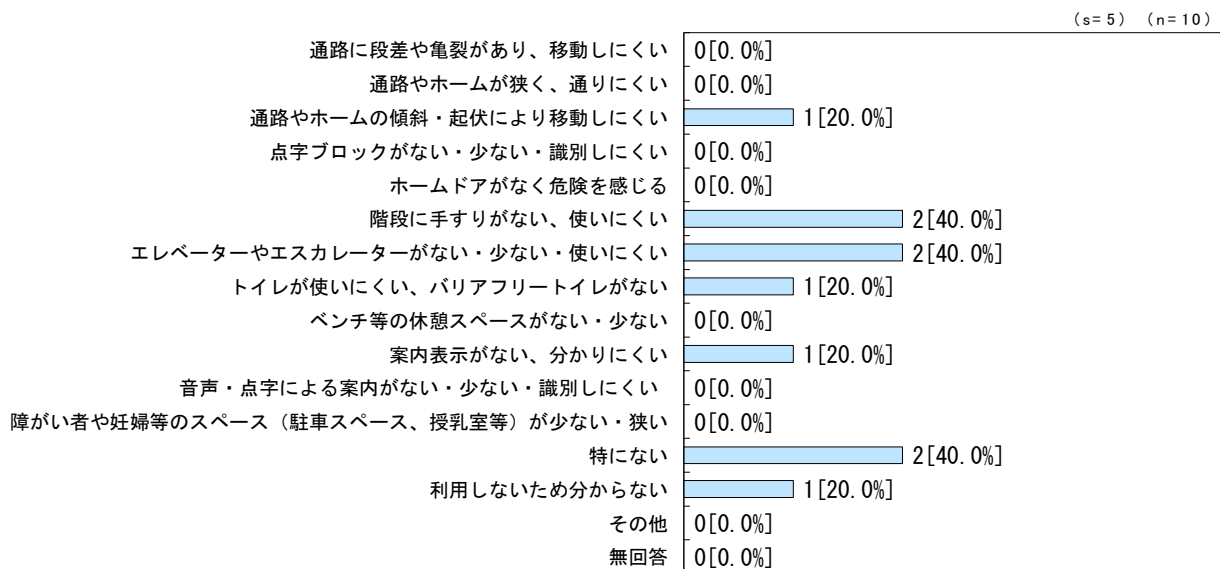
(s=176) (n=329)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

② 追分駅

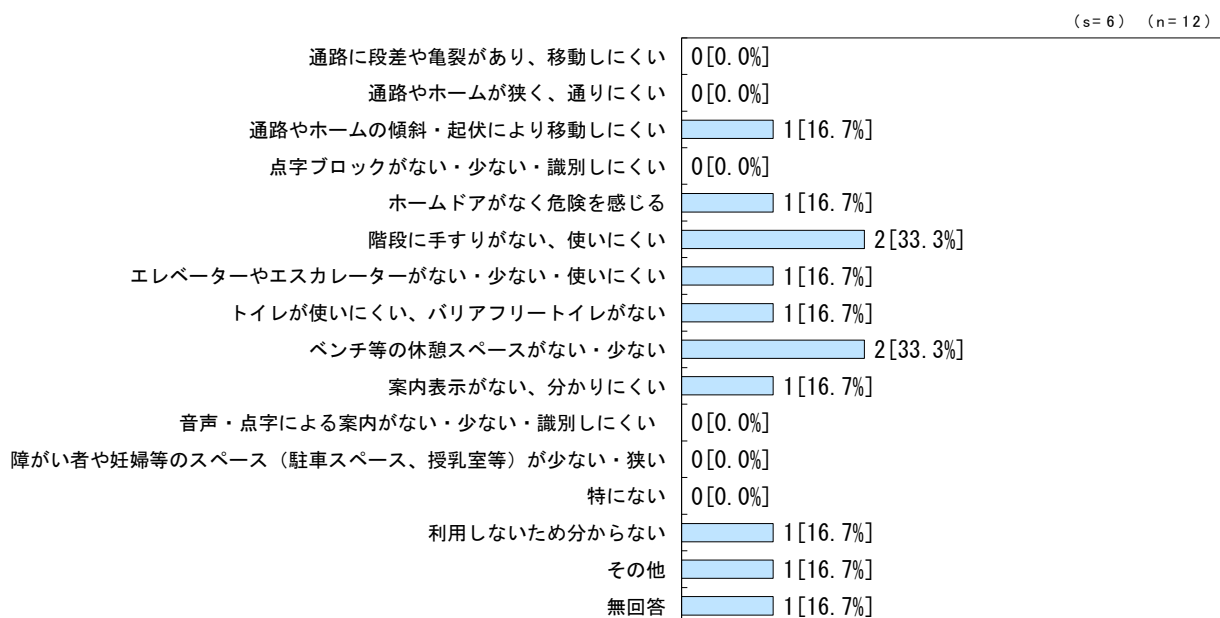
- 追分駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「階段に手すりがない、使いにくい(40.0%)」「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(40.0%)」となっている。
 (「特にない(40.0%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

③ 上飯島駅

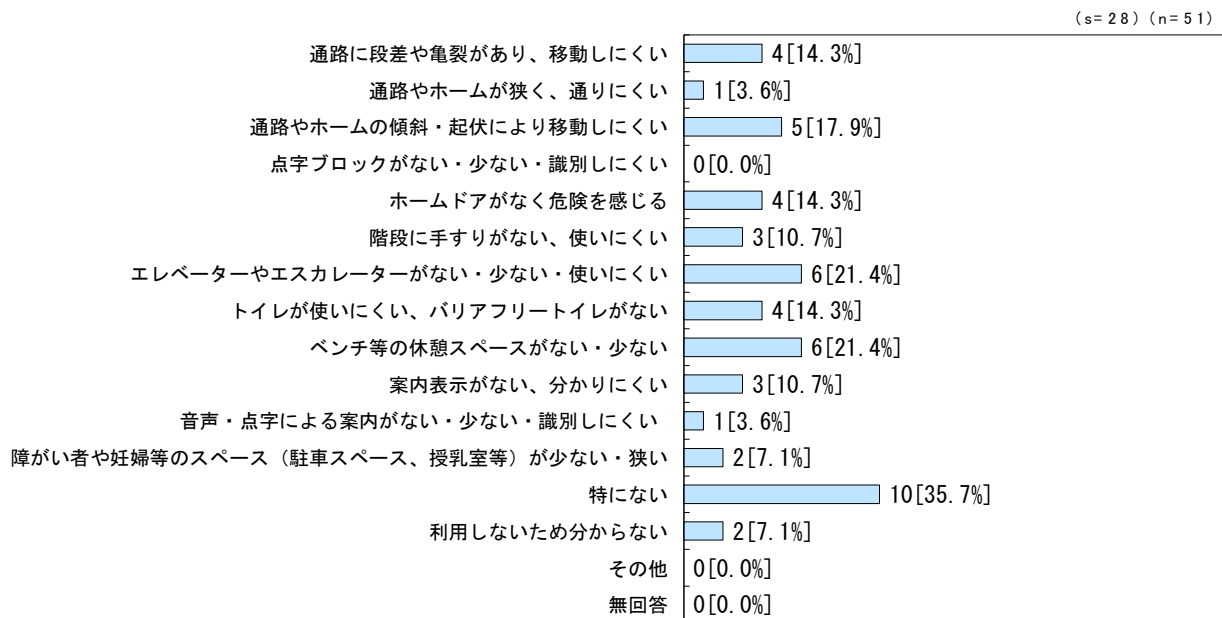
- 上飯島駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「階段に手すりがない、使いにくい(33.3%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(33.3%)」となっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

④ 土崎駅

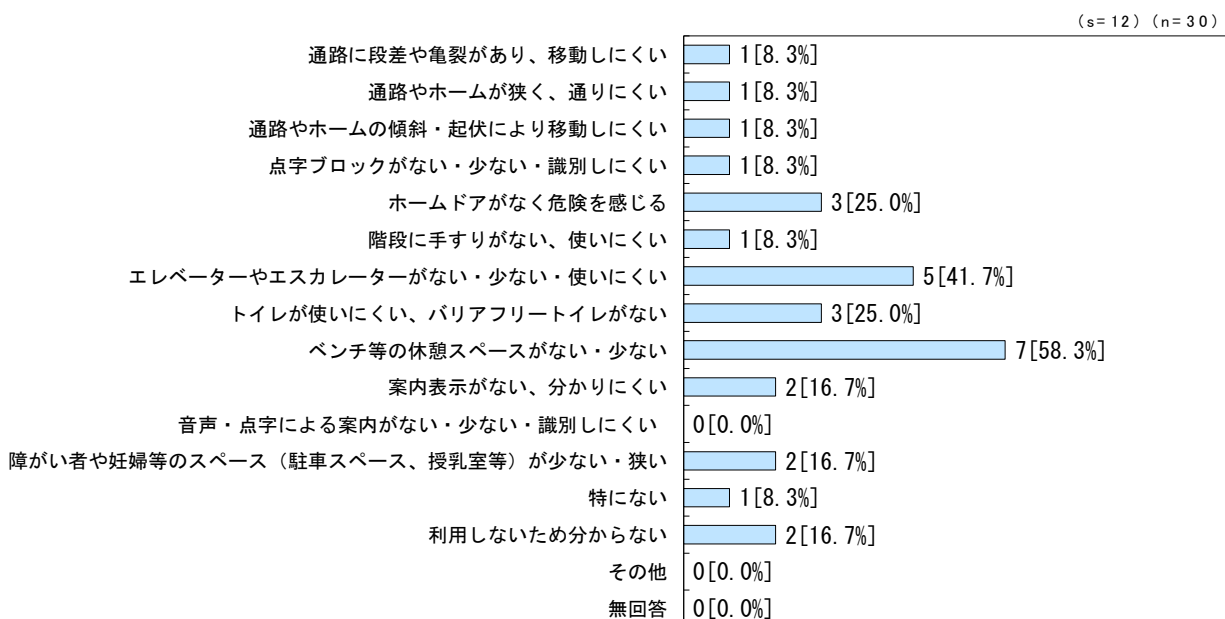
- 土崎駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(21.4%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(21.4%)」で、次いで「通路やホームの傾斜・起伏により移動しにくい(17.9%)」の順になっている。
 (「特にない(35.7%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑤ 泉外旭川駅

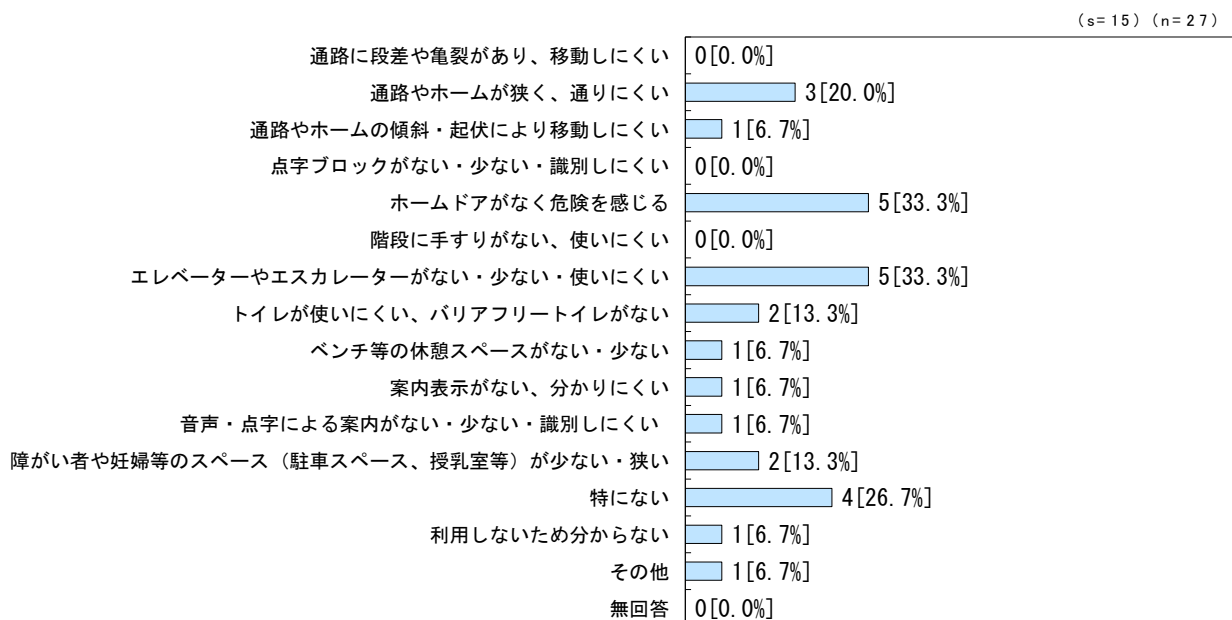
- 泉外旭川駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(58.3%)」で、次いで「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(41.7%)」の順になっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑥ 羽後牛島駅

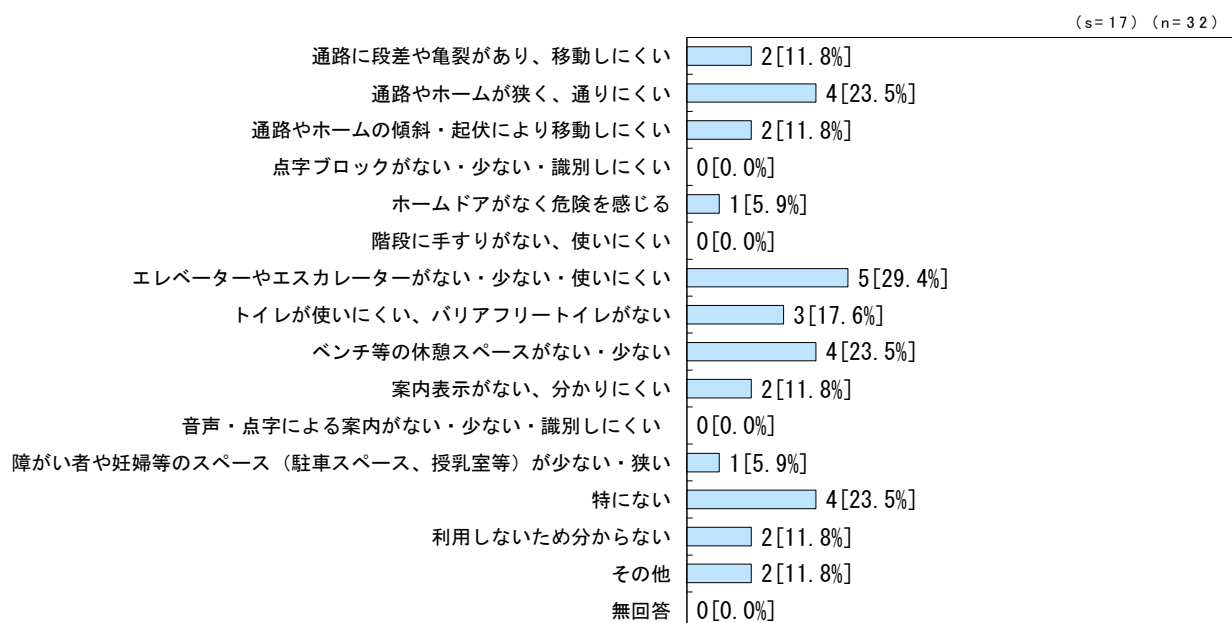
- 羽後牛島駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「ホームドアがなく危険を感じる(33.3%)」「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(33.3%)」で、次いで「通路やホームが狭く、通りにくい(20.0%)」の順になっている。
 (「特にない(26.7%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑦ 新屋駅

- 新屋駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(29.4%)」で、次いで「通路やホームが狭く、通りにくい(23.5%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(23.5%)」の順になっている。
 (「特にない(23.5%)」を除く)



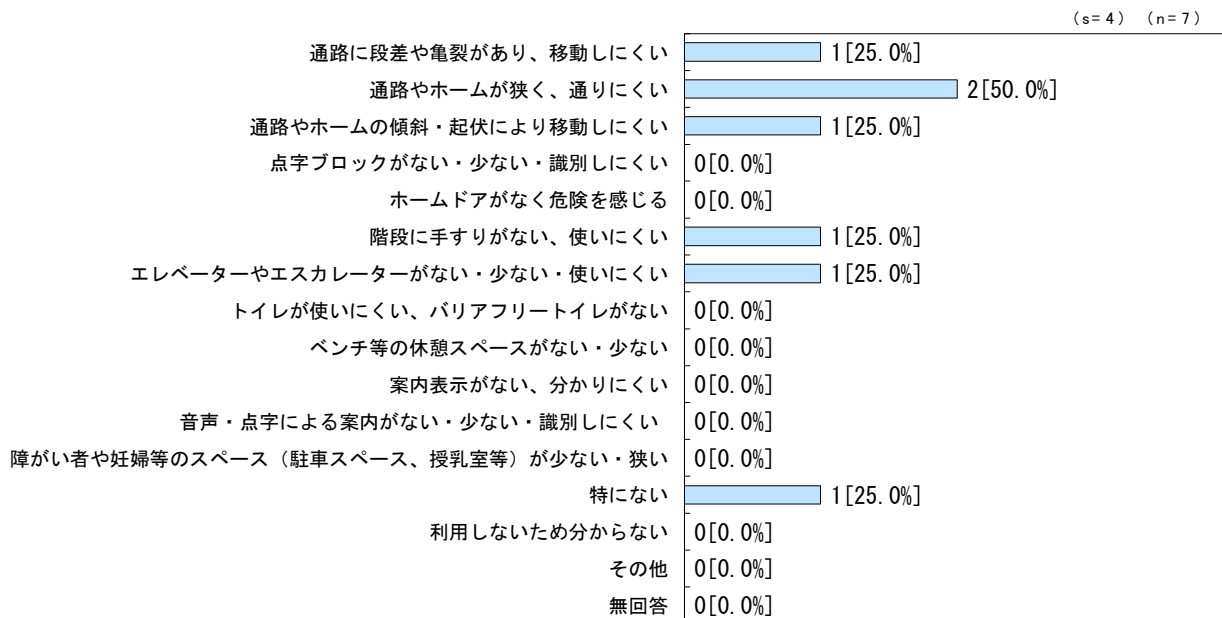
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑧ 桂根駅

➤ 桂根駅については、回答者なし。

⑨ 下浜駅

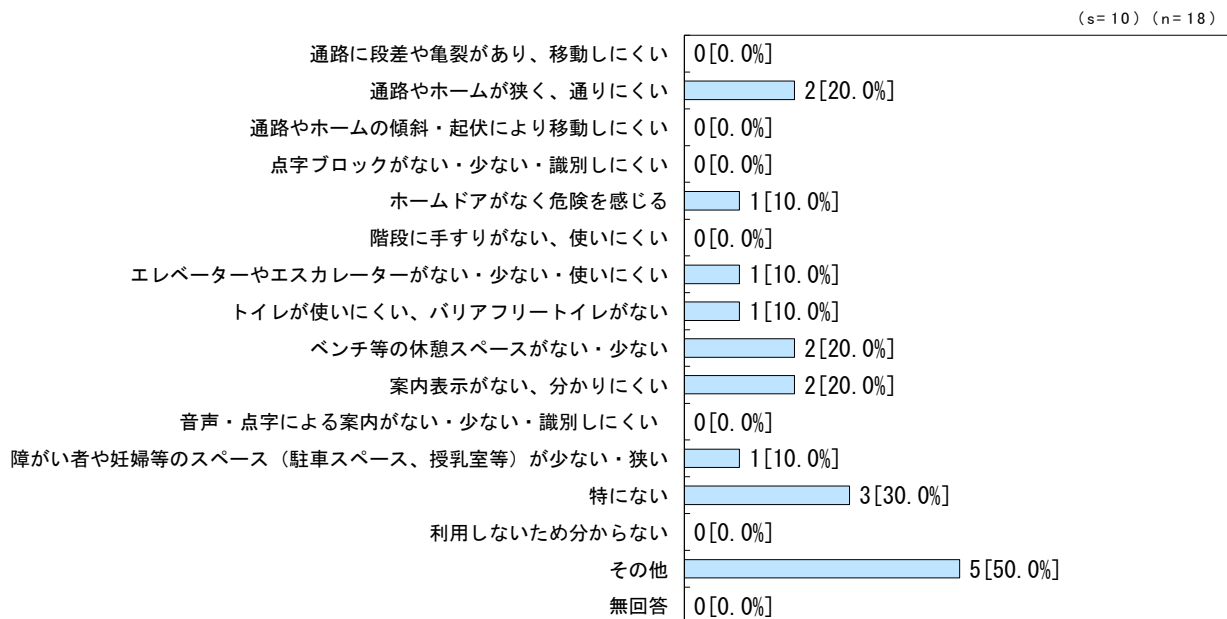
➤ 下浜駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「通路やホームが狭く、通りにくい(50.0%)」となっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑩ 四ツ小屋駅

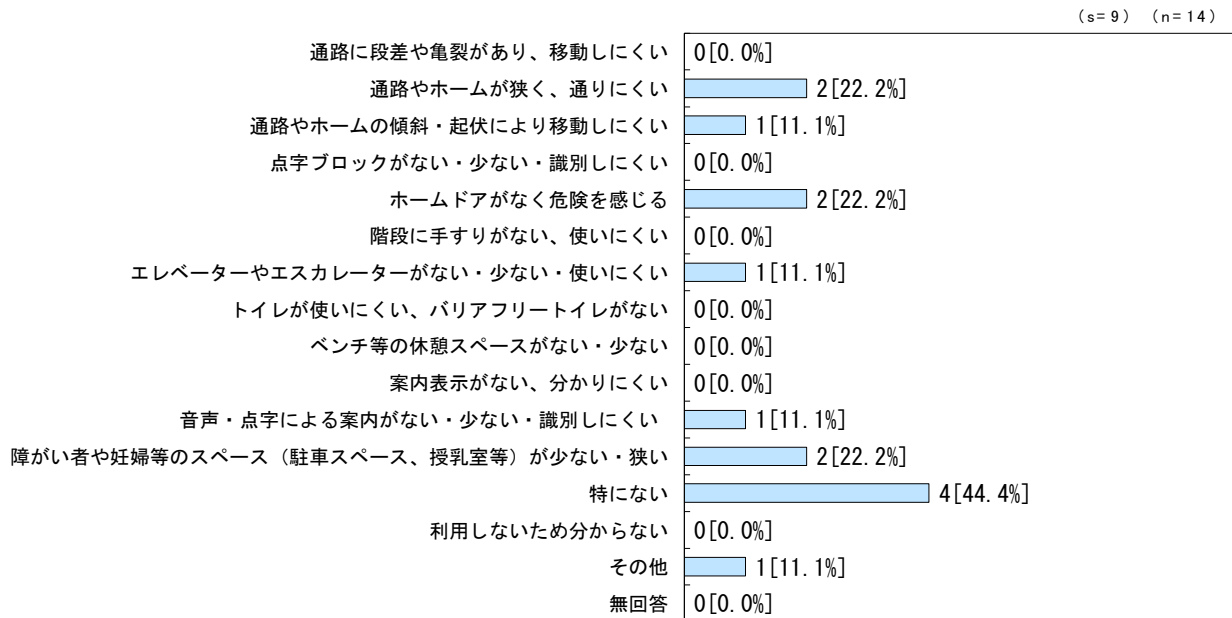
➤ 四ツ小屋駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「その他(50.0%)」となっている。
 ➤ 「その他」の内容としては、「ホームまでの階段や通路に汚れ等あり」「LED 掲示板など設備に不具合があっても修繕されない」などが挙げられている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑪ 和田駅

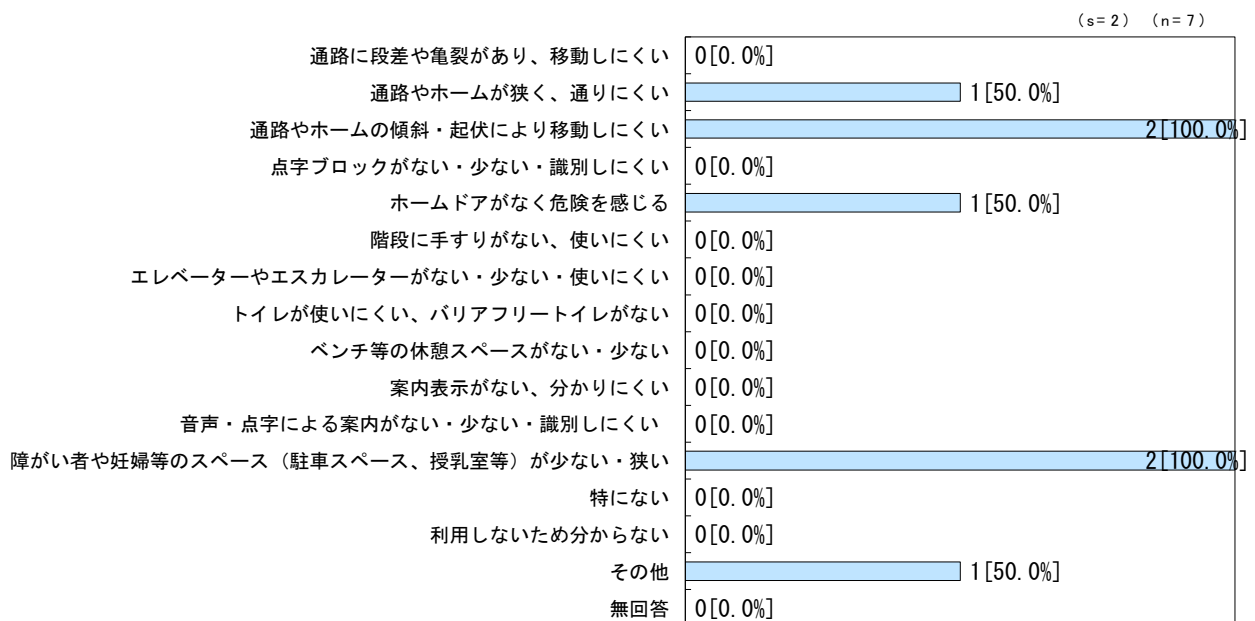
➤ 和田駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「通路やホームが狭く、通りにくい(22.2%)」「ホームドアがなく危険を感じる(22.2%)」「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(22.2%)」となっている。
 («特にない(44.4%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑫ 大張野駅

➤ 大張野駅の困りごとで、最も割合が高いのは、「通路やホームの傾斜・起伏により移動しにくい(100.0%)」「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(100.0%)」となっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

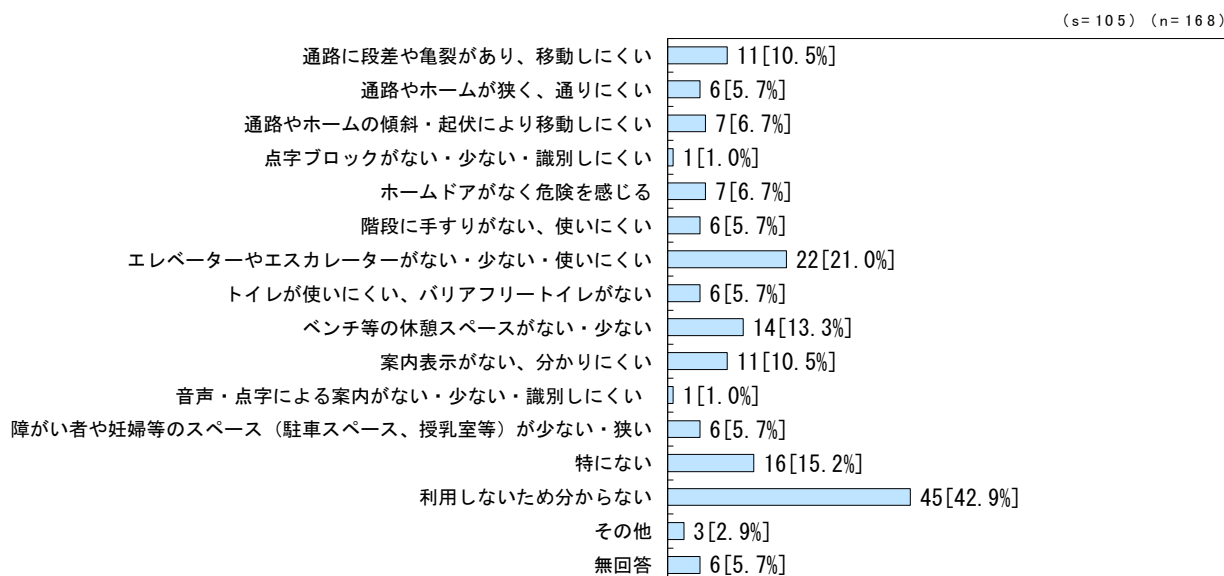
(7) 身体の状態別の各施設の困りごと

身体の状態別の「鉄道駅」「バス停留所・バスターミナル」「道路」「公園」「商業施設や公共施設等」についての困りごとを確認するため、問4（調査対象者の状態）と問8～問12（各施設についての困りごと）についてクロス集計を行った。

① 身体の状態：ケガ・病気などがある

◇ 「鉄道駅」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい（21.0%）」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない（13.3%）」の順になっている。
 （「利用しないため分からない（42.9%）」と「特にない（15.2%）」を除く）

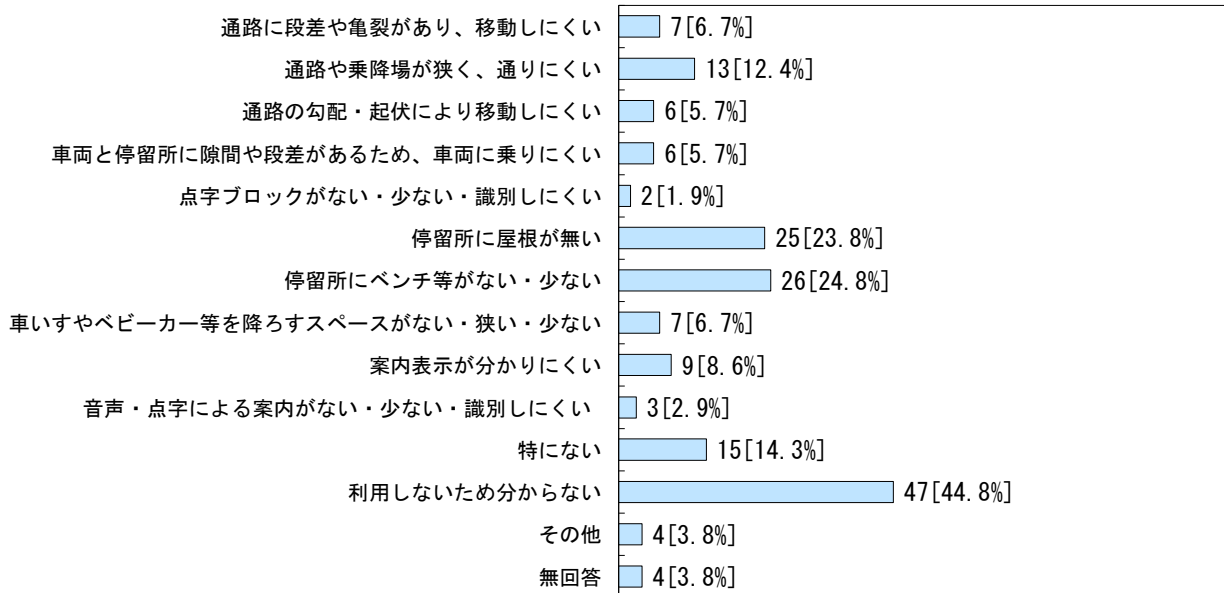


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「停留所にベンチ等がない(24.8%)」で、次いで「停留所に屋根がない(23.8%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(44.8%)」を除く)

(s=105) (n=174)

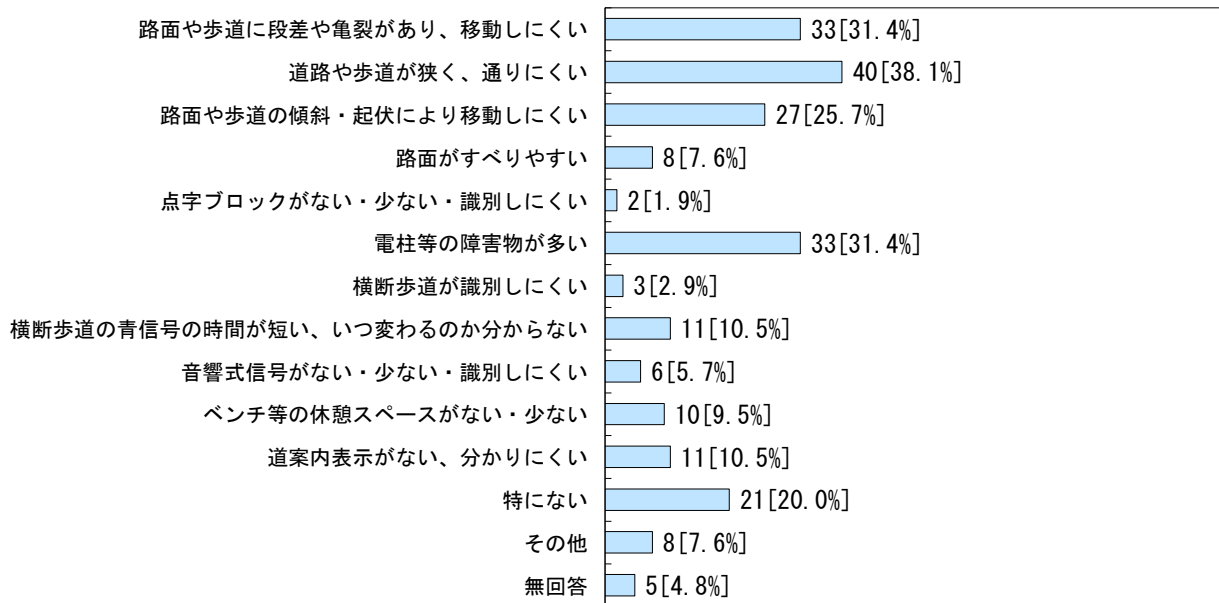


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「道路」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(38.1%)」で、次いで「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(31.4%)」「電柱等の障害物が多い(31.4%)」の順になっている。

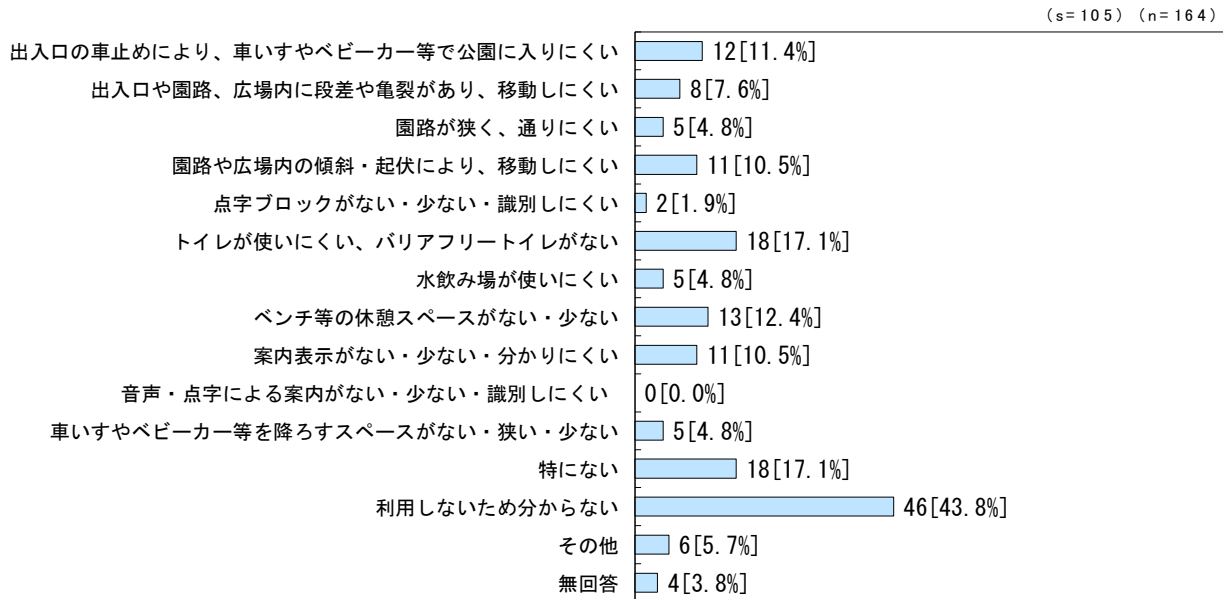
(s=105) (n=218)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「公園」の困りごと

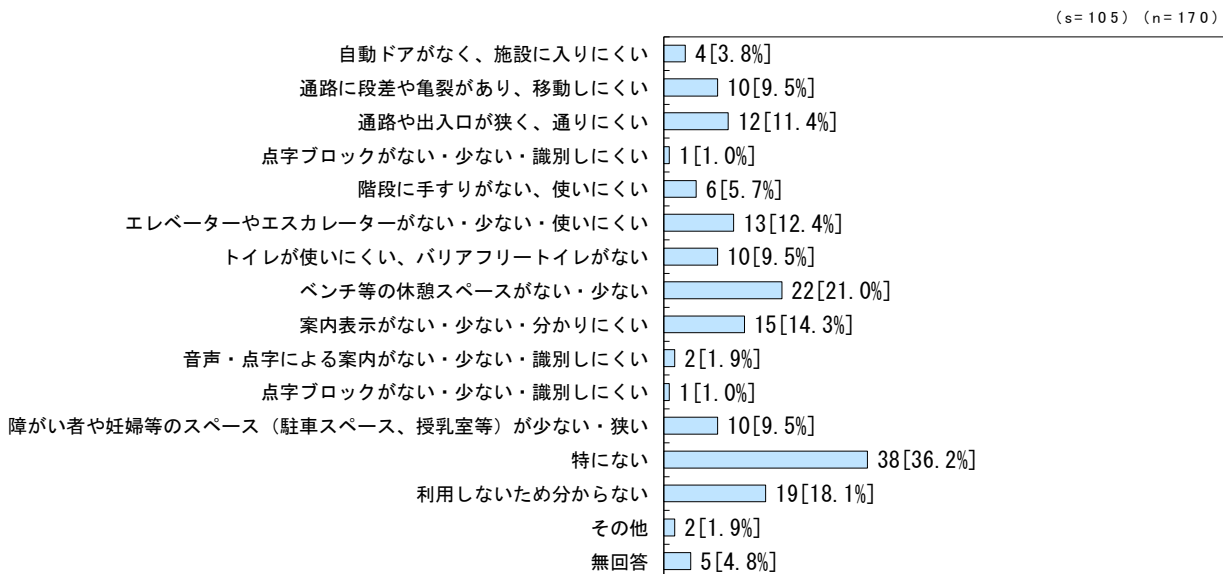
➤ 最も割合が高いのは、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(17.1%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(12.4%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(43.8%)」と「特にない(17.1%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(21.0%)」で、次いで「案内表示がない・少ない・分かりにくい(14.3%)」の順になっている。
 (「特にない(36.2%)」と「利用しないため分からない(18.1%)」を除く)

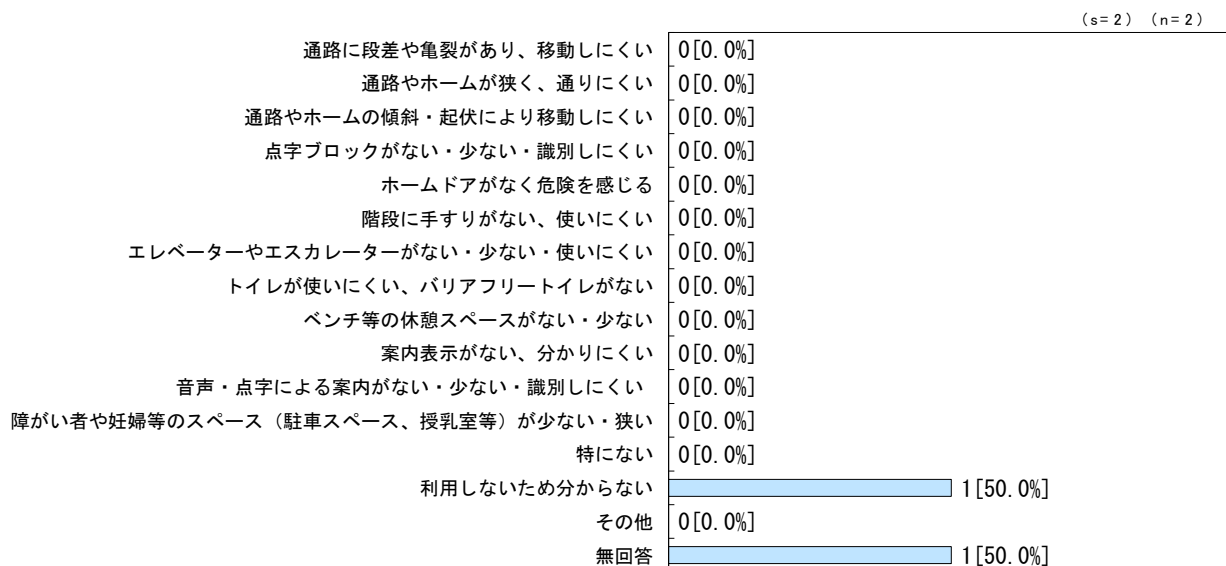


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

② 身体の状態：妊娠している

◇ 「鉄道駅」の困りごと

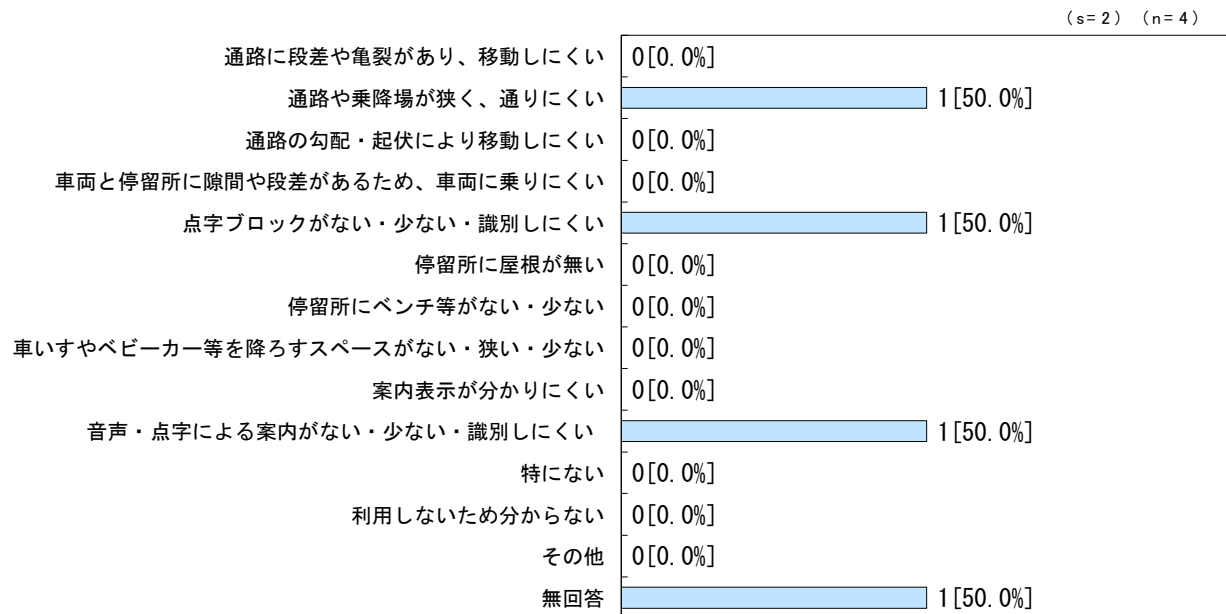
➤ 「利用しないため分からない(50.0%)」と「無回答(50.0%)」のみの回答である。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

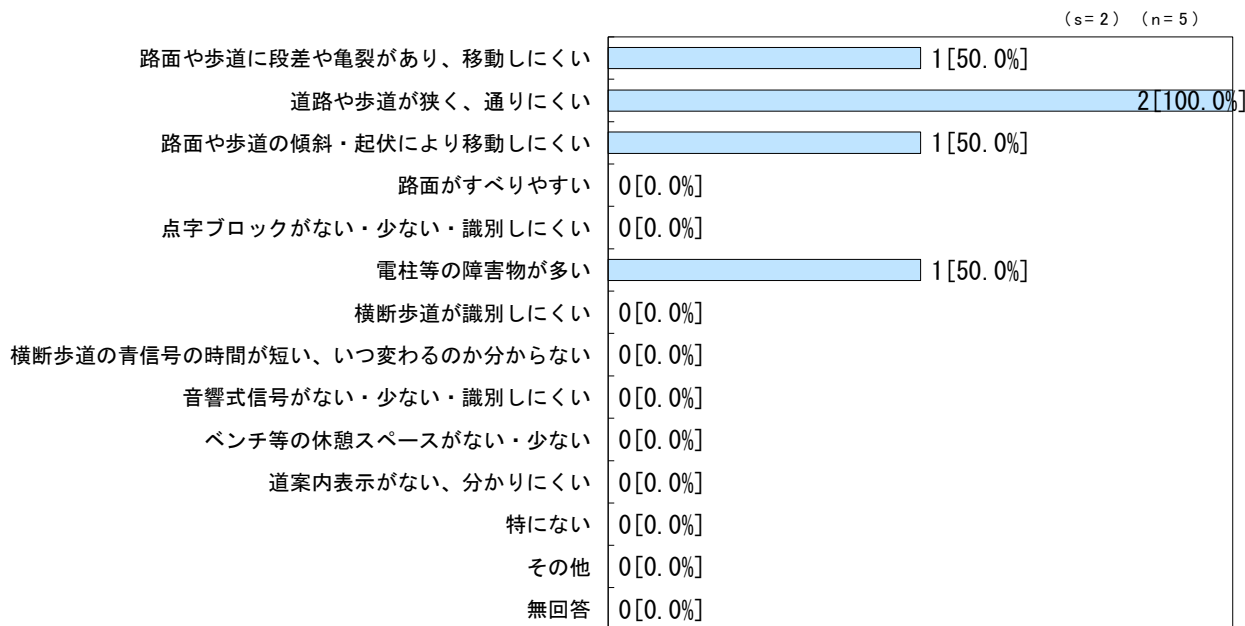
➤ 「通路や乗降場が狭く、通りにくい(50.0%)」「点字ブロックがない・少ない・識別しにくい(50.0%)」「音声・点字による案内がない・少ない・識別しにくい(50.0%)」の回答があった。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇「道路」の困りごと

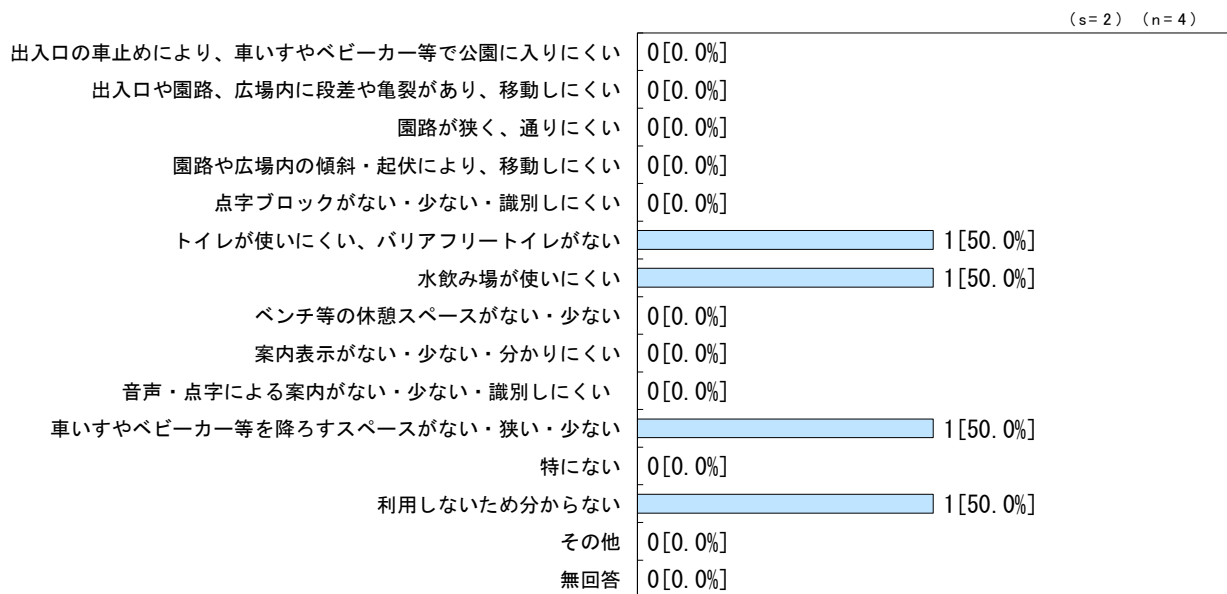
➤ 最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(100.0%)」である。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇「公園」の困りごと

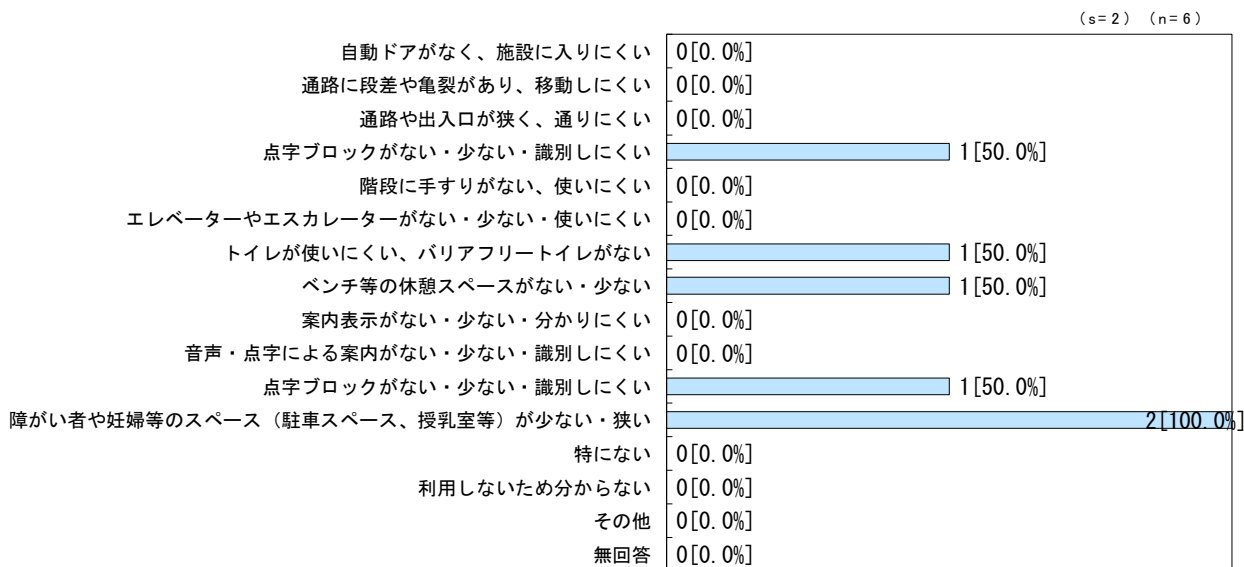
➤ 「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(50.0%)」「水飲み場が使いにくい(50.0%)」「車いすやベビーカー等を降ろすスペースがない・狭い・少ない(50.0%)」の回答があった。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「障がい者や妊婦等のスペース（駐車スペース、授乳室等）が少ない・狭い（100.0%）」である。

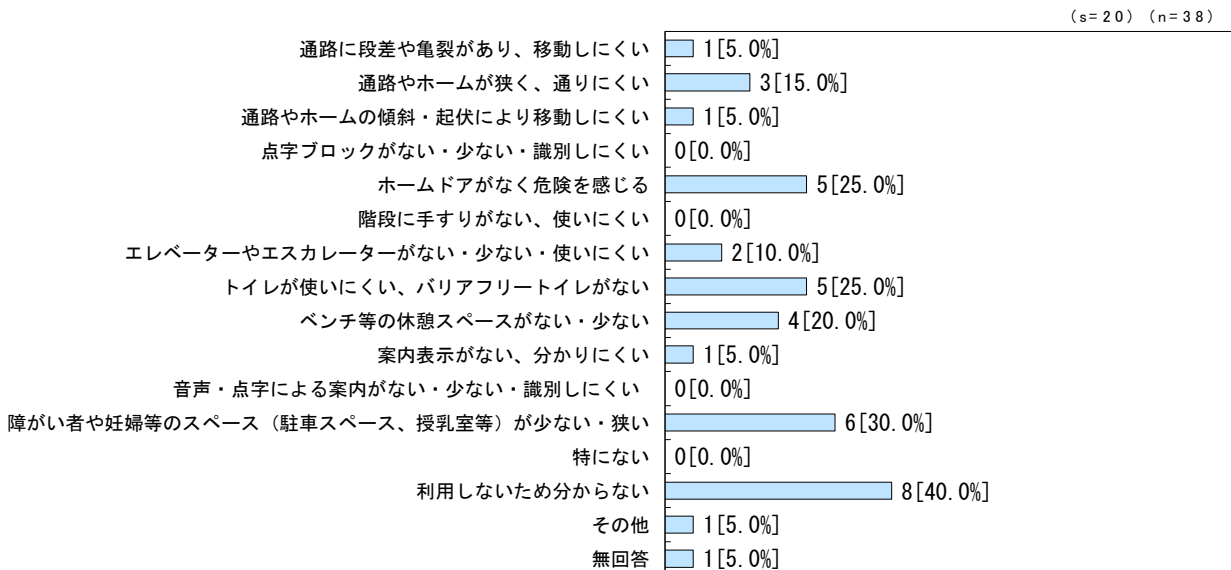


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

③ 身体の状態：乳幼児を連れている

◇「鉄道駅」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「障がい者や妊婦等のスペース（駐車スペース、授乳室等）が少ない・狭い（30.0%）」で、次いで「ホームドアがなく危険を感じる（25.0%）」「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない（25.0%）」の順になっている。（「利用しないため分からない（40.0%）」を除く）

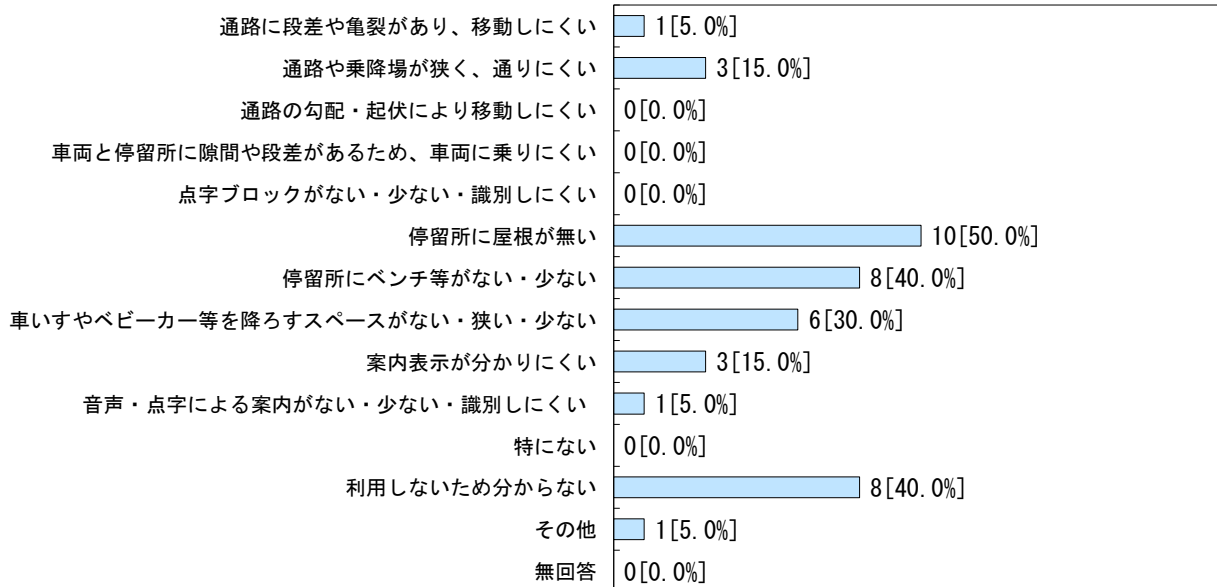


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(50.0%)」で、次いで「停留所にベンチ等がない・少ない(40.0%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(40.0%)」を除く)

(s=20) (n=41)

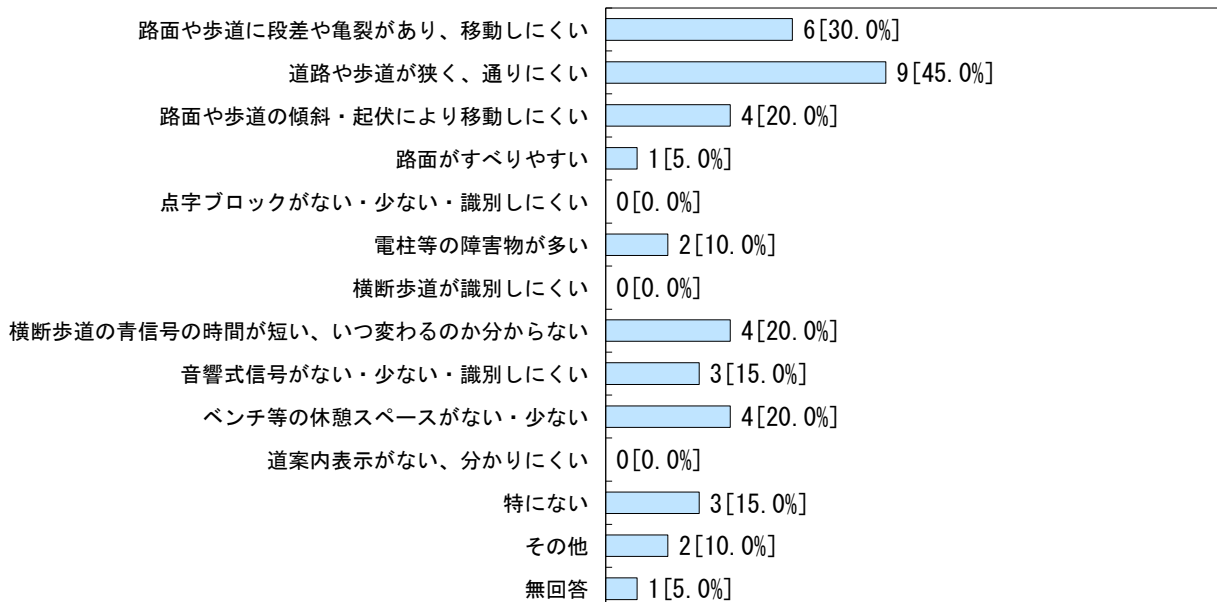


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「道路」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(45.0%)」で、次いで「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(30.0%)」の順になっている。

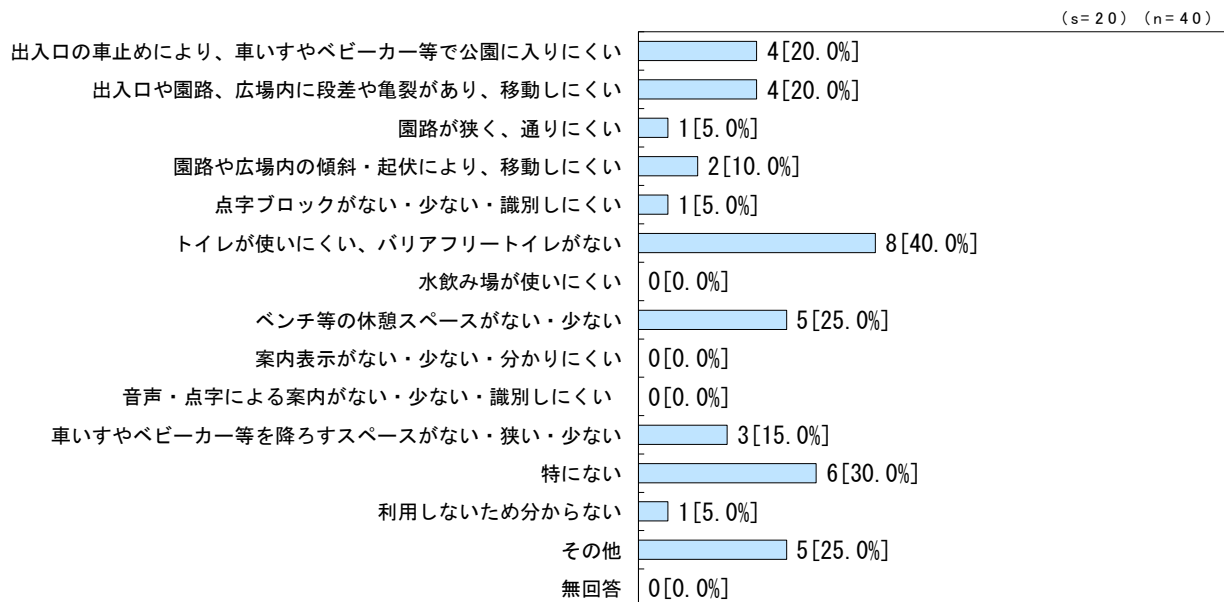
(s=20) (n=39)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇「公園」の困りごと

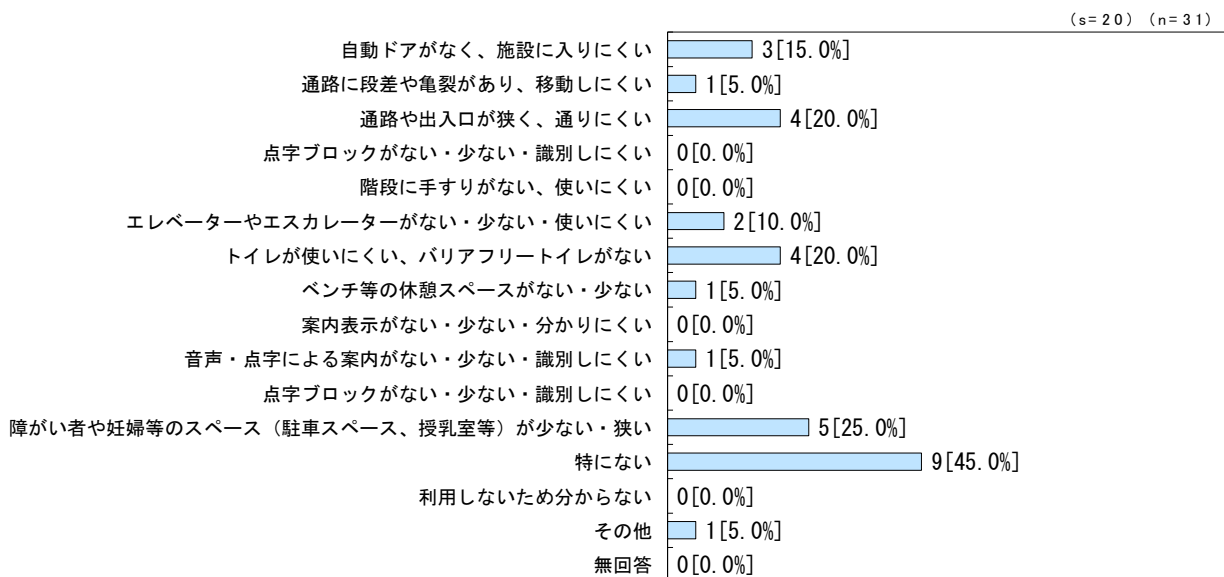
➤ 最も割合が高いのは、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(40.0%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(25.0%)」「その他(25.0%)」の順になっている。
 (「特にない(30.0%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(25.0%)」で、次いで「通路や出入口が狭く、通りにくい(20.0%)」「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(20.0%)」の順になっている。
 (「特にない(45.0%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

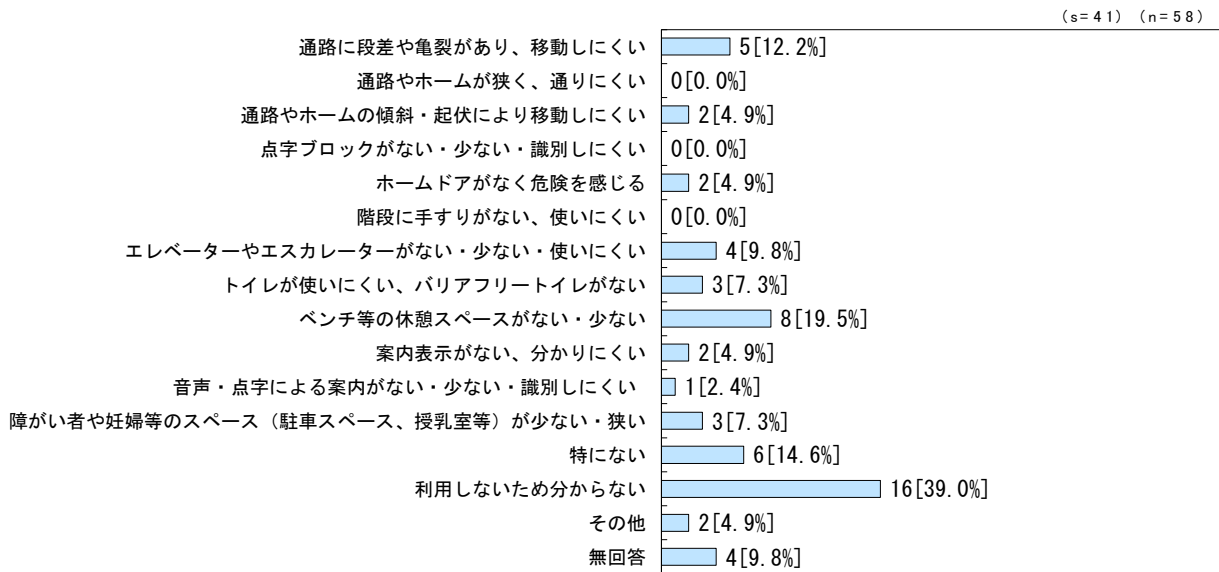
④ 身体の状態：外国人である

➤ 回答者なし。

⑤ 身体の状態：加齢による身体等の不具合を感じる

◇ 「鉄道駅」の困りごと

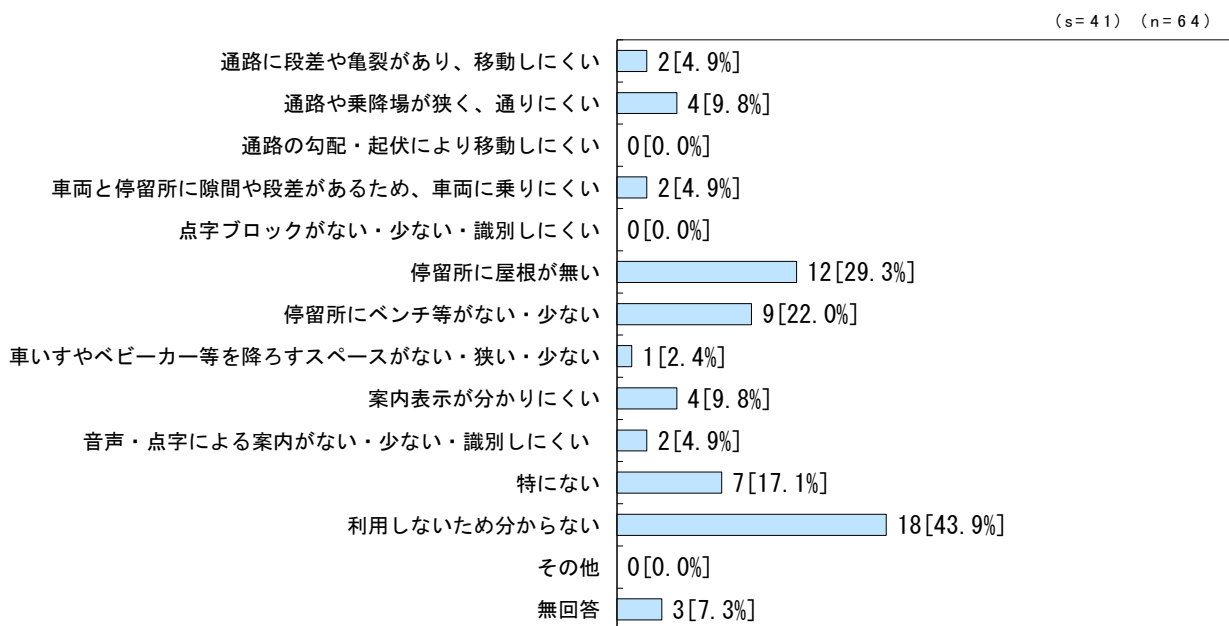
➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(19.5%)」で、次いで「通路に段差や亀裂があり、移動しにくい(12.2%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(39.0%)」と「特にない(14.6%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

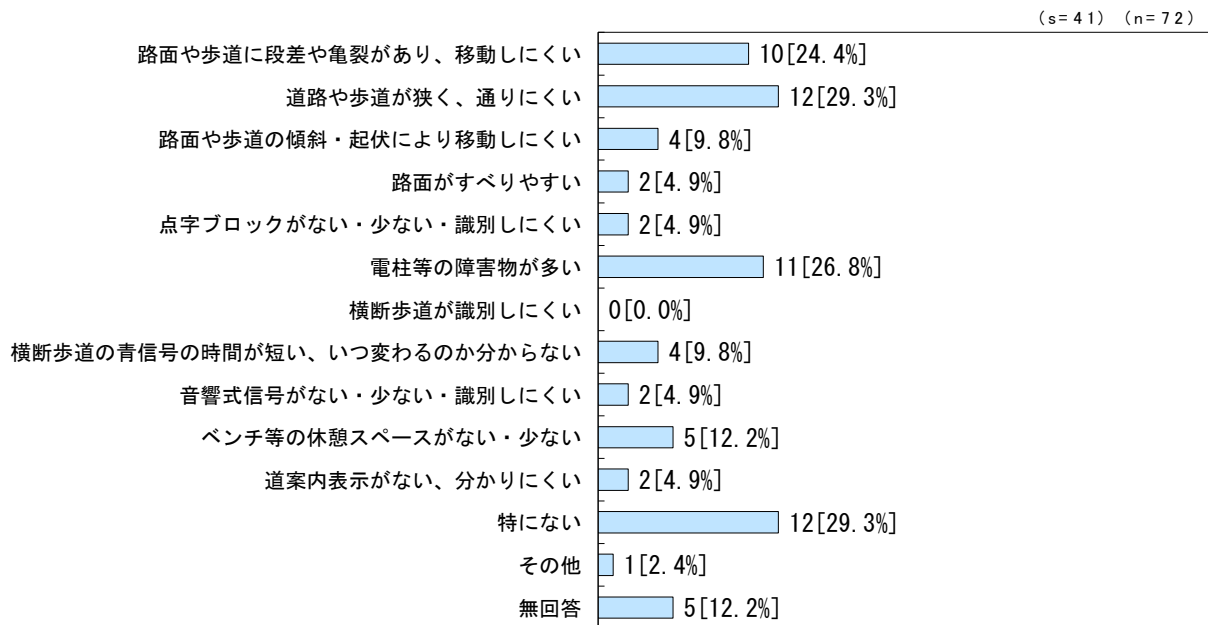
➤ 最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(29.3%)」で、次いで「停留所にベンチ等がない・少ない(22.0%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(43.9%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「道路」の困りごと

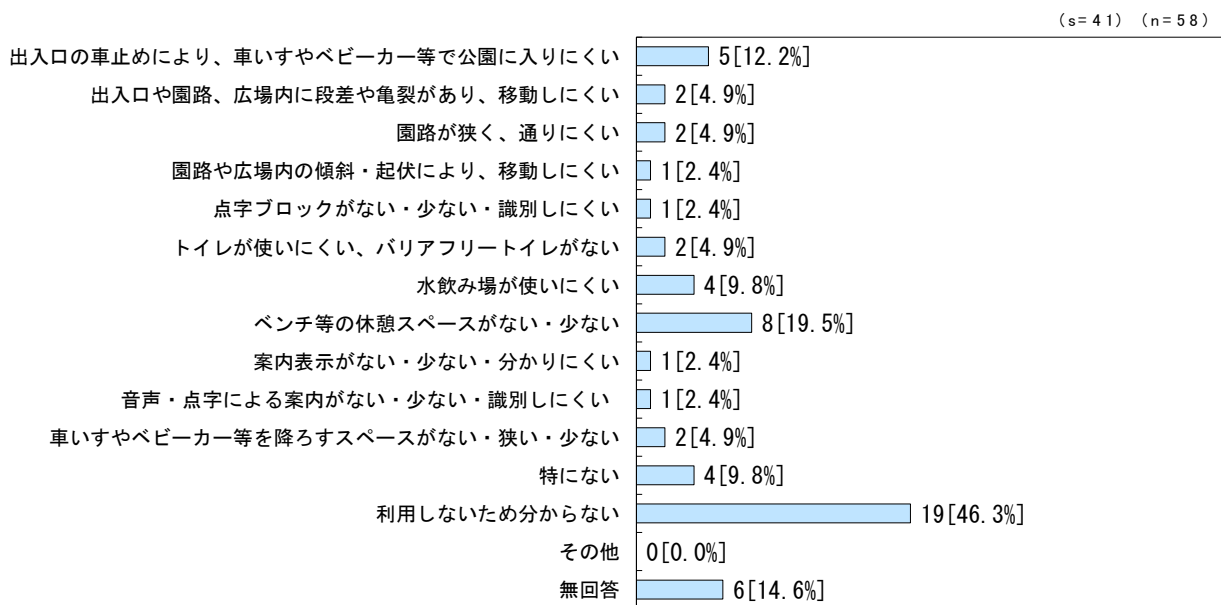
➤ 最も割合が高いのは、「道路や歩道が狭く、通りにくい(29.3%)」で、次いで「電柱等の障害物が多い(26.8%)」の順になっている。
 (「特にない(29.3%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「公園」の困りごと

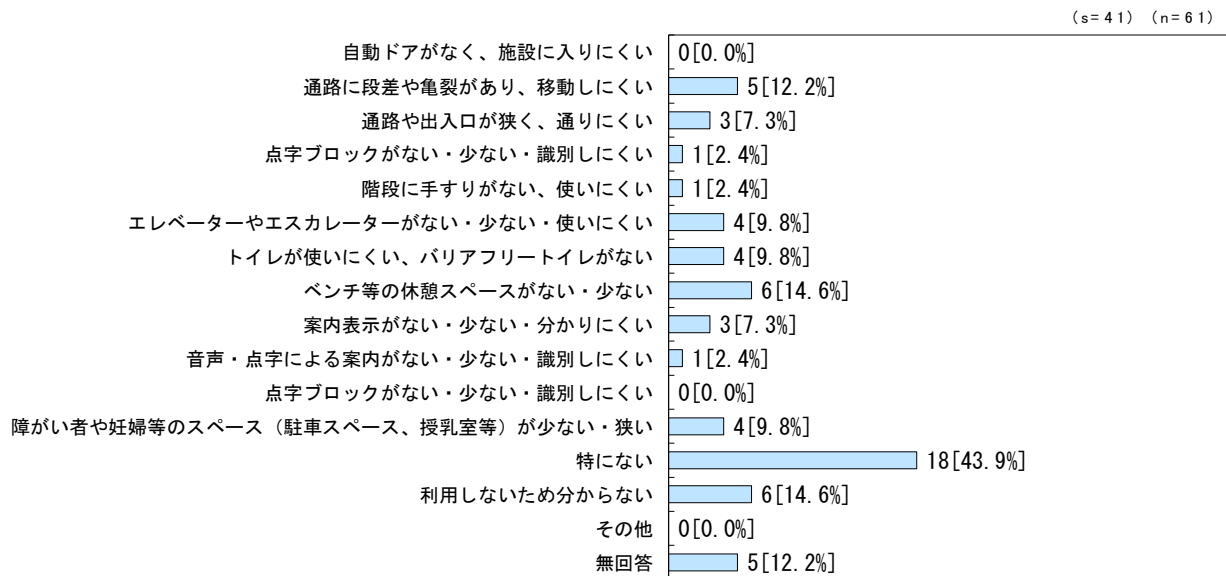
➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(19.5%)」で、次いで「出入口の車止めにより、車いすやベビーカー等で公園に入りにくい(12.2%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(46.3%)」と「無回答(12.2%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(14.6%)」で、次いで「通路に段差や亀裂があり、移動しにくい(12.2%)」の順になっている。
 (「特にない(43.9%)」「利用しないため分からない(14.6%)」「無回答(12.2%)」を除く)

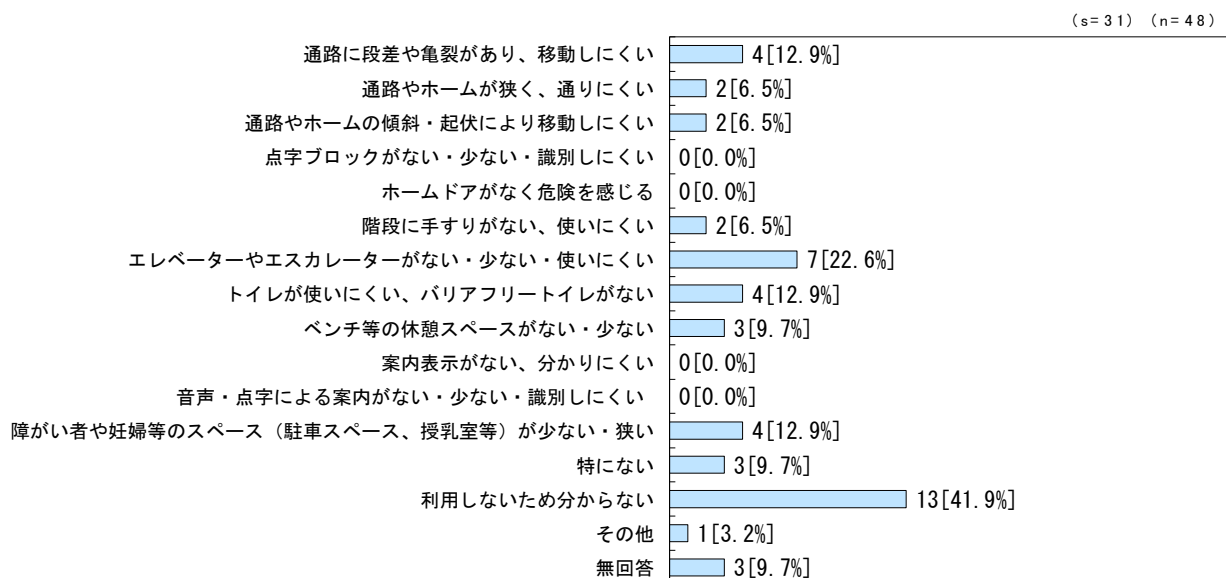


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑥ 身体の状態：障害者手帳を保有している

◇ 「鉄道駅」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい(22.6%)」で、次いで「通路に段差や亀裂があり、移動しにくい(12.9%)」「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(12.9%)」「障がい者や妊婦等のスペース（駐車スペース、授乳室等）が少ない・狭い(12.9%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(41.9%)」を除く)

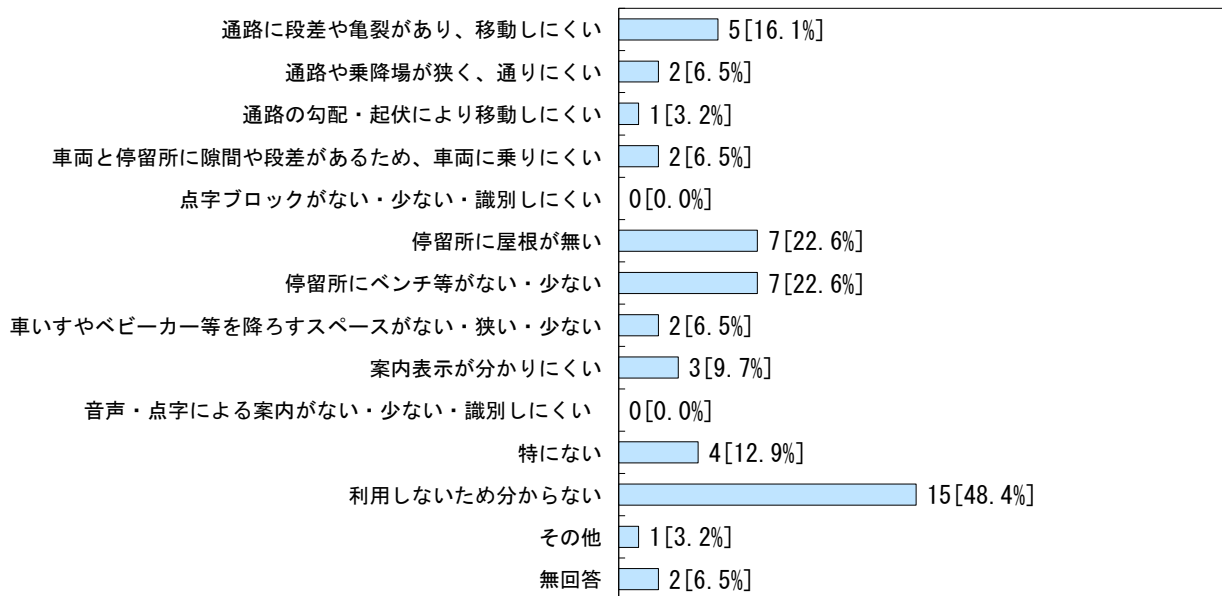


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(22.6%)」「停留所にベンチ等がない・少ない(22.6%)」で、次いで「通路に段差や亀裂があり、移動しにくい(16.1%)」の順になっている。
 («利用しないため分からない(48.4%)」を除く)

(s=31) (n=51)

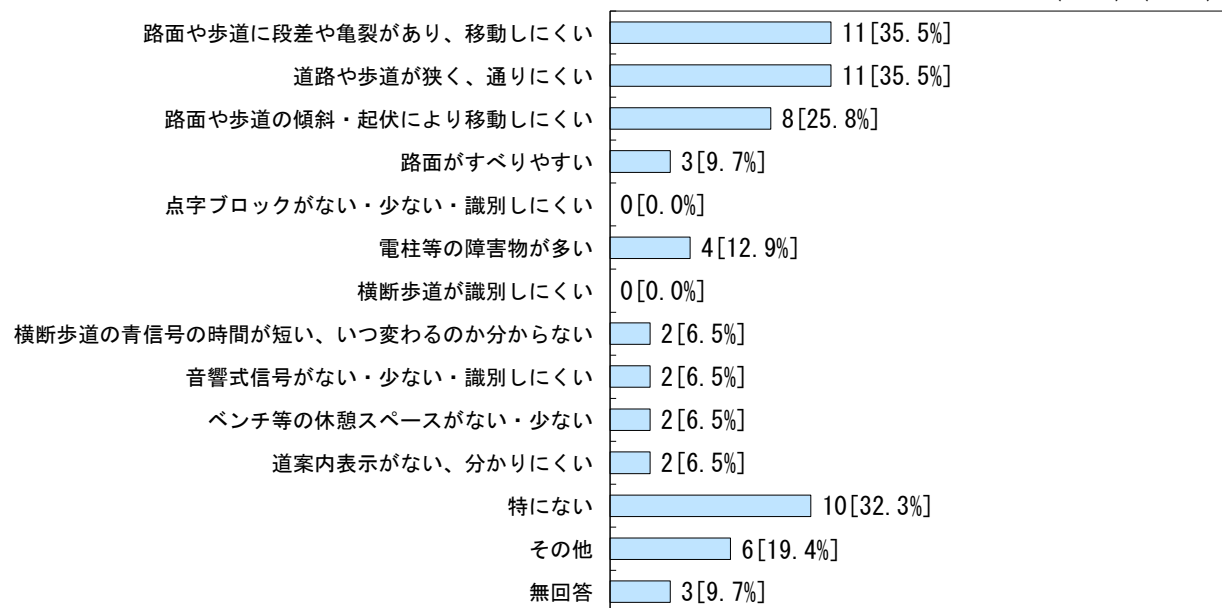


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「道路」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(35.5%)」「道路や歩道が狭く、通りにくい(35.5%)」で、次いで「路面や歩道の傾斜・起伏により移動しにくい(25.8%)」の順になっている。
 («特にない(32.3%)」を除く)

(s=31) (n=64)

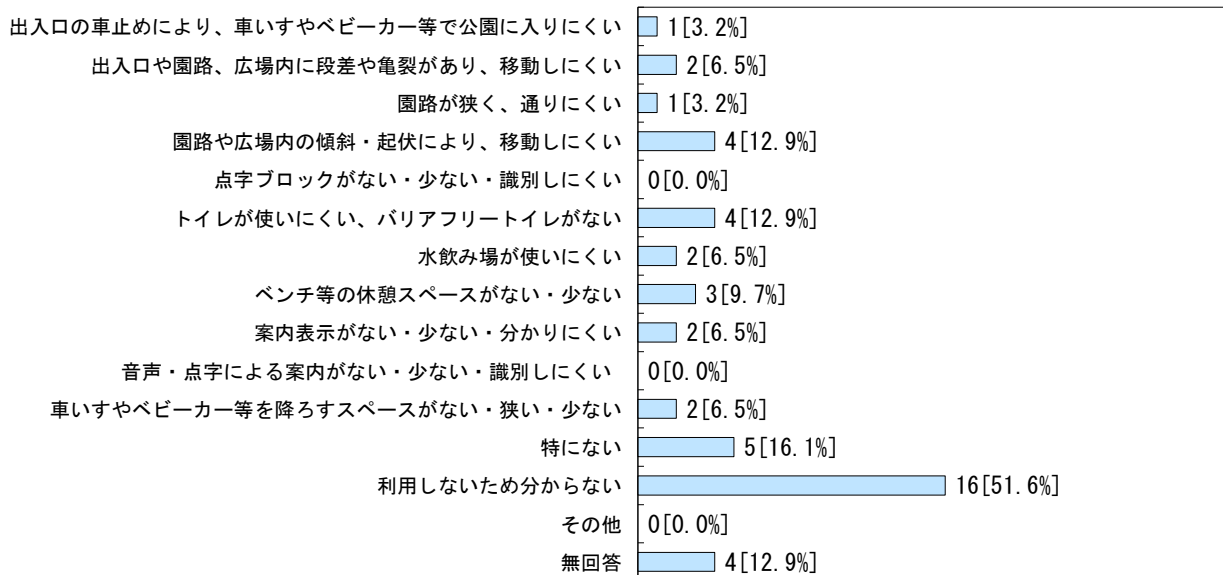


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「公園」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「遠路や広場内の傾斜・起伏により移動しにくい(12.9%)」「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(12.9%)」で、次いで「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(9.7%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(51.6%)」「特にない(16.1%)」「無回答(12.9%)」を除く)

(s=31) (n=46)

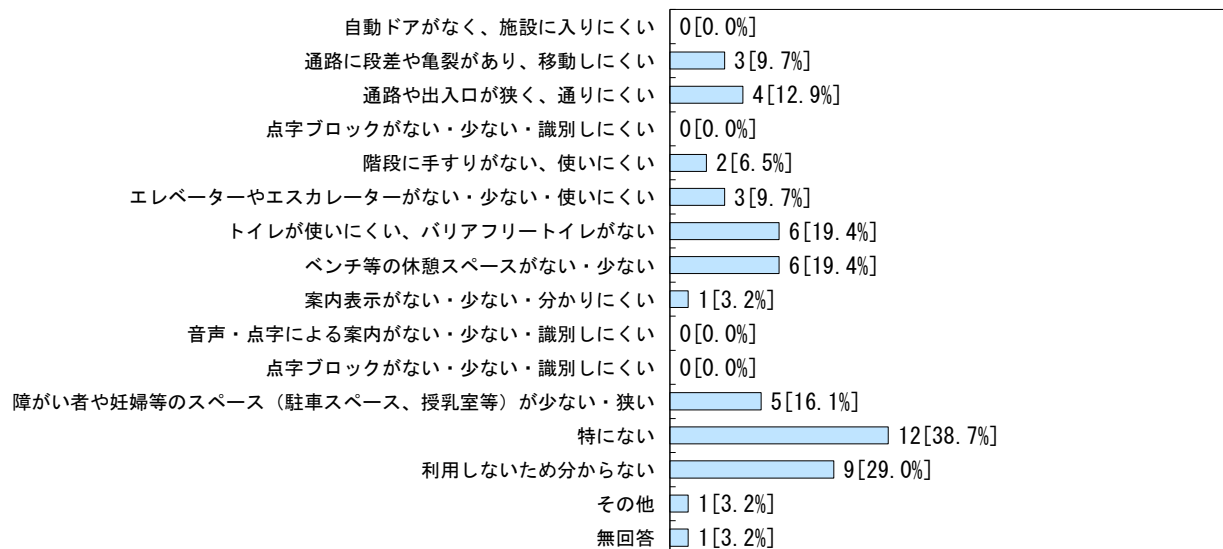


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(19.4%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(19.4%)」で、次いで「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(16.1%)」の順になっている。
 (「特にない(38.7%)」と「利用しないため分からない(29.0%)」を除く)

(s=31) (n=53)



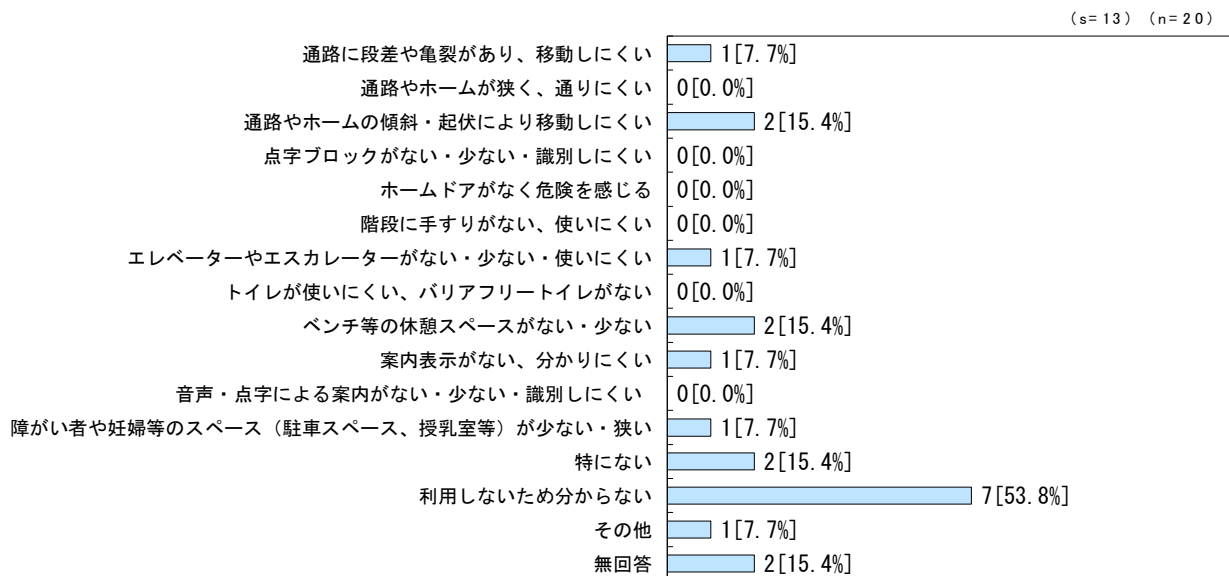
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

⑦ 身体の状態：その他

「その他」の身体の状態で、具体的内容の記載はみられなかった。

◇ 「鉄道駅」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「通路やホームの傾斜・起伏により移動しにくい(15.4%)」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(15.4%)」である。
 (「利用しないため分からない(53.8%)」「特にない(15.4%)」「無回答(15.4%)」を除く)

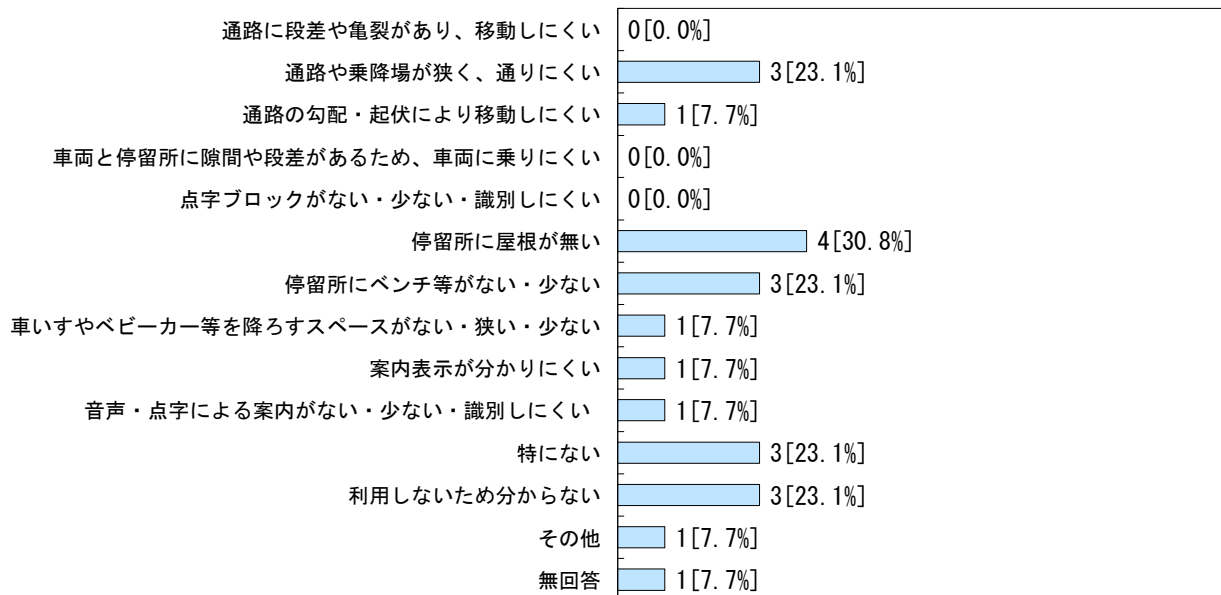


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「バス停留所・バスターミナル」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「停留所に屋根が無い(30.8%)」で、次いで「通路や乗降場が狭く、通りにくい(23.1%)」「停留所にベンチ等がない・少ない(23.1%)」の順になっている。
 (「特にない(23.1%)」と「利用しないため分からない(23.1%)」を除く)

(s=13) (n=22)

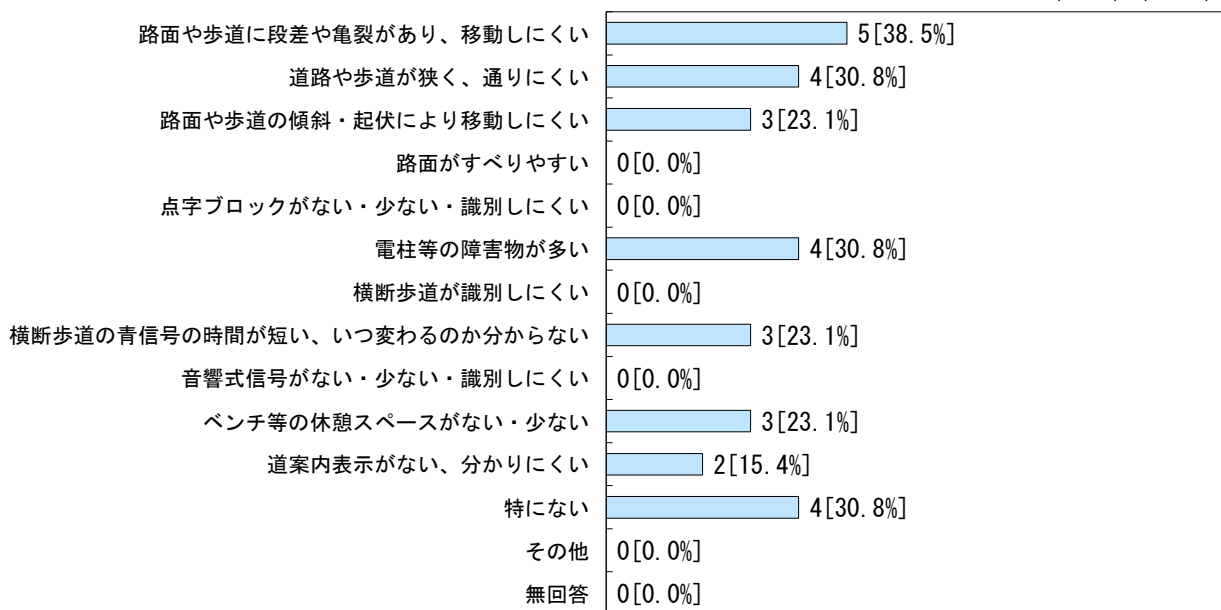


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「道路」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい(38.5%)」で、次いで「道路や歩道が狭く、通りにくい(30.8%)」「電柱等の障害物が多い(30.8%)」の順になっている。
 (「特にない(30.8%)」を除く)

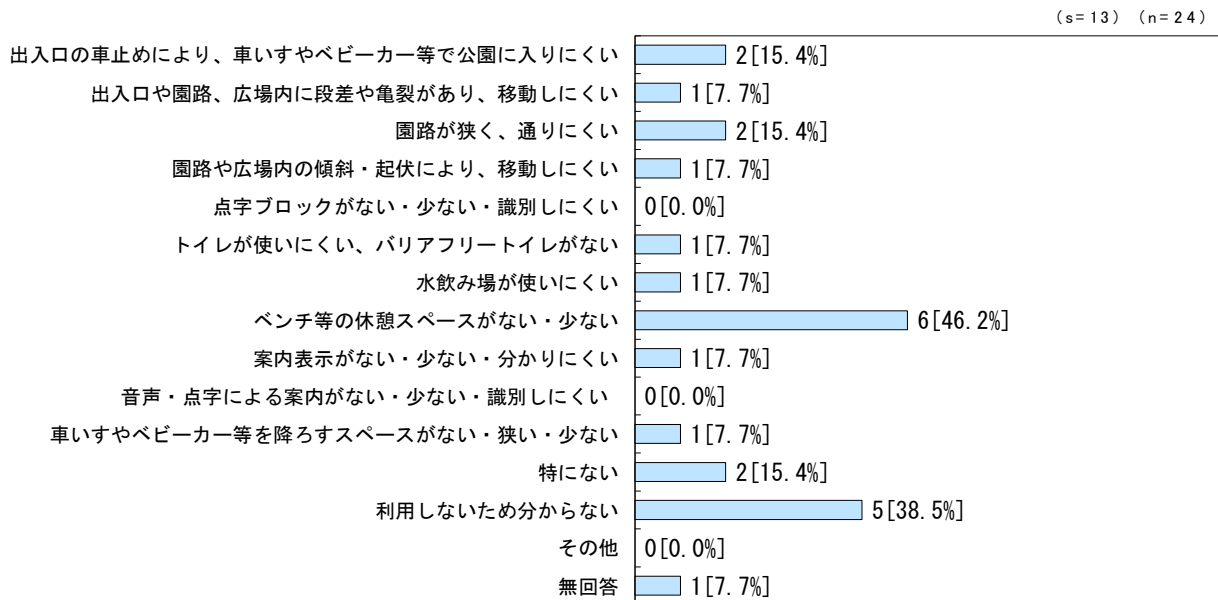
(s=13) (n=28)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「公園」の困りごと

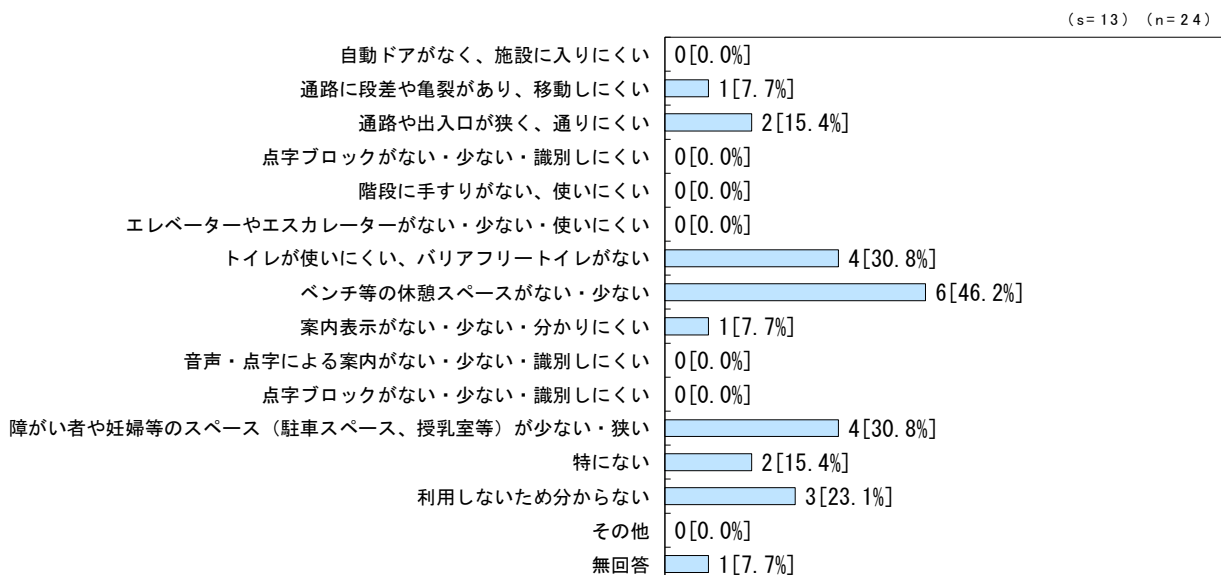
➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(46.2%)」で、次いで「出入口の車止めにより、車いすやベビーカー等で公園に入りにくい(15.4%)」「園路が狭く、通りにくい(15.4%)」の順になっている。
 (「利用しないため分からない(38.5%)」と「特にない(15.4%)」を除く)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

◇ 「商業施設や公共施設等」の困りごと

➤ 最も割合が高いのは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない(46.2%)」で、次いで「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない(30.8%)」「障がい者や妊婦等のスペース(駐車スペース、授乳室等)が少ない・狭い(30.8%)」の順になっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

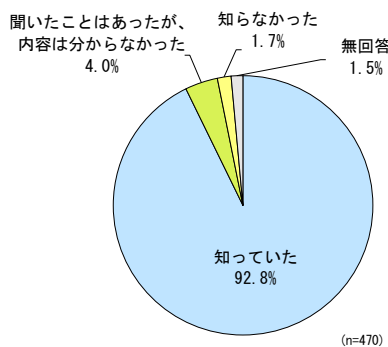
3-4 バリアフリー等の理解度について

(1) 「バリアフリー」の理解度

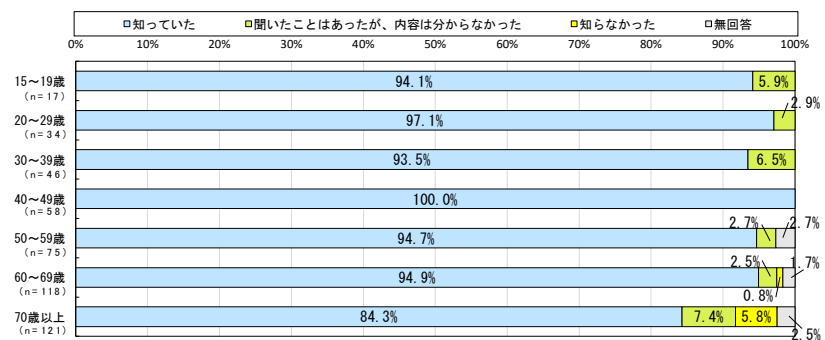
- 全体では、「バリアフリー」の言葉の意味について、「知っていた(92.8%)」と回答した人の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあったが、内容は知らなかった(4.0%)」「知らなかった(1.7%)」の順となっている。
- 年代別では、全世代で「知っていた」と回答した人の割合が高くなっているが、「70歳以上(84.3%)」は、他の年代と比べてその割合が低くなっている。

問 13-1:「バリアフリー」の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします(1つだけ選択)

【全体集計 n=470】



【年代別集計 n=469】

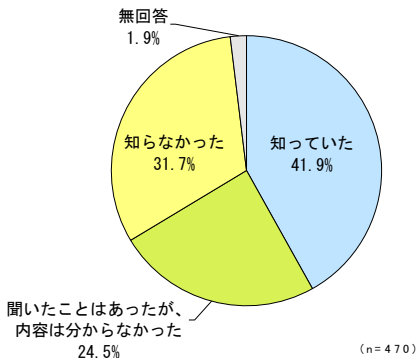


(2) 「ユニバーサルデザイン」の理解度

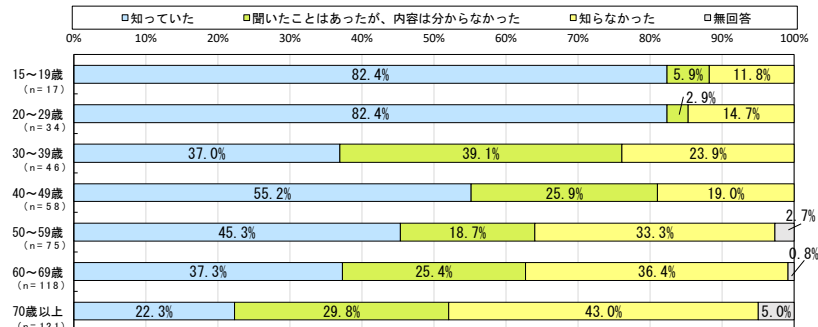
- 全体では、「ユニバーサルデザイン」の言葉の意味について、「知っていた(41.9%)」と回答した人の割合が最も高く、次いで「知らなかった(31.7%)」「聞いたことはあったが、内容は知らなかった(24.5%)」の順となっている。
- 年代別では、50代以降の世代で「知らない」と回答した人の割合が高くなっている。20代以下については、「知っていた」と回答した人の割合が8割を占めている。

問 13-2:「ユニバーサルデザイン」の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします(1つだけ選択)

【全体集計 n=470】



【年代別集計 n=469】

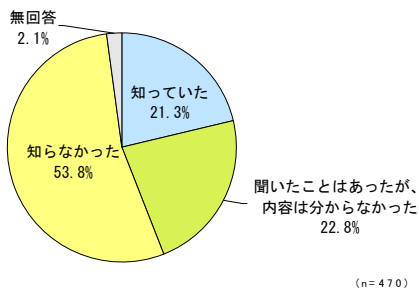


(3) 「ノーマライゼーション」の理解度

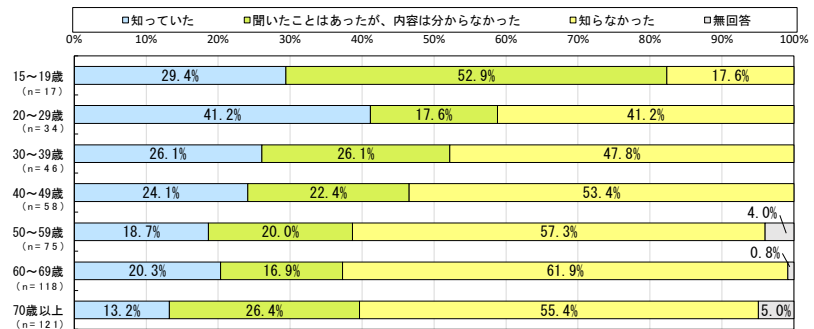
- 全体では、「ノーマライゼーション」の言葉の意味について、「知らなかった（53.8%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあったが、内容は知らなかった（22.8%）」「知っていた（21.3%）」の順となっている。
- 年代別では、年代が高くなるにつれて「知らなかった」と回答した人の割合が高くなっており、40代以上では約半数以上を占めている。

問 13-3:「ノーマライゼーション」の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします(1つだけ選択)

【全体集計 n=470】



【年代別集計 n=469】

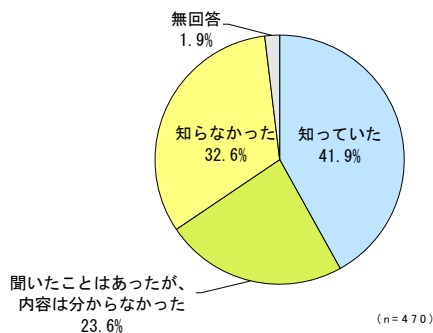


(4) 「心のバリアフリー」の理解度

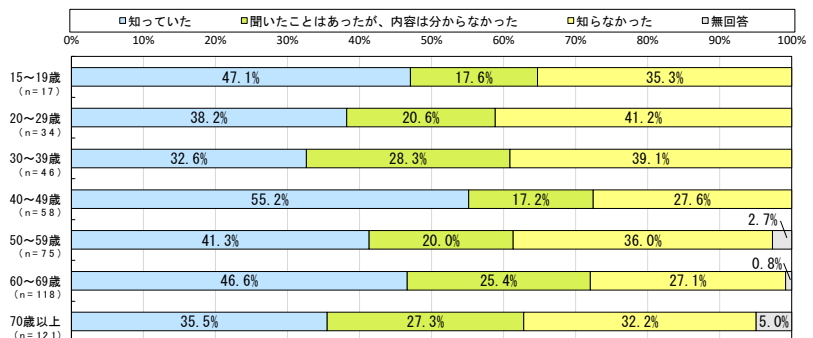
- 全体では、「心のバリアフリー」の言葉の意味を、最も割合が高いのは「知っていた（41.9%）」で、次いで「知らなかった（32.6%）」「聞いたことはあったが、内容は知らなかった（23.6%）」となっている。
- 年代別による大きな差は見られない。

問 13-4:「心のバリアフリー」の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします(1つだけ選択)

【全体集計 n=470】



【年代別集計 n=469】

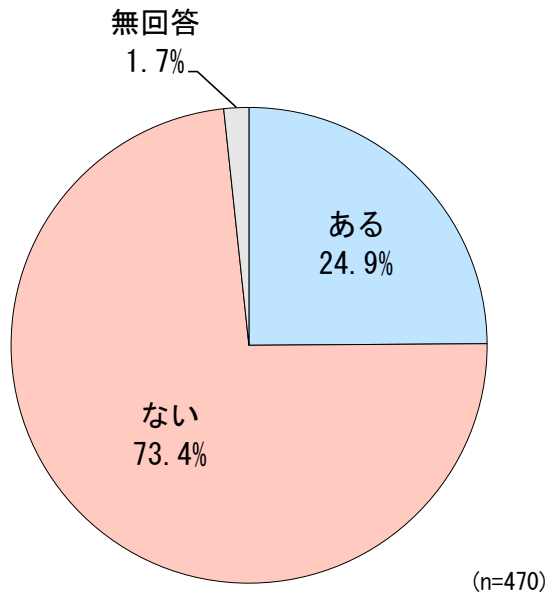


3-5 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について

(1) 障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇については、「ある」と回答した人の割合が24.9%、「ない」が73.4%となっている。

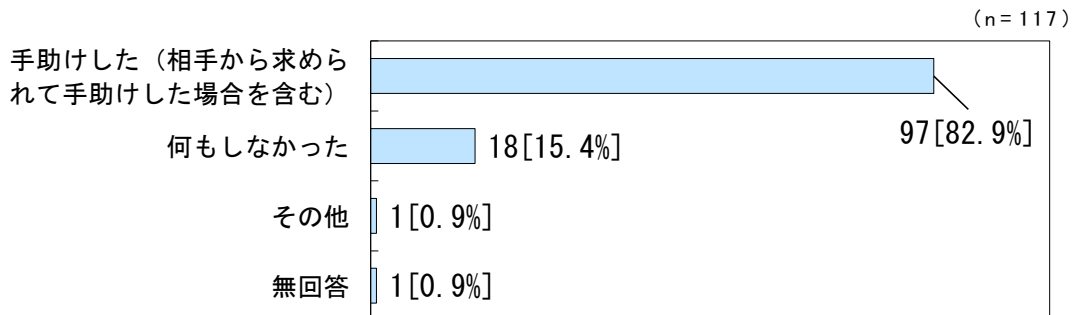
問 14:あなたが「ここ1~2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者、外国人や妊婦の方等が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします(1つだけ選択)



(2) 手助けの有無

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇したことがあると回答した人のうち、「手助けした(相手から求められて手助けした場合を含む)」と回答した人の割合は82.9%となっている。

問 15:前の 問 14 で「1.ある」を選んだ方にお聞きします
その時にあなたはどのようにしましたか(1つだけ選択)

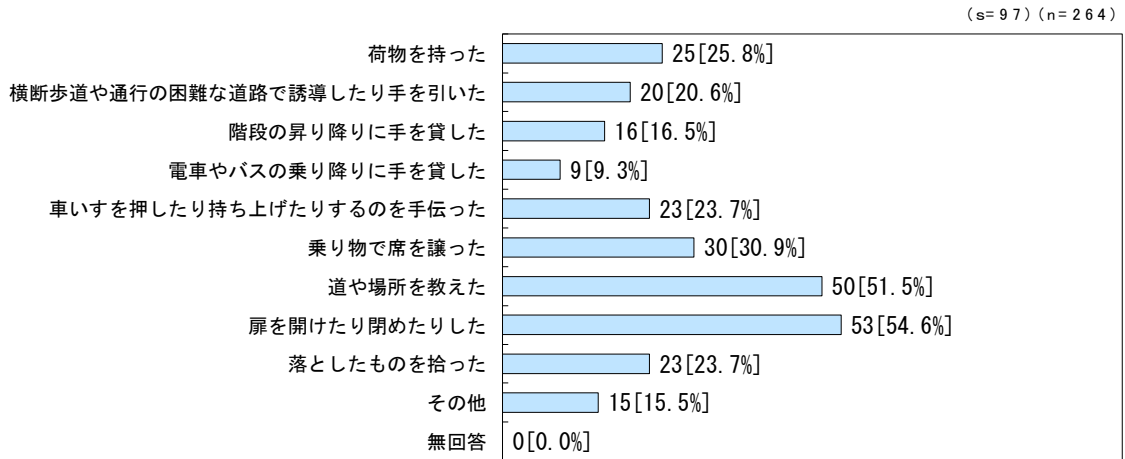


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

(3) 具体的な手助けの内容

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇した際に、手助けしたと回答した人のうち、手助けの内容で、最も割合が高いのは「扉を開けたり閉めたりした(54.6%)」で、次いで「道や場所を教えた(51.5%)」「乗り物で席を譲った(30.9%)」の順になっている。

問 16:前の 問 15 で「1.手助けした」を選んだ方にお聞きします
 具体的にどのような手助けをしましたか(すべて選択)

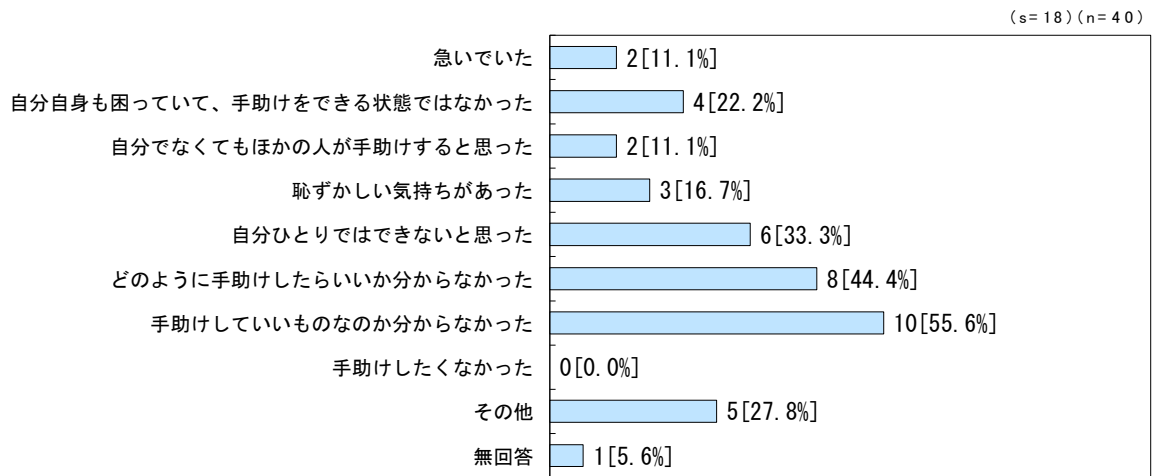


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「自宅や行先までの送迎」などが挙げられている。

(4) 手助けをしなかった理由

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇した際、手助けしなかったと回答した人のうち、その理由で最も割合が高かったのは、「手助けしていいものなのか分からなかった(55.6%)」で、次いで「どのように手助けしたらいいか分からなかった(44.4%)」「自分ひとりではできないと思った(33.3%)」の順になっている。

問 17:前の 問 15 で「2.何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。
 その理由は何ですか(すべて選択)

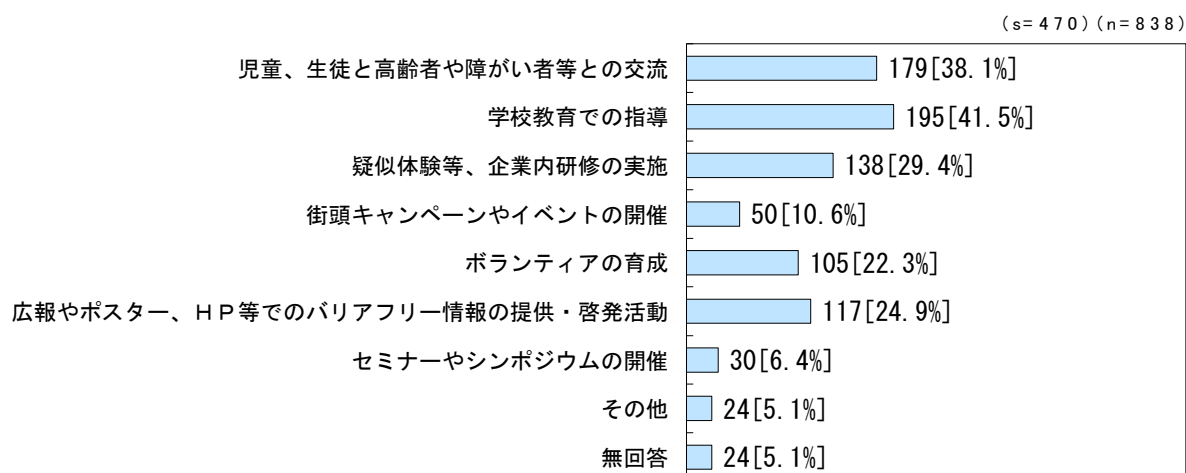


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。
 ※「その他」については、「車の駐車場所がなかったため」や「コロナのため」などが挙げられている。

(5) 「心のバリアフリー」を促進するために必要なこと

- 心のバリアフリーを促進するために必要なことで、最も割合が高かったのは、「学校教育での指導(41.5%)」で、次いで「児童、生徒と高齢者や障がい者等との交流(38.1%)」「疑似体験等、企業内研修の実施(29.4%)」の順となっている。

問 18:「障がい者や高齢者等が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします(2つだけ選択)



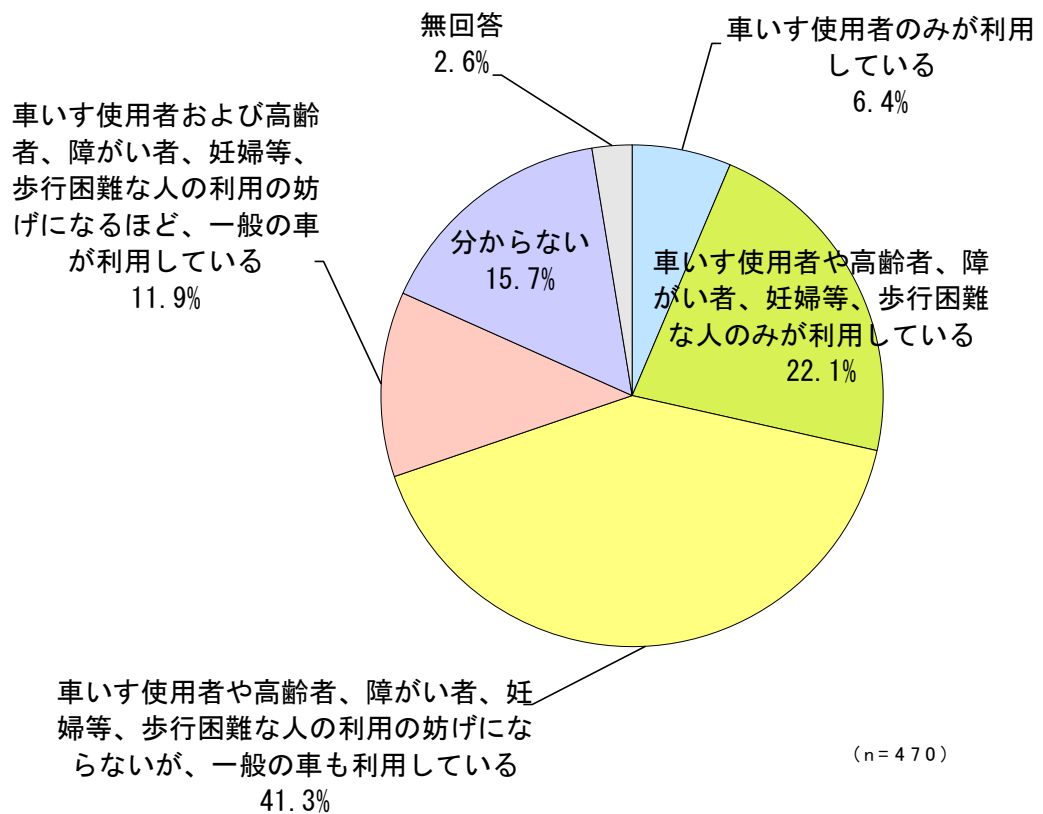
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

※「その他」については、「表彰制度を設ける」などが挙げられている。

(6) 障害者等用駐車区画の利用状況について感じる事

- 障害者等用駐車区画の利用に関して、「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している(41.3%)」と回答した人の割合が最も高く、次いで「歩行困難な人のみが利用している(22.1%)」「歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している(11.9%)」の順となっている。
- 一般車の利用が見受けられるとする「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している」「歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している」と回答した人の割合は合計で53.2%となる。

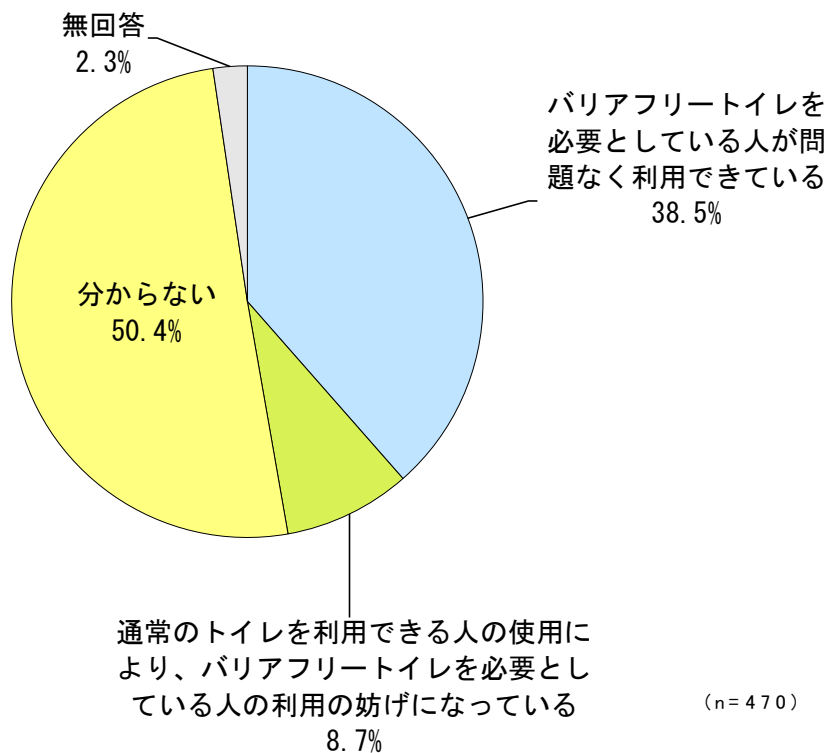
問 19: 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きます(1つだけ選択)



(7) バリアフリートイレの利用状況について感じる事

➤ バリアフリートイレの利用状況について、「分からない(50.4%)」と回答した人の割合が最も高く、次いで「バリアフリートイレを必要としている人が問題なく利用できている(38.5%)」「通常のトイレを利用できる人の使用により、バリアフリートイレを必要としている人の利用の妨げになっている(8.7%)」の順となっている。

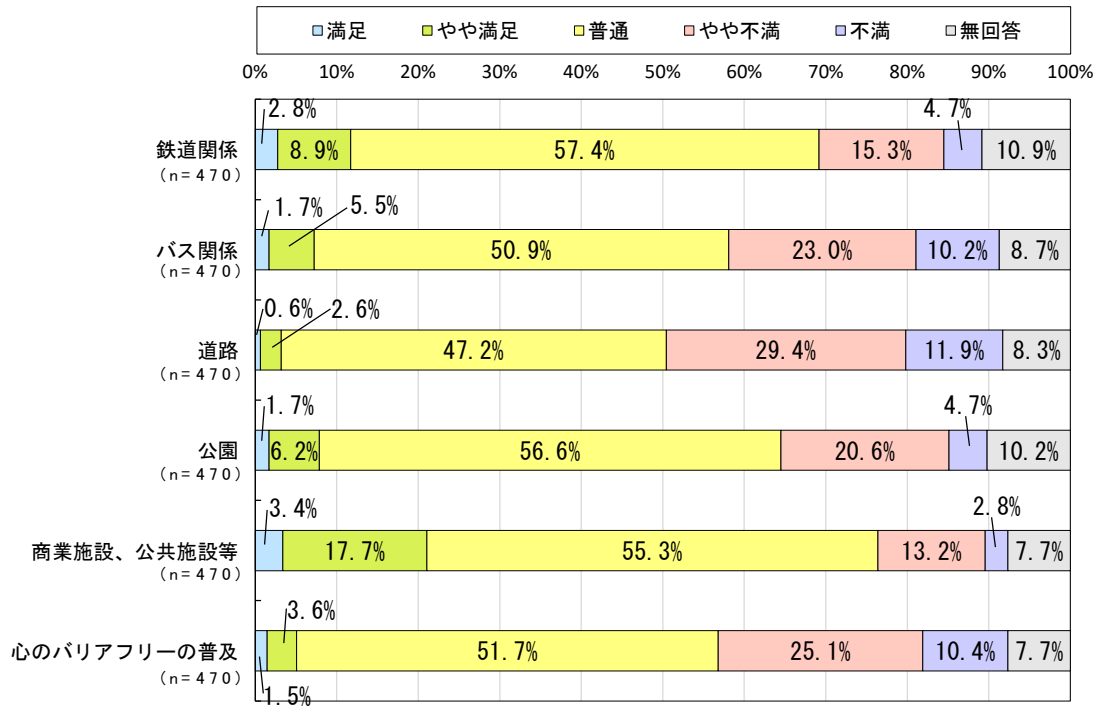
問 20:ここ最近、車いす利用者対応設備やおむつ換えシートなどが設置された「バリアフリートイレ」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします(1つだけ選択)



3-6 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について

- 全項目とも「普通」が半数以上を占めている。
- 「満足」「やや満足」の割合が最も高いのは、「商業施設、公共施設等(21.1%)」で、次いで「鉄道関係(11.7%)」「公園(7.9%)」の順になっている。
- 一方、「不満」「やや不満」の割合が最も高いのは、「道路(41.3%)」で、次いで「心のバリアフリーの普及(35.5%)」「バス関係(33.2%)」の順になっている。

問 21:これまでのご回答いただいた内容を踏まえて、秋田市内におけるバリアフリーの状況について、満足度をお答えください(1つだけ選択)



3-7 自由意見

- 自由意見は、116人から348件の意見が寄せられた。
- その中で意見が多かったのは、「高齢者、障がい者に配慮したまちづくりに関すること（44件）」、次いで「道路整備に関すること（42件）」、「広報広聴に関すること（31件）」となっている。

自由意見：秋田市内における「バリアフリーの状況」について、ご意見、ご提案がありましたら記入ください。

番号	項目	件数
1	公共交通に関すること	30件
2	道路整備に関すること	42件
3	公園に関すること	9件
4	公共施設に関すること	10件
5	商業施設に関すること	8件
6	バリアフリー設備に関すること	25件
7	交通マナーに関すること	12件
8	駐車場に関すること	9件
9	多目的トイレに関すること	8件
10	除雪に関すること	6件
11	子育て環境に関すること	11件
12	広報広聴に関すること	31件
13	行政サービスに関すること	14件
14	心のバリアフリーに関すること	20件
15	バリアフリーの推進に関すること	25件
16	高齢者、障がい者に配慮したまちづくりに関すること	44件
17	その他	44件
合計		348件

◆意見の概要

	記述内容
1	コロナ禍になってから、秋田市内は外出する人が減り、平常時さえ少ないのに、現在は障がいをお持ちの方に出会う機会がなく、問14は答えられなかったです。この問題を考えた方は、平日の日中に街を歩かれますか？市役所勤務の方たちは、平日の日中の秋田市の様子をご存知ですか？以上、素朴な疑問でした。【回答しない、60～69歳、東部】
2	障害者等用駐車区画に屋根があると思う。【男性、50～59歳、中央】
3	介護施設(特養)で働いています。 秋田県は、介護・福祉など環境整備がすばらしいと思っています。 先日(7/14)、義母(同居)のワクチン接種に保険センターに行きました。杖歩行生活しているため、車椅子をお借りしてありがたかったです。 入口までの通路が古く、傾斜も少しきつくもう少し緩いと助かります。 ・現在、電車もバスも利用することがないので、詳しい事情は分かりませんが、見学して今後は自分でも確認していきます。【女性、60～69歳、中央】
4	車いすを押してあげた時、下りのスロープを後ろ向きに降りる。どうしたら知ってもらえるか。【男性、60～69歳、東部】
5	バリアフリーをせまい地域に無理やり詰め込んでいる感はある。その結果、車いすなどの通路がせまくなったり、雪など外の対応にも完全なるバリアフリー化につながっていない。 若年層への障壁を取り除く対応を進める事で、高齢化地域における推進が図れると思われる。 全体的な普及に時間を割いてしまうが、トータル的な同時進行で心のバリアフリーとの相互を図るべき。 【男性、30～39歳、北部】
6	高齢化に伴うバリアフリー化は重要な問題ではあるが、それ以上に若者や働く世代に対する支援等が必要。 若い世代や働く世代の満足度が大切ではないか？ 仕組みや環境も整えつつ、市民の助け合いが必要なので、若い世代、働く世代が秋田市に満足する事が最優先ではないでしょうか？【男性、40～49歳、東部】
7	バリアフリートイレは以前よりもかなり増加している気がする。しかし、立派なトイレがあるのに、掃除がされていない「きたない」トイレもたまに見られる。とても残念だ。【女性、70歳以上、東部】
8	皆が、眠ったようにして、朝などは席を譲らないことが目立つように思える。【男性、60～69歳、河辺】
9	健常者には解らないこともあるので、様々な障がいを持つ方々に解決方法を伺うべき【男性、50～59歳、北部】
10	高齢者からJR四ツ小屋駅のホームへ行く階段がきついので利用を控えているとの意見がありました。 雄和から来るマイタウンバスはとても便利とのこと。イオンモールで中央交通に乗りかえないと秋田中心部へ行かれないのが難点とのこと。ダイレクトに直結して貰えれば、買物が便利になると思います。 高齢者にとっては大型商業施設での買い物は困難なようです。【男性、30～39歳、南部】
11	SDGsが様々なメディアで紹介され、注目を浴びていますが、学校教育やセミナー等で福祉に参加する方々が増えていけば、バリアフリーに対する意識も高まると思います。【男性、40～49歳、東部】
12	車道、歩道が劣化により、段差が出来ているところもあり、障がいをもつ方だけでなく、一般の人にも不便に思うようなところもあり、改善の必要があると感じる。【男性、20～29歳、北部】
13	毎日点字ブロックの上に車を駐車している会社がある。 障がい者用駐車スペースが1つしかないのに、健常者が車を停める。 コロナ禍により、余計に人とのかわりあいが薄れ、困っている人が分からないし、声もかけにくい。マスクで表情が分からない。 ほとんど車を利用するので、困っている人と遭遇することも少ないが、高齢者中心の社会になるが、デジタル化が進み、置いてけぼり。 きっとバリアフリーも、当事者は置いてけぼりかもしれない。 こういうアンケートは障がい者、外国人、妊婦、高齢者にも出していますか？【女性、40～49歳、中央】
14	高齢者夫婦等の家族が増える中、自宅から病院やスーパー、公共交通機関を利用するためのアクセスで特に冬期間の歩道は足元の状態が悪く不安定です。 免許返納等で徒歩もしくは公共交通機関を利用して生活するうえで支障を感じます。 公共施設や商業施設等は、ある程度バリアフリーとなっていますが、駐車場から施設までの動線を屋根付にする等、さらなる障壁を取り除く取り組みを進めていただきたいと思います。【男性、60～69歳、北部】
15	障がい者用の駐車スペースには、絶対に屋根が必要だと思います。車いすを乗り降りさせる際、傘をさしながら動作を行うのは困難です。【女性、20～29歳、南部】
16	トイレのバリアフリーは進んでいると思うがそれ以外はあまり見かけない気がする。【男性、30～39歳、南部】

	記述内容
17	身近に対象者がおらず、状況の把握が出来ていない。【女性、50～59歳、西部】
18	バリアフリー化も必要だが、歩行者用の通路も段差があったり歩きにくい所がある。そのような箇所を整備すればあえてバリアフリー化にこだわらなくても、健常者、障がい者隔たりなく利用できるのではないかと思う。 ただ、そのような場所の遊びの場としての利用に厳しく制限してほしい。【女性、50～59歳、中央】
19	今の所、不便を感じる状況ではないのですが、この先、夫婦で明日のことも考慮することが大切だと思います。 今以上に周りに目を配って行きたいと心から思います。【女性、70歳以上、西部】
20	秋田市のバリアフリーについて、駐車場やトイレ等のハード面はまずまずですが、ソフト面でまだまだ。弱者のための駐車スペースに平気で駐車する大人がいて、意識の低さを感じます。子供はそう感じませんので、これからも交流の場を持ちたりして、モラルを下げずに大きくなって欲しいと思います。 このアンケートについて「問13」の後ろにそれぞれの言葉の意味を解説してもらおうと、理解が深まると思います。【女性、50～59歳、雄和】
21	障がい者が生活し易い環境になる事には一向にかまわない、良くなれば良いと思う。 高齢者に対してはそうは思わない。 与えられなれていてズルがしこい。マナーもなければ社会性にも貧しい。 高齢者の中でも一部の方だとは思いますが、高齢者が守られすぎて若い人が苦労するだけ。暮らし辛いのであれば自ら行動させたら良いと思う。行政で行う必要なし。【男性、30～39歳、南部】
22	・人によってバリアーの感じ方が違う。 ・場当たりの対応は逆に混乱するので制度設計を大切に。 ・児童・生徒には教育が有効でしょう。 ・成人には広報による啓発はほとんど無効と思う。ニュース報道される実例を見聞きして、無理なく受け入れることによって、やがて自分でもやってみよう又は私はやらないようにしようと考えてもらうことが有効と思う。そのためには、行政がマスコミに積極的に話題提供するのもよい。(SNS含む)【男性、70歳以上、南部】
23	信号機のない横断歩道で、車が止まってくれるようになりました。 警察官と、テレビのニュースのおかげだと思っています。 足腰の悪い人は、遠回りは大変だと思います。【女性、70歳以上、中央】
24	私は5年前に都内から引っ越して来ましたが、秋田は高齢者の比率が高いのにバリアフリーな場所が少ないのではと感じました。 大きな通りでは特に問題はないかと思いますが、少し裏道に入ると車と歩行者の距離がとても近く、危険と感ずることもあります。 バリアフリーにするためにはお金もかかるので、簡単に出来ることではないと思いますが、少しでも改善出来れば嬉しいです。 私も誰かが困っているような状況に出くわした時には、すぐに行動出来るように心がけます。【女性、20～29歳、西部】
25	秋田市内のバリアフリーよりも、田舎で1人暮らしをしている人の事も考えてほしい。 病院にも行けない人いる。【男性、20～29歳、雄和】
26	子どもの時から、バリアフリーについて考えたり体験したりすれば、大人になってからもあたりまえの様に困っている人を助けられると思う。小学校～高校まで、年1回などの特別授業ではなく、もっと頻繁に授業に組み込んでいけたら、心のバリアフリーも含めてしっかりと身につけていくと思う。【女性、30～39歳、西部】
27	・歩道の段差が多く、シルバーカーやベビーカーがスムーズに動かせない。 ・道路の穴ぼこが多い。 ・歩道が雑草で狭くなっている。【女性、40～49歳、西部】
28	子供が産まれて、ベビーカーを押して通る道のせまさと、離乳食期の子が外出先で食べられるような場所の少なさ、授乳や休憩スペースの少なさに気付きました。 ベビーカーが通れないということは車イスの方も同じかもっと大変だと思います。 秋田の信号機は音が鳴らないものが多いと思うのですが、目の見えない方はどうされているんでしょうか？ 河辺地区に和田公園がありますが、急な坂道でベビーカーでも子供を抱っこしてても行きにくいです。公園内は雑草がボーボーで汚いベンチ。 子供と散歩にも行けないので、早急に整備して頂きたいと思っています。 少子化対策のためにも、もう少し妊婦、子供連れ、バリアフリーに優しい場所が増えると良いな一と思います。 よろしく願いいたします。【女性、30～39歳、河辺】

	記述内容
29	道幅も狭く、信号のない横断歩道もあり、障がいを持った方が安心して移動できる環境とは言えない状況だと思う。 歩道の整備も必要。【女性、30～39歳、北部】
30	秋田市内はまずまずの状況だと思います。 もっと身近について考えると近所となりのバリアフリーにも人間らしい心配りが老若男女気をつけてもらいたいと思います。【女性、70歳以上、東部】
31	私はバスを利用するのですが、バスが古い事もあり、乗る時滑ったり不便を感じたりしていました。ある時、バスのステップと道路に高低差がありすぎて、乗るのに苦労している高齢者を見たことがあります。私たち若者は、軽々と段差を乗り越えることができますが、高齢者の方にはその動作ひとつが苦になると思います。私の祖父母も、バスの乗り降りが苦でバスを利用しなくなりました。それと、車イスを利用している方は最初からバスを利用することができません。若い人は車を持っていて、どこにでも移動できますが、免許返納をした高齢者の方や車を持っていない方、障がい者の方たちがもっと快適に生活できるためには、バスのバリアフリー化やバスの運行回数を増設などを行ったら、状況が改善されるのではないかと思います。最近、暑いせいもありバス停そばの木陰で縁石ブロックに座っている高齢者を多く見かけます。木陰でバスを待っているのは、暑いのでしかたがないことですが、道路に足を投げ出して座っているのが危険を感じました。日ざしや雨を防ぐための屋根やベンチの設置などの対策を早急に考えていただきたいと思います。【女性、15～19歳、北部】
32	健常者の方が思っている以上に、車椅子で社会にでるのは大変です。 出なくてもいいと思うほどです。【女性、50～59歳、雄和】
33	担当者の方は、実際に車椅子で移動されてみたら、よくわかると思います。【男性、60～69歳、雄和】
34	インフラやハード面も重要だが、「市民の心掛け」次第で良くも悪くもなる。 まずは「高齢者や障がい者に優しい秋田市民」のイメージづくりをSNSやメディアを活用して展開したらいかげでしょう。【男性、50～59歳、中央】
35	県庁、市役所前の道は融雪やフラットになっていて冬でも安全ですが、その他市内の道、通路に関しては、ベビーカーや自転車では大変困難である。 一部だけ改善しても危険な場所は多いと思います。 移動しにくい市内です。【女性、50～59歳、中央】
36	おむつがえできるトイレが少なすぎて、1人で赤ちゃんを連れて行ける場所がほとんどないと感じた。せめて、外からでもバリアフリートイレがあることを知れるマークなどがあればいいのと思った。大森山動物園も坂が急で、ベビーカーは意外と大変だなと感じた。ペビーウェルカムの旅館やホテルも市内にはない。岩手の愛隣館並みに離乳食まで出さずとも、オムツを捨てるゴミ箱くらいあればうれしいと思う。 一番思うのは、歩道が段差ありすぎて、ベビーカーはつかかかってのりこえるのに本当に本当に大変。児童館はもうちょっと内容を充実させてほしい。冬や真夏に適温で砂場遊びができる場所があればいいのになと思う。【女性、30～39歳、中央】
37	お年寄りが多い時代でありますので、ベンチを多く公園に入りやすい状況を作っていただきたい。 又公園の草刈りは是非早めに行って欲しい。 犬の散歩にも注意したい。公園に入れても排せつ物を必ず処理する。【男性、70歳以上、中央】
38	問21に関して ・道路のバリアフリー化について 目のみえない人が”散歩するうえで行きとどいている場所とそうでない場所がある”と聞いた事があります。なるべく多くの場所をバリアフリー化してほしいと思います。 ・公園のバリアフリー化について 車イスを利用する人の為にスロープを広くゆるやかにしてほしい。でも公園の良さを残しつつむやみやたらに自然をこわしてはしてほしくない。 ・心のバリアフリー 大変むずかしい事だと思います。長く時間をかけてやっていくべき事と思います。心の問題なので…。 【女性、60～69歳、東部】
39	自分は不自由な体でないのに、そういう立場でない分からない。健常者へ聞いても逆に理解できないのでは？【男性、60～69歳、北部】
40	ぜひ予算の範囲内でバリアフリー化を進めていって下さい。住みやすい町になる事を期待しております。 【男性、60～69歳、西部】
41	アンケート、とくに問21は今のところは不自由な体なので、バリアフリーについて意識していないと自分に気付かされた。 1つだけ、スーパーなど駐車場だけは一般車なのかなと気になることはある。 意見提案はできないが、今後は気を付けてみていこうと思った。 参考にならずすみません。【女性、50～59歳、河辺】

	記述内容
42	地域ごとの該当者数を確認して、重点的に施設を整備すべきと思う。 100の予算を10×10に分けて使用すれば、人数の少ない地区は十分かもしれないが、多い地区は不足と考える。100の予算を今年はA、来年はB、次はCとやっていく方が効率である。【男性、60～69歳、北部】
43	商業施設、公共施設も含めどこでもそうですが、人が集まる日(悪天候やイベントetc)には障がい者用駐車場のスペースは必ずといっていいほどふさがっています。一般の方々が平気で駐車していますね。 良心よりも利便性を優先してしまう。 これはやはり養育期からの「道徳」が不足していると感じます。情操教育をもっと形成するような取組みをしてほしいですね。【男性、60～69歳、東部】
44	毎朝散歩していますが、歩道の凹凸、段差、電柱等について困っています。【男性、60～69歳、中央】
45	歩道を歩く機会が増え、気がついたのは歩道のせまさと段差です。1人で歩くときはいいのですが、人とすれ違う時や自転車がとおっているときにせまさを感じました。また、コンクリートがでこぼこになっている箇所もあり、つまづいてしまうこともありました。小さいお子さんや高齢の方がすごしやすいようよろしくお願いいたします。【女性、30～39歳、東部】
46	車いすのマークへの一般車両の駐車は、見てて不快に感じます。 コンビニや商業施設が特にひどい気がします。 店内放送はしていますが、全く意味がないと思います。【男性、50～59歳、東部】
47	「バリアフリーの状況」意見とは無関係かもしれませんが、病院等の通院にJR羽越線を利用しますが、通勤・通学の利用者が多く、朝の時間帯の車両を2両編成から一両増やして3両編成にして欲しい。 JRの2021年3月13日以前のダイヤ改正前までは良かったのですが。 代筆者 妻の意見【男性、70歳以上、西部】
48	・高齢化がますます進んでいくのは秋田市内だけではなく秋田県全体の取りくみとして、人どおりの多い所等、歩者分離方式の信号を設置した方が、事故を少なくすることができるのではないのでしょうか。 ・施設、設備より何より人とのふれあいこそ豊かなくらしにつながることを思うと我々老人ひとりひとりが幸せになるための努力をしたいものです。 今まで人ごとと思っていたことでしたが、じっくり考えるチャンスをいただき感謝しております。【女性、70歳以上、北部】
49	秋田市、県は他県にくらべてすべての事がおこなわれている。恥ずかしいかぎりです。 これを機会に皆さんの意見を取りいれた方が良い秋田が望めます。【女性、70歳以上、南部】
50	新屋豊町～新屋船場町の道路が狭く歩道もあつたりなかつたりのため、歩道の整備をしてほしい。【女性、20～29歳、西部】
51	秋田市内でも外国人を多く見かけるようになった。 私が体験したように、男性トイレは小と大が別になっていて、大の方が和式だったりする所もあるようだ。 和式だと使えない身体の不自由な方もいると思うので公共施設は洋式にした方がよいと思う。【女性、40～49歳、南部】
52	日常生活の中で、高齢者や障がい者に限らず困っている人に直面した時、声掛けや手助けの方法がわからず通りしてしまいがち。そうした場面ですぐ行動がとれる様、日頃の交流、研修などが必要だと感じます。【女性、70歳以上、雄和】
53	公共施設のバリアフリー化は当然のことであるが、個人住宅のバリアフリー化に十分な支援が必要だと考える。若いうちは老後の暮らしを考えずに家を設計すると思う。しかし、60を過ぎるころから失敗だったと悔やむ。予算の問題もあるが、住宅会社や市の建設指導関係課では、その辺をもっとアドバイスすべきだ。 もっと大きな視点で考えるなら、一戸建て住宅より共同住宅に比重を置き、若い人向け、高齢者向け(つまりお互いに助け合えるような設計を考えてもらいたい)の安価な住宅を提供してほしい。 一戸建て住宅の廃屋化がどんどんひどくなっている。わが町内にも空家がたくさんある。【男性、60～69歳、中央】
54	・段差等がもう少し改善されれば車いすやベビーカーを使う方にとって利用しやすくなるのでは？と感じる。 ・信号の点滅が早いと感じる(川尻十字路等)【女性、20～29歳、中央】
55	最近の状況によりあまり外出しないので、バリアフリーの状況についての現状はよくわかりません。すみません。 近場で言うと、スーパーの障害者用等駐車区画は一般の人の利用が多く、もしかしたら、本当に知らないで停めてる可能性もあるのかも？ 古い所ほど路面に表示しているだけで、他の表示がないのもっとわかりやすくしたらいいと思います。車いすマークをつけていない車が駐車したら減点とかにしたらいいかも。 結局は罰がないから、どうでもいいと思っているし軽く見ている人が多いのでは(駐車場に関わらず)【女性、40～49歳、西部】

	記述内容
56	特に県道、市道は車線が少なく、歩道も狭い。道路行政は予算を伴うため、その維持発展が難しいと思うが、大幅な改善が必要と考える。 電線の地中埋設化もその一端にある。【男性、70歳以上、中央】
57	旧市街地などにお年寄りなどが住んで居る場合も多くあると思う。新しい街は良いとして、古い街を住みやすい環境になるよう工夫してほしい。 街を改良するのは大変だと思うので、バスなど、お年寄りの足となる手段の多様化。 冬の除雪のあり方(排雪の徹底) 「バリアフリー」が整ったとしても、除雪が今までどおり、家の前に雪を残していくと、それこそ大きな壁となる。【男性、40～49歳、北部】
58	ぜひ市民による自発的行動をサポートしてください。 そのような声や行動が生まれるような工夫を公募するなどして秋田らしい取組みを応援いたします。【男性、50～59歳、北部】
59	私は現在81才ですが昨年2月に室内で転倒し骨折してしまい、3カ月入院加療後リハビリ施設に通所しておりますが、時々上飯島駅、バスを利用しますが、地下道を通らなければ住居に行けず大変困っております。 足・腰の弱くなった高齢者には厳しいです。 御配慮いただけたら、大変甚幸に思います。【女性、70歳以上、北部】
60	歩道には少なからず傾斜があり、車椅子や松葉杖等で通行する際に負担を感じる。【男性、60～69歳、東部】
61	商業施設などのトイレ等のバリアフリー化を積極的にやってほしい。【男性、20～29歳、西部】
62	一般道路脇の歩道で自転車可の表示がある箇所、あちらこちらで歩道と自動車道に段差が残ったままの所がある。【男性、70歳以上、南部】
63	バリアフリーなどの言葉が使えるほどの所や道路を見たことが無いです。 特に歩道は、自転車すら降りて渡らないといけないので、車イスや高齢の人の押し車はさぞかし不便だと思います。秋田で老いるのは恐いくらい。歩道も狭く、段差も大きく無人駅の階段は雪が積もるとツルツルすべります。【女性、60～69歳、北部】
64	1.幅の狭い公道の車速制限が緩いので、小学生、シルバー3輪モーター車、自転車で通るには危険な道路が多い(飯島地区) 2.食品大型スーパーの日常生活で必須ですが、道路より高い歩道よりさらに高くなっている敷地(駐車場)を通り入店するのは、自家用車以外は少なからず誰でも不便で、障がい者がなんらかの器具を利用して入店するのは、補助者が同伴してもかなり困難。 大型店には、高低差・スロープ・角度等の規正をしてもらいたい。(日常的によく利用している自衛隊通りの「いとく」。同じ立地の銀行、サンデーは、高低差が小さく、良い)【男性、60～69歳、北部】
65	私は、御所野学院の生徒です。私の高校には、バリアフリートイレがありますが、常に鍵がかかっている使用できません。このままでは、本当に使いたい人が使用できません。何とかしてほしいです。トイレの改修工事をしてほしいです。【男性、15～19歳、東部】
66	私自身も高齢者になりました。 町の中に少し休めるようなイス等、ちょっとした所にあるとうれしいですね。【女性、60～69歳、中央】
67	「心のバリアフリー」について ・もう少し、広告・新聞・市民講座などで理解を深めたいと考えています。 ・LGBTも心のバリアフリーに入るでしょうか？ 例えば、男性の方が、心は女性で、女性トイレに入りたいと申し出ている場合とか？ 日本でも、論議しているようですね。【女性、60～69歳、北部】
68	特にありません。 これからは、この気持ちでよろしくお願いします。【男性、30～39歳、南部】
69	ほぼ毎日、車移動の為、駅、道路、バスなどのバリアフリーに関して無知な部分が多く申し訳ありません。 子育てしている父親としての立場からの意見として、トイレがある公園が増えればうれしいなどは感じました。 障がい者に関しては、気付いてないか目にする機会が少なく特に意識した事はありませんでした。 逆に、障がい者の方が安心して外出できるバリアフリー環境が整っている場所へ私自身が行ってないのもありますが、もっと整えば身近に目にする事も増えるのかな？と感じました。【男性、30～39歳、中央】

	記述内容
70	<p>教育現場での指導も大切であるが、最も大切なことは家庭のなかでバリアフリーの事を取りあげて話し合う事が土台。底面を引き上げることになると思う。特に近年は公德心が不足していることが一番の問題点ではないでしょうか。</p> <p>電化、機械化、便利に走り、心の貧乏が目立ってしかたがない。他人を「とやかく」云う前に、自身の心に問いかけることが大切である。人からやってもらうことより、自分で何とかできるかを常に心がけて生活する姿勢が大切であると思う。</p> <p>便利貧乏の心を改める必要がある。形だけのバリアフリー化でなく昔の不自由だった頃に今一度もどる必要がある。</p> <p>小生も86才になって思うことは昔の不自由な自然性の時代が恋しくてならない。【男性、70歳以上、南部】</p>
71	<p>・スマホ見ながらの自転車通学があります。怖いです。</p> <p>・誰が見てもわかるように自転車専用道路を整備してほしい。(全国统一にすれば良いと思います。)【女性、60～69歳、東部】</p>
72	<p>子育て世代としては、子供が安全に外出できる地域になればと思います。</p> <p>全ての道路で歩道と車道を分けたり、車の通りが多い所には車止めを設置して頂くなどです。</p> <p>また、高齢者、障がい者が気軽に外出しやすい様、バリアフリー化だけでなく、資源や制度作りも大事だと思います。</p> <p>筋力低下した方が、駅やバス停まで移動するのは大変な負担で、結局はタクシーを利用したり外出控えになっています。</p> <p>宜しくお願いします。【女性、30～39歳、西部】</p>
73	<p>・市役所の駐車区画は高齢者や障がい者スペースは色やマークがわかりやすく、監視員もいるので、一般車両は特別な事が無い限り使用不可であるが、一般のスーパー等をみると、そのスペースに平気で停車している人が多く見られ(特に中高年の人が多い)どこまで理解できる人が増えるかが問題に感じている。</p> <p>・市役所に出かけた時に車椅子やシルバーカーは誰でも使用可能にと準備しているが、知人(65才未満)は少しずつ腰が曲がる病気のため、スーパーにあるカートは高さも丁度良いし、病院にも準備している所もあり、市役所にもあれば荷物も載せる事ができるし、長距離移動の時は助かるのに…と話していた。</p> <p>【男性、15～19歳、東部】</p>
74	<p>専業主婦のため、外を出歩く機会が少なく、無作為とは言え1000人に抽出されてしまったことに不甲斐なさを感じたが、バリアフリーについて理解するきっかけになると思い、HP等を拝見した。</p> <p>バリアフリー協議会、教室等、市民の理解を得るために様々な活動がなされていることを初めて知った。こういった活動の周知をすることで感心を持つ市民が増え、心のバリアフリーが進むと思う。</p> <p>また、外部リンクのurlが切れていた箇所があったが、今回のアンケートを取る上で事前に確認はなされてなかったのか、疑問である。</p> <p>とは言え、私同様、興味・感心を持った方も少なからずいるはずなので、その輪が広がり、より住み良い秋田市になればいいと思う。【女性、30～39歳、南部】</p>
75	<p>自家用車での移動が多く、公共(バス・電車)での移動がほとんどありません。たまに、社会勉強として電車に子供達をのせますが、高齢の方が目立ち、階段等、大変にみえます。</p> <p>また、妊婦の際の駐車に関しては、まだまだ認識がうすく、なかなか停めることに躊躇したのがありました。</p> <p>これからさらに高齢化社会となり、特に河辺ではバスの利用が必要となりますので、使いやすさや支援等、市で行って頂けることを期待します。【女性、30～39歳、河辺】</p>
76	<p>大森山動物園のサル山からゾウ舎に向う坂がせまく急で、ベビーカーならなんとかなるが、車イスでの移動はとても危ないと思います。【女性、60～69歳、西部】</p>
77	<p>・現在は車の運転もしていますが、最近ひざの調子が悪く、バリアフリートイレを利用するようになり、ありがたく思っています。ただ見た目は健康体であり、ひきめを感じる事もあります。</p> <p>・近くの小さな公園ですが、草は定期的に刈っていますが、回りの木々が子ども達が遊ぶのにあぶない様に感じます。子どもの目に木があたらないよう草刈にだけでなく木の手入れもしてほしいと思います。(西潟駅第一児童遊園地)【女性、70歳以上、南部】</p>
78	<p>・場所、施設によっては分かりづらい。【女性、30～39歳、西部】</p>
79	<p>・病院のトイレは車いす用が少ないように感じる。【女性、60～69歳、北部】</p>
80	<p>年齢が進むにつれて自家用車が心配になっています。自家用車をやめるとバスの回数が少なく大変不便です。自転車を使用と思っても、歩道の高低さ、巾の広い、狭いのなやみ、歩道のないところは車道では自信がない。つまり、しかたなく自家用車は手ばなせない。83才でやめようと思ったが結局は続けている。歩道の整備が一番大切であり、必要である。車道、歩道に分かれて、その間に樹木のある道路をめざしたい。【男性、70歳以上、西部】</p>
81	<p>公共施設にベビーカーなどの貸出がもっとあるとよいです。【女性、30～39歳、南部】</p>

	記述内容
82	バリアフリーが公共期間で大部進化してきました。 これからも進められるよう願っています。【男性、70歳以上、南部】
83	カタカナのおかしな単語を使うのならば、ちゃんと単語についての説明をすべき。 というか、日本語使えって感じ。 何でも横文字にすれば良いっていうものではないと思う。【男性、50～59歳、南部】
84	母(86才)は車イスの生活をしています。最近では外出先のトイレも充実してきたと思います。 車イスで外出する際、エレベータのボタンさえ手がふさがって押せない場合があります…そんなときにまわりの人たちに助けられています。 (エレベーターのボタン1つですが押せない…)そんな人たちがいることをもっともっと知ってほしいです。 そして障がいのある人が食事をしている等、笑ったり、指を差したりしないような教育をしてほしいと願っています。【女性、60～69歳、北部】
85	幹線道路沿いの商業施設では、特に歩道側に看板やのぼりを設置しているが、それらは歩行者やドライバーの見通しを悪くしていると思う。私有地に設置されている場所であっても行政による指導を行うべきだと感じる。【男性、30～39歳、中央】
86	駅、公共施設、公園のトイレが汚いので改善して欲しい。 今後、一層高齢者の増加が見込まれるので、いろいろな場所にベンチ等の設置を増やす必要があるのではないかと。【男性、60～69歳、南部】
87	私は自家用車での利用がほとんどであり、鉄道やバス関係に目を向けることがありませんでした。 この機会にバリアフリー化について、色々勉強してみたいと思いました。車でばかり外出しているのだから、しっかり地域のことも目がとどかない現状で、良い回答も出来ず申し訳ございません。これから少しずつ、心のバリアフリーの市民への普及、自分も心を寄せて学ぶ気持ちでいたいと思います。本当にありがとうございました。【女性、60～69歳、西部】
88	最近利用していませんが、新屋駅のホームまでは、まだ階段でしょうか？ 数年前、ホームまでお年寄りをサポートしました。1人だと電車に乗り遅れたと思います。【男性、50～59歳、西部】
89	障がい者、高齢者への手助け等は、交流や学校教育での指導が必要と思っています。 あと、災害時の手助け等も、今後大事なことと感じています。【女性、70歳以上、南部】
90	・ほとんど「自然の公園」である千秋公園に、近年手が入りすぎて、不自然さを感じる事が非常に多い。そんなところにお金を使うよりも、交通量が多いのに車道も歩道も整備されていない場所に目を向けてほしい。 ・バス「ぐるる」の利用者は多い。つまり、そうした路線の需要がある。また、例えば路線名は知らないが、学校帰りの生徒の多い夕方秋田駅行きがバスが一時間に数本しかなく、一方で駅から市役所、臨海方面へのバスがガラガラな状態で何本も走っているのをよく見かける。調整をすべきではないか？ ・バスの車内に路線図がない。自分の乗ったバスが正しかったのか、どこで降りればいいのか、確認できない。住んで乗り慣れた人はいいでしょうが、そうでない人間には不便。【女性、60～69歳、中央】
91	駅…地方ではほとんど見ないが、ホームドアがないのは普通に危険だと思います。特に階段の脇の通路がただでさえ狭いため、キャリーケースを引いて通る時など少し怖いです。 バス…乗り降りでお年寄りが苦勞されているのを時に見かけます。スロープがあれば、楽に乗り降りができると思います。(完備しているバスもあると思いますが、普通が使われているのをあまり見たことがありません。【女性、20～29歳、中央】
92	・バスでSuicaが利用できるようになってほしい。 ・鉄道でSuicaが利用できるようになってほしい。 ・バスの運行数を増やしてほしい。 ・秋田駅前だけのコミュニティバスだけではなく、茨島周辺のコミュニティバスも実施すると良いと思う。 ・大雪になった時に道路がせまくなり危険である。 ・アンケート調査を実施する人数を1,000人ではなく、5,000人に実施してもっと多くの声をきいてほしい。 ・駅やバスでSuicaが利用できるようになると①指にふれなくていいので感染リスクが減る②時短になる③密が避けられる④都会の人が秋田にきたときにSuicaが使えずにがっかりしないようにする、以上により是非早急にSuicaが使用できるように希望する。【女性、20～29歳、南部】
93	私は河辺のバス通に住んでいる者ですが、(子供たちの通学路にもなって居るようです)午後用事を足すに電動カートで歩いている時に、中学生の運動着を着て歩いている男子学生(中学生だと思います)五・六人又はその後グループで歩いている子供たちが皆で私に向かって「コンニチワ」「大丈夫ですか?」「気を付けて!!」と叫んでくれるのです。私はビックリして応答してましたが、過ぎてから嬉しくてありがたくて涙流して運転してます。 最近では、私も馴れ馴れしく「ありがとう」とお返ししたら「なんも、なんも」とか返してくれたりして、なんと幸せに感じております。 問18の②もあるかもしれませんが、本当に良い子供達ばかりで、術後急に歩かれなくなって目先が真っ暗になり、入院中に20年寝たきりの主人が亡くなったこともあり、一人暮らしで約一年になりますが、今では世の中すてたものではないと思っています。頑張ります。【女性、70歳以上、河辺】

	記述内容
94	心の介護を行わないと、それをささえる家族が仕事ができない状態になる(社会の崩壊) ただハード面を向上又は施設に老人・障がい者をおしつけるだけでは、解決策にならない。 老人・障がい者が普通の人と等しく社会参加できる状況にならなければならない。(施設におしつけるのはよろしくない。) 老人・障がい者の人たちの気持ちになって考える事が必要。【男性、50～59歳、西部】
95	雪のない時期はあまり感じないのですが、冬の雪が多い時期になると、車イスの人は通行ができないと思います。通学する子供達も通りにくそうです。除雪してくれるのはありがたいのですが、排雪をしないままだと道路は半分になり、非常に危険を感じます。また、毎年、一定の所に除雪をするのですが、65才以上で、家の前の所には置かないように広報を見てお願いをしたのですが、全く排雪はしてくれませんでした。除雪の振動も大きく、因果関係はわかりませんが、水道管から少しずつ水が出て、床下の修理をした事もあります。【女性、60～69歳、東部】
96	歩道のインターロッキング舗装は車いすや歩行器での移動の妨げとなっている。【男性、40～49歳、東部】
97	牛島駅、いい加減建て直して下さい。【男性、30～39歳、南部】
98	そもそもバリアフリーの課題に取り組むほど困っているという声があるのかよく分かっていません。 高齢者向けのバスのサブスクとかやってみたらどうですか？【男性、20～29歳、南部】
99	・車イスの方の声です。 駅前のデパート(フォンテ)の入口は全てが自動ドアではないので、入りにくい。特に冬はアーケードの意味がないくらい吹雪でぬれる上、だれも手伝ってくれない。 ・ベビーカーの方の声です。 バスの利用時、通路(バス内)が狭すぎて、利用できないので、ますます社会から遠ざかり不安になる。 ・市民のあり方を考えました。 人に声をかけたり、よりそったり、かけつけたりがにがてな日本人。Openハートを育てるには「知る」きっかけが必要。皆、全て人ごとに思っている日本にとって、となりの人、まわりの人、とニコニコ輪を持って生きられるような教育をとり入れてほしい。大人達が学ぶ「ボランティアスキル講座」なども「防災スキル」とコラボしたりしてやって欲しいな！【女性、50～59歳、中央】
100	子供を連れて買い物をしていると、本当に色んな人のお世話になります。 子供も、笑っている時ばかりではないので、泣いていてどうしようもできないでいると、あからさまに嫌な顔をされたり言われたり。たしかに泣き声はいいものではないかもしれませんが、私としては、お互い様。店にいる間のたった5分や10分。「色んな人がいる」という考えを持って接する事が、まずは心のバリアフリーにつながるのかなと思います。【女性、30～39歳、北部】
101	問20で2を選択したが、通常のトイレが少ないため、バリアフリートイレを混雑時に使ってしまうことがあると思った。1ヶ所ごとの個室の数を増やすことにより、お祭りなどでトイレが混雑しても、バリアフリートイレを使わずにすむのではないかと感じた。【女性、15～19歳、東部】
102	県民は気恥ずかしさがあり手を貸したいと思っても声を掛けられない事があるので、CM等でも意識付けができればなと思います。【女性、50～59歳、西部】
103	これからは老人が多く、市民の50%以上になる可能性の秋田です。 けが人、事故を起こす前に。 少しはお金がかかりますが、この様に市民のアンケートをとり、市民の声をきき、むだのない、市民が困っているところを直して、ととのえていく仕事をしてほしい。 だから、このアンケートはとてもいいことであり、市民にとってのよきバリアフリー化を進化させて下さい。 市民がよき生活ができるため頑張ってくださいている市の方々(市役所の人達)ありがとうございます。頑張ってください。【女性、70歳以上、東部】
104	具体的にはよくわからないことが多いです。【男性、50～59歳、北部】
105	現在、車いすを使用し、市内の施設でお世話になっております。施設内はバリアフリーで、移動もスムーズで、とても楽に生活できております。市内の道路なども老人、子供にやさしい作りとなることを願っております。【女性、70歳以上、北部】
106	移動する際は車のため主にドライバーから見た意見を書かさせていただきました。 問21の満足度についてですが、公共交通・施設をほとんど利用していなかったため、すべて「3」とさせていただきます。 このアンケートの意向に添えたかわかりませんが、以上のように回答いたします。【男性、20～29歳、東部】
107	バリアフリーではないかもしれないが、道路わきののびた草木や落ちているゴミや石なども、障がいのある人にとってはさまたげになると思う。 そのようなささやかな事を整えるのも大切だと思います。 また、側溝の穴など、車いすやベビーカーを使う時にはまってしまって、大変な時がある。【女性、30～39歳、北部】

	記述内容
109	自分の周辺からは、特に不満は聞いておりません。当事者からの意見は直接うかがった方が良いと思います。
110	また自分が高齢または障がいを持った場合は、意見が変わるかもしれません。【女性、40～49歳、東部】 ただ、広報やポスターでの呼びかけだけでは、なかなか関心を持ってない様に思う。ボランティアの養成講座や、地域での実際の活動、子供会や教育現場での体験などを増やした方がいいのではと思います。【女性、50～59歳、西部】
111	このアンケートは無作為に抽出した1000人を対象にしているとのことですが、健常者の私にとっては正直答えに迷うところが多かったです。 実際に体の不自由な方を対象にしてアンケートをとるべきではないかと感じました。 ※もちろん、健常者にも問題意識を持って欲しいとの考えによるものとは思いますが、何よりもまず、実際に困っている方々の声をくみ上げる方がよいのではないかと思います。【男性、50～59歳、東部】
112	川口橋から下水道局の方へ入った道が穴ぼこだらけです。又、東部ガス5Fの建物と下水道局の間に街灯もなく、夜は、周辺の木々のせいで、暗く、昼は最近ではカラスが2羽いて、人間をおそってきます。(先週は3回もおそわれました)どうにかならないでしょうか。道の穴に足をとられ、捻挫しそうになりました。【女性、50～59歳、中央】
113	スーパーマーケットはまだまだ通路がせまく、車イスの人は動きづらいと思う(店員の対応はそこそこに良いと思う) 心のバリアフリー→高齢者には学校の教育がよいせいか、思いやり行動がまずまずできていると思うが、知的障がい者には白い目(偏見や無理解)がこすぎると思う。学校で教育しているだろうと思うけど、その人の人間性でいくら理解してもらおうと思っても、その行動のせいか、理解はできないと思う。自分の身内でさえも理解できない人もいるのではないか。昔からの偏見が濃いせいか心のバリアフリーはむずかしいと思う。 障壁をなくすには？永遠の課題だと思います。 身体障がい者には一応の理解は大人も子供ももってると思います。わけへだてなく仲良く手をとり合っていけたら日本で一番ステキな市になると思います。【女性、60～69歳、南部】
114	秋田市内の道路等では、段差が多いため、高齢者が利用しにくいと思う。 年寄りや子供にやさしい施設の建設を希望する。【男性、70歳以上、西部】
115	鉄道:長椅子も1人1人の座席スペースを意識させるようなものになれば、より多くの人が座れると思う。 バス:段差が大きく、足が不自由な方は非常に乗りにくい。 心のバリアフリー:困っている人に気が付いて皆が手助けをすすんで行(おこな)っていく世の中になれば、それ以上の喜びはない。 もともと県民性がおとなしいし、見て見ぬふりをする人が多い。皆が生きやすい街になれる様、困っている人がいたら、”おせっかい精神”で手助けしていきたいと思う。【女性、40～49歳、東部】
116	子供が小さいころベビーカーを利用して道路の段差(歩いても気づかなかった)に困ることが多かった。ほんの1～2cmの段差でつかえてしまいます。自動ドア以外は入りにくかったです。 最近では自転車で移動していると、自転車の走行スペースが狭くこわいので歩道へ上がってしまうことがあります。 歩道と車道の合流点の傾斜もきついですね。車イスの方には特に走行しにくいです。歩くだけでは気づきません。【女性、40～49歳、東部】

4 バリアフリーに関する過年度調査との比較

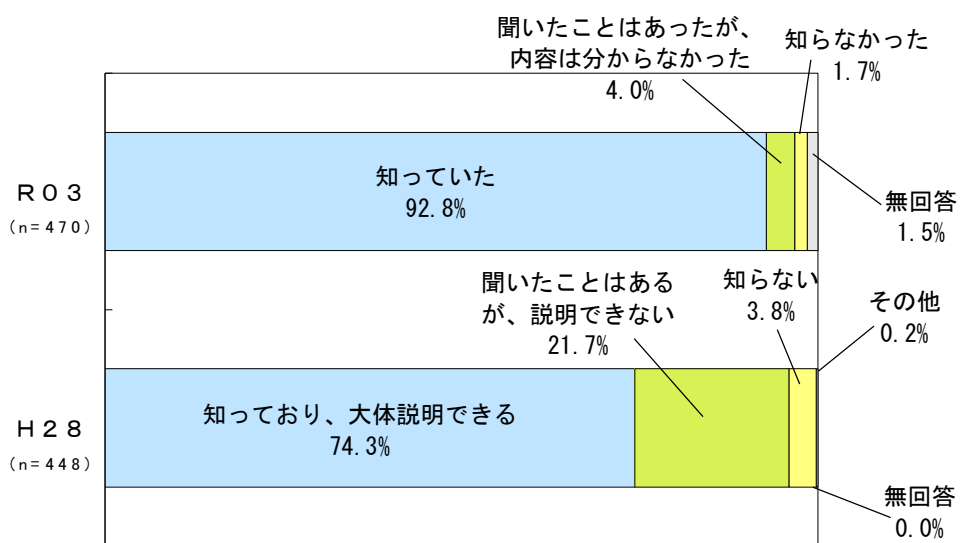
4 バリアフリーに関する過年度調査との比較

過年度調査との比較は、「秋田市『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査 調査結果報告書」(平成28年11月)に記載の調査のうち、同様の主旨の項目について比較を行うものとする。

4-1 バリアフリー等の理解度について

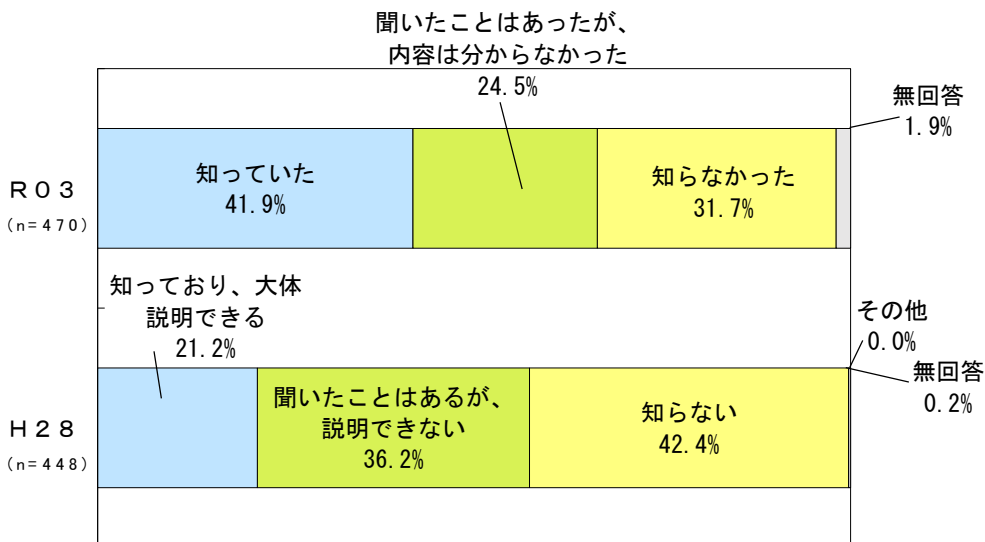
(1) 「バリアフリー」の理解度

➤ バリアフリーの理解度については、H28 調査に比べ、「聞いたことがあったが、内容は分からなかった」と回答した人の割合が減少し(21.7%→4.0%:△17.7 ㊦)、
「知っていた」と回答した人の割合が増加している(74.3%→92.8%:+18.5 ㊦)。



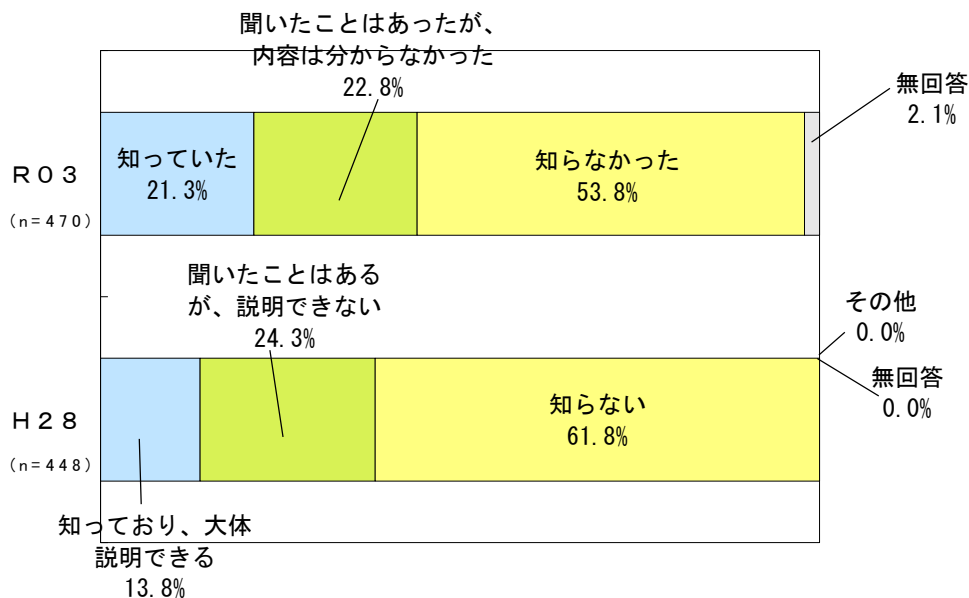
(2) 「ユニバーサルデザイン」の理解度

➤ ユニバーサルデザインの理解度については、H28 調査に比べ、「知らなかった」(42.4%→31.7%:△10.7 ㊦)「聞いたことはあったが、内容は分からなかった」(36.2%→24.5%:△11.7 ㊦)と回答した人の割合が減少し、「知っていた」と回答した人の割合が増加している(21.2%→41.9%:+20.7 ㊦)。



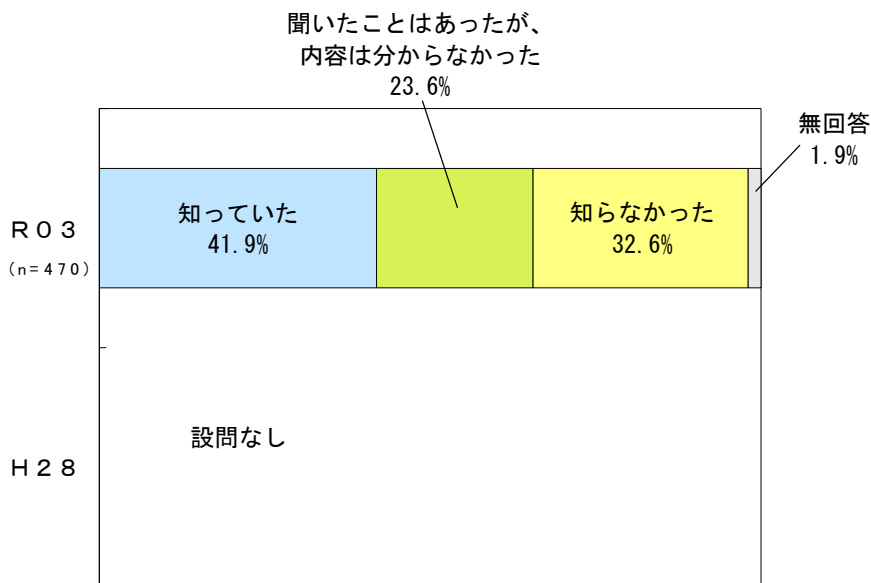
(3) 「ノーマライゼーション」の理解度

➤ ノーマライゼーションの理解度については、H28 調査に比べ、「知らなかった」と回答した人の割合が減少し(61.8%→53.8%:△8.0 ポイント)、「知っていた」と回答した人の割合が増加している(13.8%→21.3%:+7.5 ポイント)。



(4) 「心のバリアフリー」の理解度

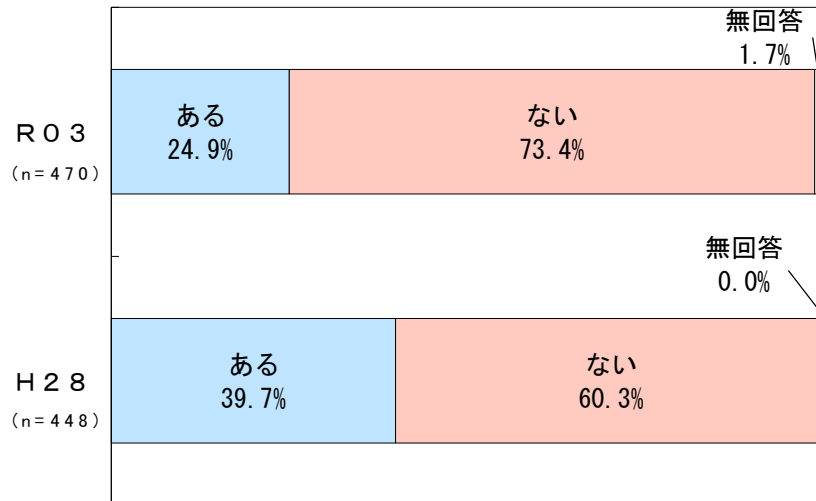
➤ 心のバリアフリーの理解度については、H28 調査で設問がなかった為、比較不可。



4-2 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について

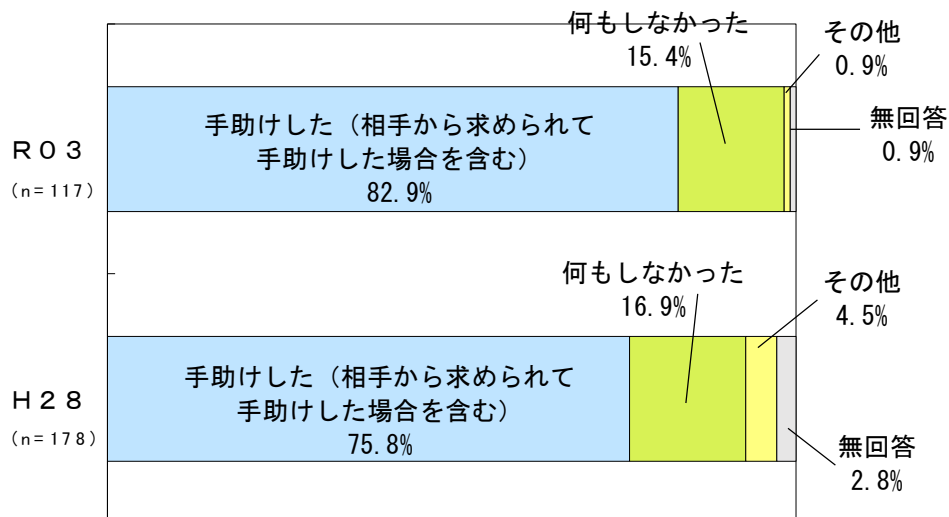
(1) 障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面への遭遇については、H28 調査に比べ、「ある」と回答した人の割合が減少し(39.7%→24.9%:△14.8 ㊦)、
「ない」と回答した人の割合が増加している(60.3%→73.4%:+13.1 ㊦)。



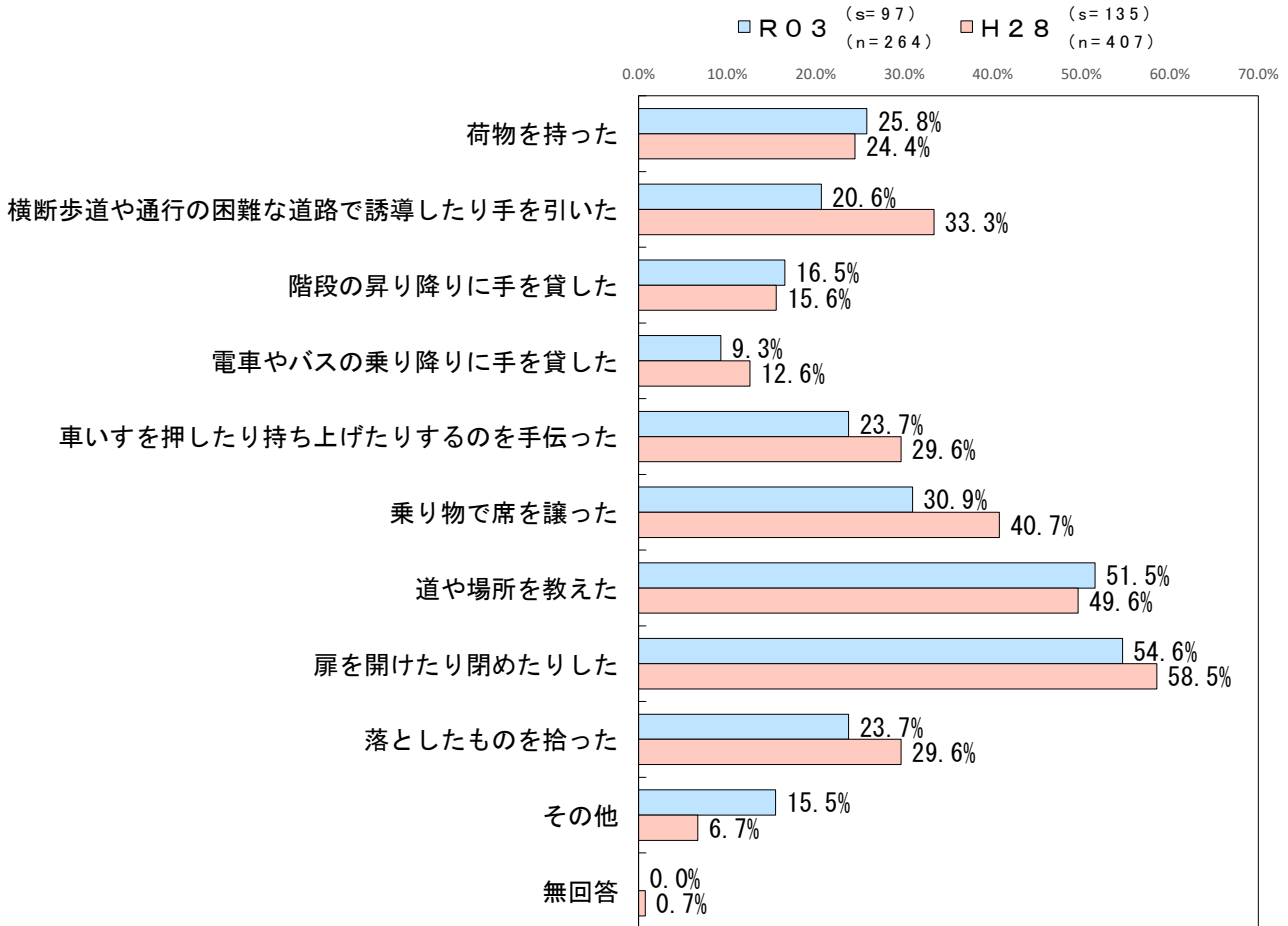
(2) 手助けの有無

➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇したことがあると回答した人のうち「手助けした(相手から求められて手助けした場合を含む)」人の割合が H28 調査に比べ、増加している(75.8%→82.9%:+7.1 ㊦)。



(3) 具体的な手助けの内容

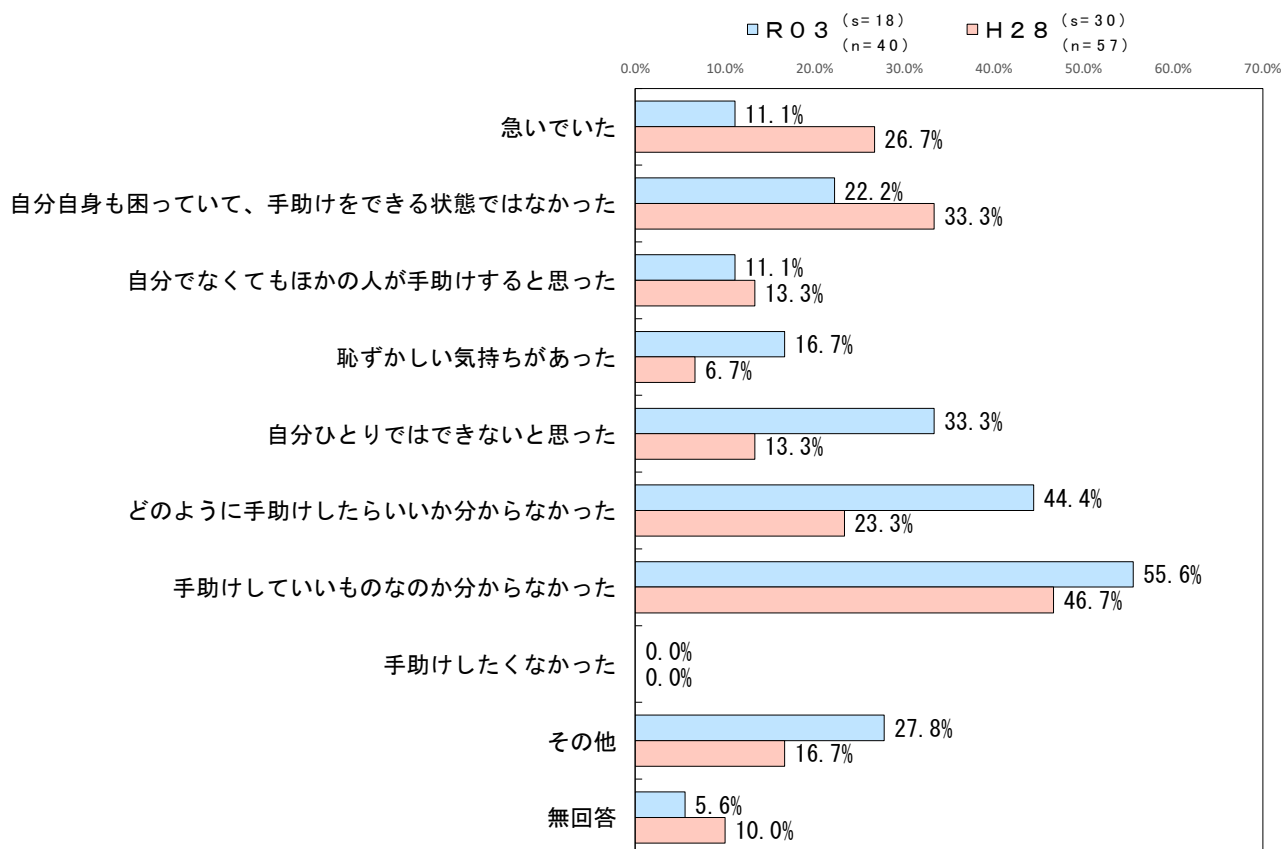
➤ 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇した際に、手助けしたと回答した人のうち、具体的な手助けの内容については、H28 調査に比べ、「荷物を持った」(24.4%→25.8%:+1.4 ポイント)、「道や場所を教えた」(49.6%→51.5%:+1.9 ポイント)の割合は増加している。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

(4) 手助けをしなかった理由

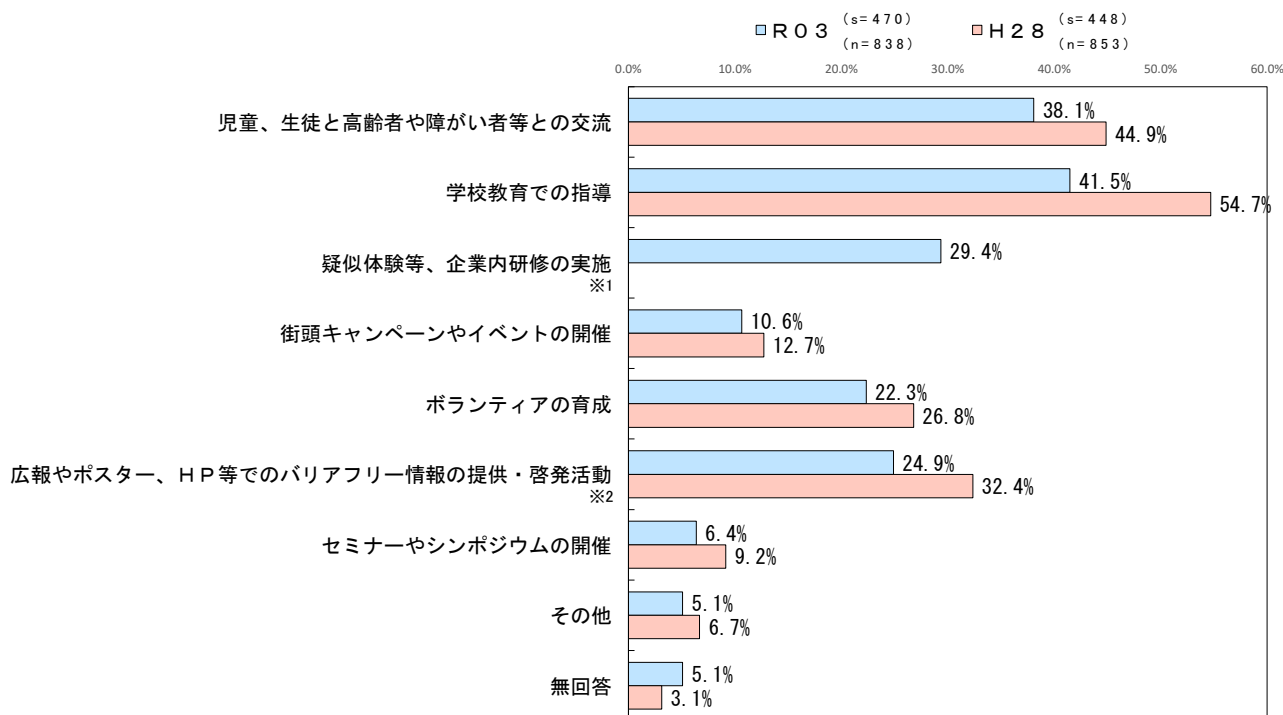
- 障がい者や高齢者等が困っている場面に遭遇した際、手助けしなかったと回答した人のうち、その理由については、H28 調査に比べ、「急いでいた」(26.7%→11.1%:△15.6 ポイント)、「自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった」(33.3%→22.2%:△11.1 ポイント)の割合が減少している。
- 一方、「自分ひとりではできないと思った」(13.3%→33.3%:+20.0 ポイント)、「どのように手助けしたらいいか分からなかった」(23.3%→44.4%:+21.1 ポイント)の割合が20ポイント以上増加している。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

(5) 「心のバリアフリー」を促進するために必要なこと

- 心のバリアフリーを促進するために必要なことについては、H28 調査に比べ、「学校教育での指導」(54.7%→41.5%:△13.2ポイント)と回答した人の割合が10ポイント以上減少している。
- 全体的に割合が減少している要因としては、「疑似体験等、企業内研修の実施」の選択肢を新たに追加したことが考えられる。



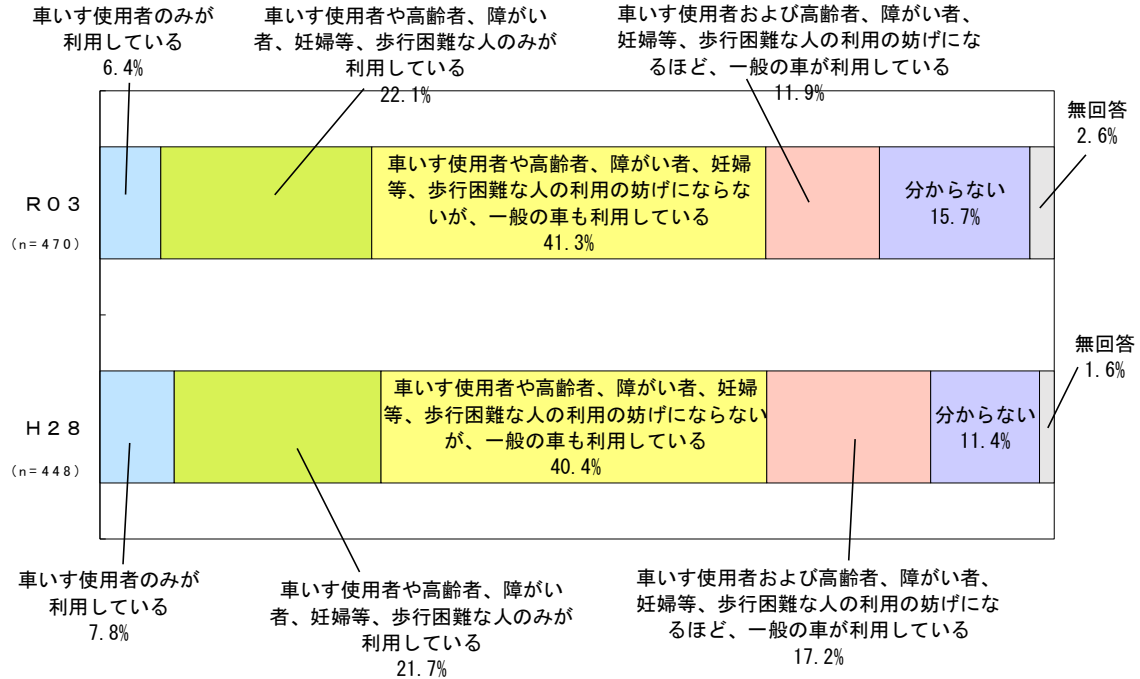
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

※1: H28は選択肢なし。

※2: H28の「ホームページ等によるバリアフリー情報の提供」と「セミナーやシンポジウムの開催」の回答の計より算出。

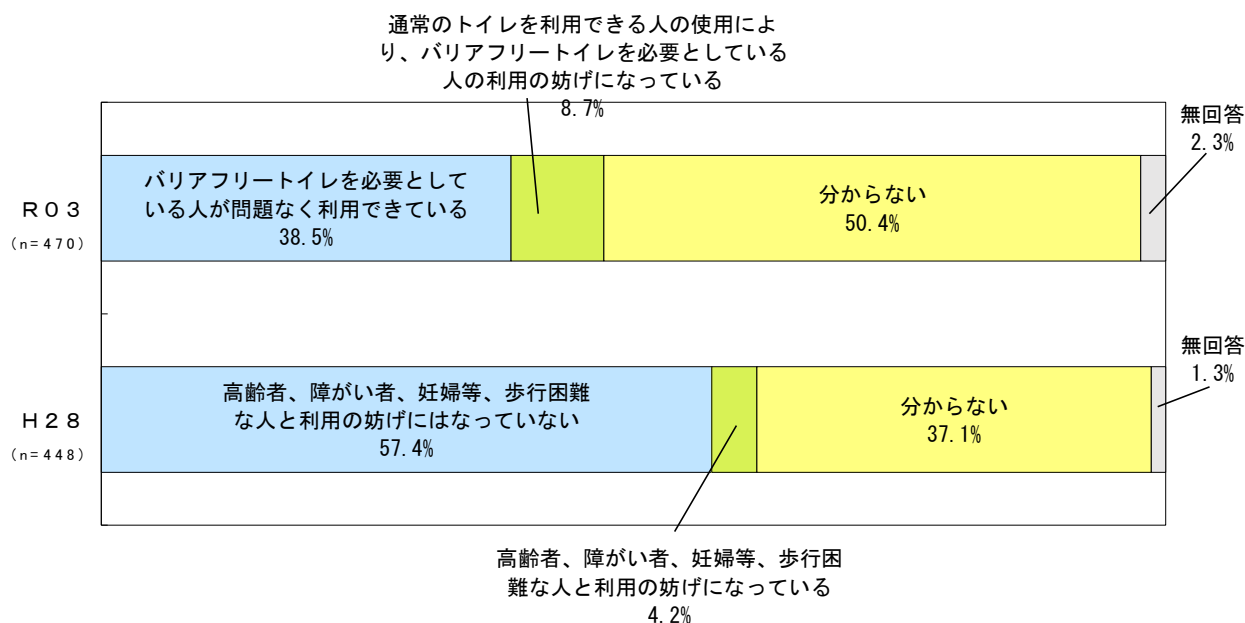
(6) 障害者等用駐車区画の利用状況について感じる事

➤ 障害者等用駐車区画の利用状況について感じる事については、H28 調査と大きな変化は見られないが、一般車の利用が見受けられるとする「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している」「歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している」の合計の割合は減少している。(57.6%→53.2%:△4.4ポイント)



(7) バリアフリートイレの利用状況について感じる事

- バリアフリートイレの利用状況について感じる事については、H28 調査に比べ、「バリアフリートイレを必要としている人が問題なく利用できている」と回答した人の割合が減少し(57.4%→38.5%:△18.9 ポイント)、「通常のトイレを利用できる人の使用により、バリアフリートイレを必要としている人の利用の妨げになっている」(4.2%→8.7%:+4.5 ポイント)、「分からない」(37.1%→50.4%:+13.3 ポイント)と回答した人の割合が増加している。
- 上記の要因として、平成 28 年と令和3年で、選択肢の主旨は同じであるものの、一部文言の変更を行ったことも要因の一つとして考えられる。



5 關係資料

バリアフリーに関するアンケート調査ご協力のお願い

日頃より、市政の運営に際しまして、特段のご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

本市では、平成 23 年に「秋田市バリアフリー基本構想」を策定し、重点整備地区とした「土崎駅周辺地区」、「新屋駅周辺地区」、「市立病院・山王官公庁周辺地区」を中心に、バリアフリー化に関する事業を推進するとともに、様々な心身の特性や考え方を持つ人々が助け合うことができるよう「心のバリアフリー」についても取り組んできました。

一方、基本構想の策定から 10 年が経過するとともに、平成 30 年のバリアフリー法の改正を踏まえて、新たに「秋田市バリアフリーマスタープラン」を策定し、本市におけるバリアフリーの促進に関する基本的な方針を示すこととしました。

市民の皆様のご意見を踏まえた効果的な計画の策定に向けて、無作為に抽出した 15 歳以上の市民(1,000 人)を対象にアンケート調査を実施いたします。

このアンケート調査で得られたデータは、今後の施策展開等の貴重な資料として活用しますので、趣旨をご理解の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

【秋田市のバリアフリーに関するホームページ】

<https://www.city.akita.lg.jp/shisei/machizukuri/1011485/1007491/index.html>

※右記 QR コードを参照



【アンケートの集計と公表】

このアンケートの集計は秋田市が行います。また、集計結果は市のホームページに掲載します。

- 調査票は、同封したものをご使用ください。
- 回答は、お送りした封筒の宛名の方がお答えください。事情により、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を聞いて、ご家族など代理の方がご記入ください。
- 調査票への記入は、ボールペン又は鉛筆をご使用ください。
- この調査は、無記名で、統計的な分析のみを行いますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。ご自身のお気持ち、ご意向に一番あてはまる回答をご記入ください。
- 調査票へのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手は不用)に入れて、令和3年7月26日(月)までに郵便ポストにご投函ください。

【問い合わせ先】

秋田市 都市整備部 都市計画課 計画担当

担当者 菊地・佐藤

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号(本庁舎4階)

TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763

E-mail:ro-urim@city.akita.lg.jp

～バリアフリーに関する用語等のご紹介～

*バリアフリー

高齢者や障がい者等が生活する上での物理的な障害や障壁のほか、社会的、制度的、心理的なすべての障壁(バリア)を取り除いた状態にすること。

*ユニバーサルデザイン

年齢、性別、人種等に係わらず、多様な人々が利用しやすいように、あらかじめ、都市や生活環境をデザインすること。

*ノーマライゼーション

障がいの有無に係わらず、人々が同等に生活し、活動する社会を目指す考え方のこと。

*心のバリアフリー

障がい者や高齢者等に対する偏見や無理解といった、心の中にある見えない障壁をなくし、一人ひとりが多様な人を思いやり、行動を起こすこと。

*障害者等用駐車区画(車いす等のマークのついた駐車スペース)

車椅子の方を含む、歩行が困難な障がい者や要介護者、妊産婦、けが人等、移動に配慮が必要な方が利用できる駐車区画のこと。

*バリアフリースイレ

車いす使用者対応設備やオストメイト(人工肛門や人工膀胱の排泄口を造設した人)対応設備のほか、子ども連れにはおむつ換えシートやベビーチェアなどが設置されたトイレのこと。



▲障害者等用駐車区画



▲バリアフリースイレ

バリアフリーに関するアンケート調査票

あなたご自身についてお伺いします

問1 あなたの「性別」をお答えください。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

番号
記入欄

問2 あなたの「年齢区分」をお答えください。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

1. 15～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上

番号
記入欄

問3 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

中央	1. 大町 2. 旭北 3. 旭南 4. 川元 5. 川尻 6. 山王 7. 高陽 8. 保戸野 9. 泉 (JR線西側) 10. 千秋 11. 中通 12. 南通 13. 檜山 14. 茨島 15. 八橋
東部	16. 東通 17. 手形 18. 手形山 19. 泉 (JR線東側) 20. 旭川 21. 新藤田 22. 濁川 23. 添川 24. 山内 25. 仁別 26. 広面 27. 柳田 28. 横森 29. 桜 30. 桜ガ丘 31. 桜台 32. 大平台 33. 下北手 34. 太平
西部	35. 新屋 36. 勝平 37. 浜田 38. 豊岩 39. 下浜 40. 向浜
南部	41. 牛島東 42. 牛島西 43. 牛島南 44. 卸町 45. 大住 46. 大住南 47. 仁井田 48. 御野場 49. 御所野 50. 四ツ小屋 51. 上北手 52. 山手台 53. 南ヶ丘
北部	54. 寺内 55. 外旭川 56. 土崎港中央 57. 土崎港東 58. 土崎港西 59. 土崎港南 60. 土崎港北 61. 前記 56～60以外の土崎港 62. 将軍野東 63. 将軍野南 64. 前記 62～63以外の将軍野 65. 港北 66. 飯島 67. 金足 68. 下新城 69. 上新城
河辺	70. 河辺
雄和	71. 雄和

番号
記入欄

問4 あなたについて、あてはまるものをお答えください。

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。また、「6. 障害者手帳を保有している」を選択した方は、障がいの分類にも○をつけてください。

1. ケガ・病気などがある 2. 妊娠している 3. 乳幼児を連れている
4. 外国人である 5. 加齢による身体等の不具合()を感じる
6. 障害者手帳を保有している
 ・肢体不自由 ・視覚障がい ・聴覚言語障がい ・知的障がい
 ・精神障がい ・発達障がい ・内部障がい ・その他()
7. いずれにも当てはまらない
8. その他()

外出する際の移動手段と利用施設についてお伺いします

問5 外出する際の目的地までの移動手段について、それぞれどの程度利用しますか。

項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

また、歩行補助用具等を利用する場合は、表の右端にも○をつけてください。

移動手段(※①)	利用回数				歩行補助用具等(※②)を利用する
	ほぼ毎日 (週3日以上)	週1、2回	月1、2回	ほとんど 利用しない	
徒歩	1	2	3	4	利用する
自転車	1	2	3	4	利用する
自家用車・バイク	1	2	3	4	利用する
タクシー	1	2	3	4	利用する
バス	1	2	3	4	利用する
鉄道	1	2	3	4	利用する
その他()	1	2	3	4	利用する

※① 移動手段は、送迎の場合も含まれます。

※② 歩行補助用具等は、車いす、杖、手押し車、白杖、義足等の装具、盲導・聴導・介助犬、ベビーカー等を含みます。

問6 次の施設の利用頻度についてお答えください。

項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

施設	利用頻度			
	ほぼ毎日 (週3日以上)	週1、2回	月1、2回	ほとんど 利用しない
個人商店(商店街)	1	2	3	4
コンビニエンスストア	1	2	3	4
スーパーマーケット・大型商業施設	1	2	3	4
銀行・郵便局	1	2	3	4
病院・診療所	1	2	3	4
市役所・市民サービスセンター、県庁等の官公庁施設	1	2	3	4
コミュニティセンター・公民館	1	2	3	4
教育施設(学校・保育園等)	1	2	3	4
老人・障がい者福祉施設	1	2	3	4
文化施設(図書館、博物館等)	1	2	3	4
ホール等(文化会館等)	1	2	3	4
屋内運動施設(体育館等)	1	2	3	4
公園・広場	1	2	3	4
路外駐車場(※③)	1	2	3	4

※③ 路外駐車場：駐車料金の発生する誰でも利用可能な立体駐車場や平面駐車場(月極駐車場、従業員専用駐車場、商業施設に附属する無料駐車場等は含まない)

問7 あなたが普段よく利用する鉄道駅をお答えください。

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|-------|----------|
| 1.秋田駅 | 2.追分駅 | 3.上飯島駅 | 4.土崎駅 | 5.泉外旭川駅 |
| 6.羽後牛島駅 | 7.新屋駅 | 8.桂根駅 | 9.下浜駅 | 10.四ツ小屋駅 |
| 11.和田駅 | 12.大張野駅 | 13.利用しない | | |

あなたが公共施設等で、困っていることについてお伺いします

問8 あなたが鉄道駅について、困ること、気づくことはありますか。

あてはまるものを3つまで選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 通路に段差や亀裂があり、移動しにくい | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 通路やホームが狭く、通りにくい | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | | |
| 3. 通路やホームの傾斜・起伏により移動しにくい | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | |
| 4. 点字ブロックがない・少ない・識別しにくい | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | |
| 5. ホームドアがなく危険を感じる | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| 6. 階段に手すりがなく、使いにくい | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | |
| 7. エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | |
| 8. トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | |
| 9. ベンチ等の休憩スペースがない・少ない | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | |
| 10. 案内表示がない、分かりにくい | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | |
| 11. 音声・点字による案内がない・少ない・識別しにくい | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | |
| 12. 障がい者や妊婦等のスペース（駐車スペース、授乳室等）が少ない・狭い | | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | |
| 13. 特にない | | | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | |
| 14. 利用しないため分からない | | | | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> |
| 15. その他 { | | | | | | | | | | | | | | |

問9 あなたがバス停留所、バスターミナルについて、困ること、気づくことはありますか。

あてはまるものを3つまで選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

- | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 通路に段差や亀裂があり、移動しにくい | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | |
| 2. 通路や乗降場が狭く、通りにくい | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | |
| 3. 通路の勾配・起伏により移動しにくい | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| 4. 車両と停留所に隙間や段差があるため、車両に乗りにくい | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | |
| 5. 点字ブロックがない・少ない・識別しにくい | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | | |
| 6. 停留所に屋根が無い | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | | |
| 7. 停留所にベンチ等がない・少ない | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | | |
| 8. 車いすやベビーカー等を降ろすスペースがない・狭い・少ない | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | | |
| 9. 案内表示が分かりにくい | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | | |
| 10. 音声・点字による案内がない・少ない・識別しにくい | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | | |
| 11. 特にない | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | |
| 12. 利用しないため分からない | | | | | | | | | | | | <input type="checkbox"/> |
| 13. その他 { | | | | | | | | | | | | |

問 10 あなたが道路について、徒歩や自転車、車いす等で移動する際に、困ること、気づくことはありますか。

あてはまるものを3つまで選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

1. 路面や歩道に段差や亀裂があり、移動しにくい
2. 道路や歩道が狭く、通りにくい
3. 路面や歩道の傾斜・起伏により移動しにくい
4. 路面がすべりやすい
5. 点字ブロックがない・少ない・識別しにくい
6. 電柱等の障害物が多い
7. 横断歩道が識別しにくい
8. 横断歩道の青信号の時間が短い、いつ変わるのか分からない
9. 音響式信号がない・少ない・識別しにくい
10. ベンチ等の休憩スペースがない・少ない
11. 道案内表示がない、分かりにくい
12. 特にない
13. その他 { }

問 11 あなたが公園について、困ること、気づくことはありますか。

あてはまるものを3つまで選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

1. 出入口の車止めにより、車いすやベビーカー等で公園に入りにくい
2. 出入口や園路、広場内に段差や亀裂があり、移動しにくい
3. 園路が狭く、通りにくい
4. 園路や広場内の傾斜・起伏により、移動しにくい
5. 点字ブロックがない・少ない・識別しにくい
6. トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない
7. 水飲み場が使いにくい
8. ベンチ等の休憩スペースがない・少ない
9. 案内表示がない・少ない・分かりにくい
10. 音声・点字による案内がない・少ない・識別しにくい
11. 車いすやベビーカー等を降ろすスペースがない・狭い・少ない
12. 特にない
13. 利用しないため分からない
14. その他 { }

問18 「障がい者や高齢者等が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。

あてはまるものを2つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

1. 児童、生徒と高齢者や障がい者等との交流
2. 学校教育での指導
3. 疑似体験等、企業内研修の実施
4. 街頭キャンペーンやイベントの開催
5. ボランティアの育成
6. 広報やポスター、HP等でのバリアフリー情報の提供・啓発活動
7. セミナーやシンポジウムの開催
8. その他()

問19 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

1. 車いす使用者のみが利用している
2. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人のみが利用している
3. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している
4. 車いす使用者および高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している
5. 分からない

--

問20 ここ最近、車いす使用者対応設備やおむつ換えシートなどが設置された「バリアフリートイレ」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号をご記入ください。

番号
記入欄

1. バリアフリートイレを必要としている人が問題なく利用できている
2. 通常のトイレを利用できる人の使用により、バリアフリートイレを必要としている人の利用の妨げになっている
3. 分からない

--

秋田市内におけるバリアフリーの状況について、満足度をお伺いします

問21 これまでのご回答いただいた内容を踏まえて、秋田市内におけるバリアフリーの状況について、満足度をお答えください。

項目ごとにあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

	満足度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
鉄道関係のバリアフリー化	1	2	3	4	5
バス関係のバリアフリー化	1	2	3	4	5
道路のバリアフリー化	1	2	3	4	5
公園のバリアフリー化	1	2	3	4	5
商業施設、公共施設等のバリアフリー化	1	2	3	4	5
心のバリアフリーの市民への普及	1	2	3	4	5

自由意見 秋田市内における「バリアフリーの状況」について、ご意見、ご提案がありましたら、下記に記入ください。

質問は以上です。アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

バリアフリーマスタープラン策定に係るアンケート調査

調査結果報告書

令和3年11月

編集・発行 秋田市

お問合せ先 秋田市都市整備部都市計画課

〒010-8560

秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763

e-mail:ro-urim@city.akita.lg.jp